

平成 29 年度
指標達成度調査
(事業の効果に関する市民意識調査)
報告書

平成 30 年 3 月

札幌市

目次

1. 調査実施の概要	4
(1) 調査の目的	4
(2) 内容	4
(3) 設計	4
(4) 回収結果	4
(5) 回答者の特性	5
(6) 本調査結果利用上の注意	6
2. 調査結果の詳細	8
(1) 「暮らし・コミュニティ」について	8
子どもを生き育てやすい環境	8
仕事と家庭との調和	10
子どもの権利の保護	12
相談相手や情報収集手段の有無	14
相談等により不安や負担を軽くすることができる環境	16
保育サービスの利用	18
ひとり親家庭の生活に対する不安	20
障がい者の暮らしやすさ	24
生活や健康福祉の相談先	28
孤立死の心配	31
災害に備えた対策	33
継続的に行っているまちづくり活動	35
市民参加の機会	39
市政への関心や参加	49
市政への参加しやすさに必要な事柄	51
海外交流への関心	54
行ったスポーツ（運動）	57
スポーツを行った日数	64
札幌の水道	66
水道に関する取り組み	72
(2) 「産業・活力」について	75
自然・社会・文化体験をしやすい環境	75
(3) 「低炭素社会・エネルギー転換」について	77
環境配慮活動について	77
生ごみ減量・リサイクルの取り組み	84
(4) 「戦略を支える都市空間」について	86
住環境の満足度	86

公共交通の満足度..... 88

3. 調査票..... 90

1. 調査実施の概要

1. 調査実施の概要

(1) 調査の目的

この調査は、「事業の効果に関する市民意識」をテーマに設問を構成している。各事業に対する市民意識を採取し、当該事業の効果及び成果を効率的に把握し、市民にも分かりやすい評価の資料とするものである。

(2) 内容

- ① 「暮らし・コミュニティ」について
- ② 「産業・活力」について
- ③ 「低炭素社会・エネルギー転換」について
- ④ 「戦略を支える都市空間」について

(3) 設計

この調査は、次のとおり設計した。

- ① 調査地域： 札幌市内
- ② 調査対象： 満 18 歳以上の男女個人
- ③ 標本数： 4,000 人
- ④ 調査方法： 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間： 平成 30 年 2 月 1 日（木）～2 月 23 日（金）
- ⑥ 抽出方法： 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数： 4,000

回収数（率）： 1,566（39.2%）

(5) 回答者の特性

		回答者数	男性	女性	無回答	計
全体		1566	38.1	60.8	1.1	100.0
性別	男性	597	100.0	0.0	0.0	100.0
	女性	952	0.0	100.0	0.0	100.0
	無回答	17	0.0	0.0	100.0	100.0
年代別	18～19歳	23	39.1	60.9	0.0	100.0
	20～29歳	119	34.5	65.5	0.0	100.0
	30～39歳	194	30.4	69.6	0.0	100.0
	40～49歳	267	37.1	62.5	0.4	100.0
	50～59歳	247	34.4	65.6	0.0	100.0
	60～64歳	160	45.0	55.0	0.0	100.0
	65～69歳	210	41.0	58.1	1.0	100.0
	70歳以上	331	43.8	54.7	1.5	100.0
	無回答	15	6.7	33.3	60.0	100.0
居住区別	中央区	208	38.5	60.6	1.0	100.0
	北区	221	37.1	62.4	0.5	100.0
	東区	189	38.1	61.4	0.5	100.0
	白石区	147	40.8	58.5	0.7	100.0
	厚別区	115	40.0	60.0	0.0	100.0
	豊平区	169	38.5	61.5	0.0	100.0
	清田区	87	35.6	64.4	0.0	100.0
	南区	126	38.1	60.3	1.6	100.0
	西区	176	37.5	62.5	0.0	100.0
	手稲区	116	38.8	60.3	0.9	100.0
	無回答	12	16.7	8.3	75.0	100.0

(6) 本調査結果利用上の注意

- ① Nとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- ② 各回答の比率は、回答者数の分母とした百分率であり、小数第2位を四捨五入して表している。
- ③ 1人の対象者につき2つ以上の複数回答を認めた質問の場合は、回答者数を分母としているため、個々の比率の合計は、100.0%を超えることがある。

2. 調査結果の詳細

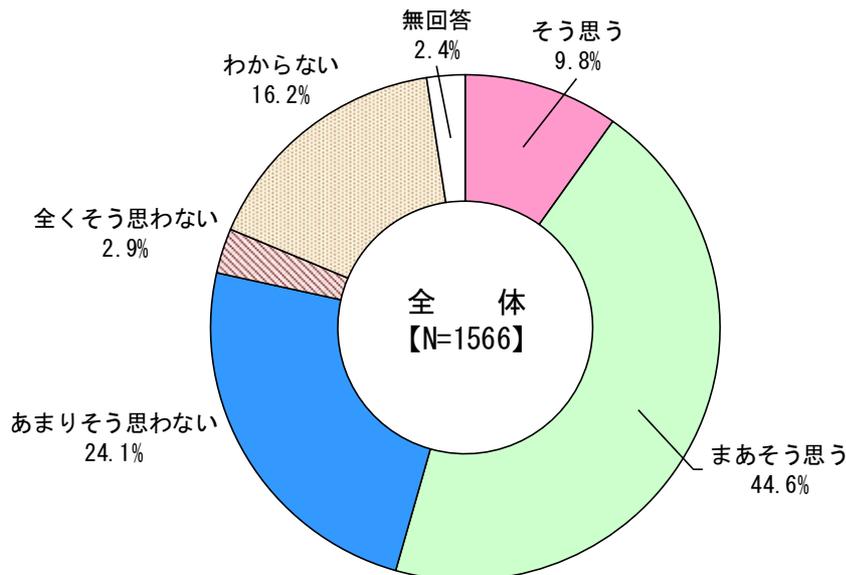
2. 調査結果の詳細

(1) 「暮らし・コミュニティ」について

子どもを生き育てやすい環境

【問 1】あなたは、札幌市が、子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもを生き育てやすい環境にあるかについては、「そう思う」(9.8%)と「まあそう思う」(44.6%)を合わせた割合(54.4%)が全体の5割強を占めている。



【対象者全体】

「まあそう思う」が44.6%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が24.1%、「わからない」が16.2%、「そう思う」が9.8%、「全くそう思わない」が2.9%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性で45.6%、女性で44.2%となっている。

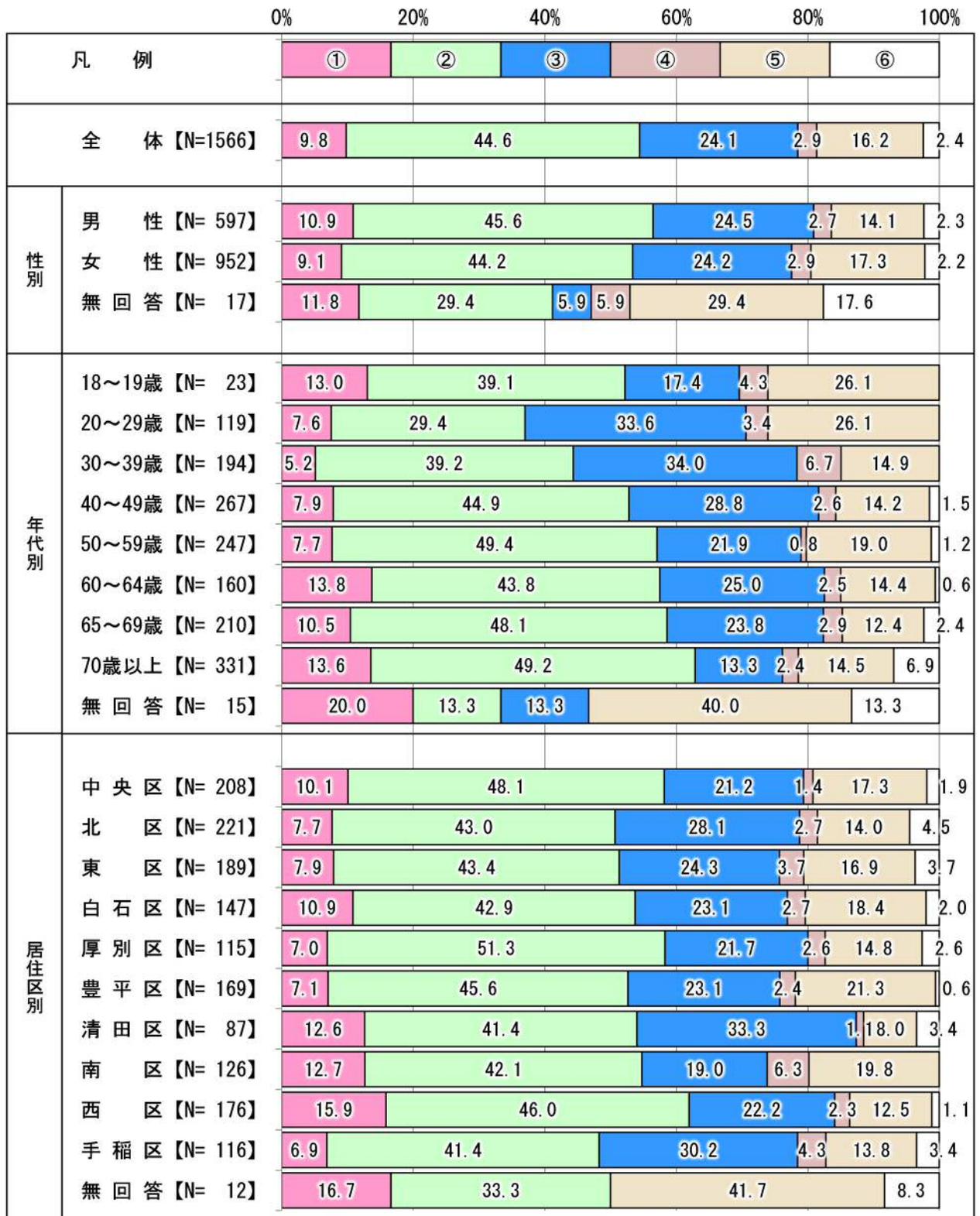
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

30歳代から70歳以上では「まあそう思う」が最も高いが、20歳代では「あまりそう思わない」が33.6%と最も高くなっている。「そう思う」と「まあそう思う」の合計は20歳代から70歳以上で年代が上がるにつれ、上昇していく傾向となっている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、その中でも厚別区が51.3%と最も高くなっている。「そう思う」は西区で15.9%と最も高く、手稲区で6.9%と最も低くなっている。

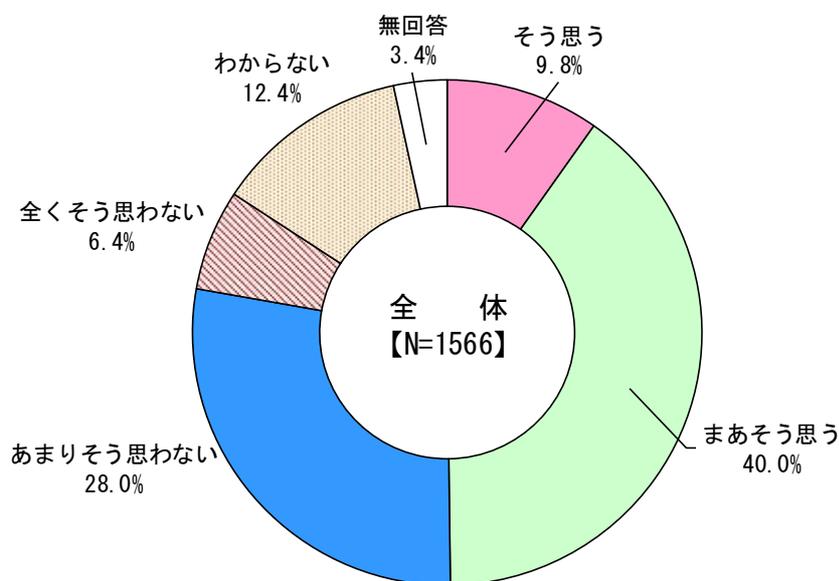
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



仕事と家庭との調和

【問 2】あなたは、「仕事」と「家事（育児）、プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

仕事と家庭との調和については、「そう思う」(9.8%)と「まあそう思う」(40.0%)を合わせた割合(49.8%)が約5割となっている。



【対象者全体】

「まあそう思う」が40.0%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が28.0%、「わからない」が12.4%、「そう思う」が9.8%、「全くそう思わない」が6.4%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性が37.7%、女性が41.6%となっている。

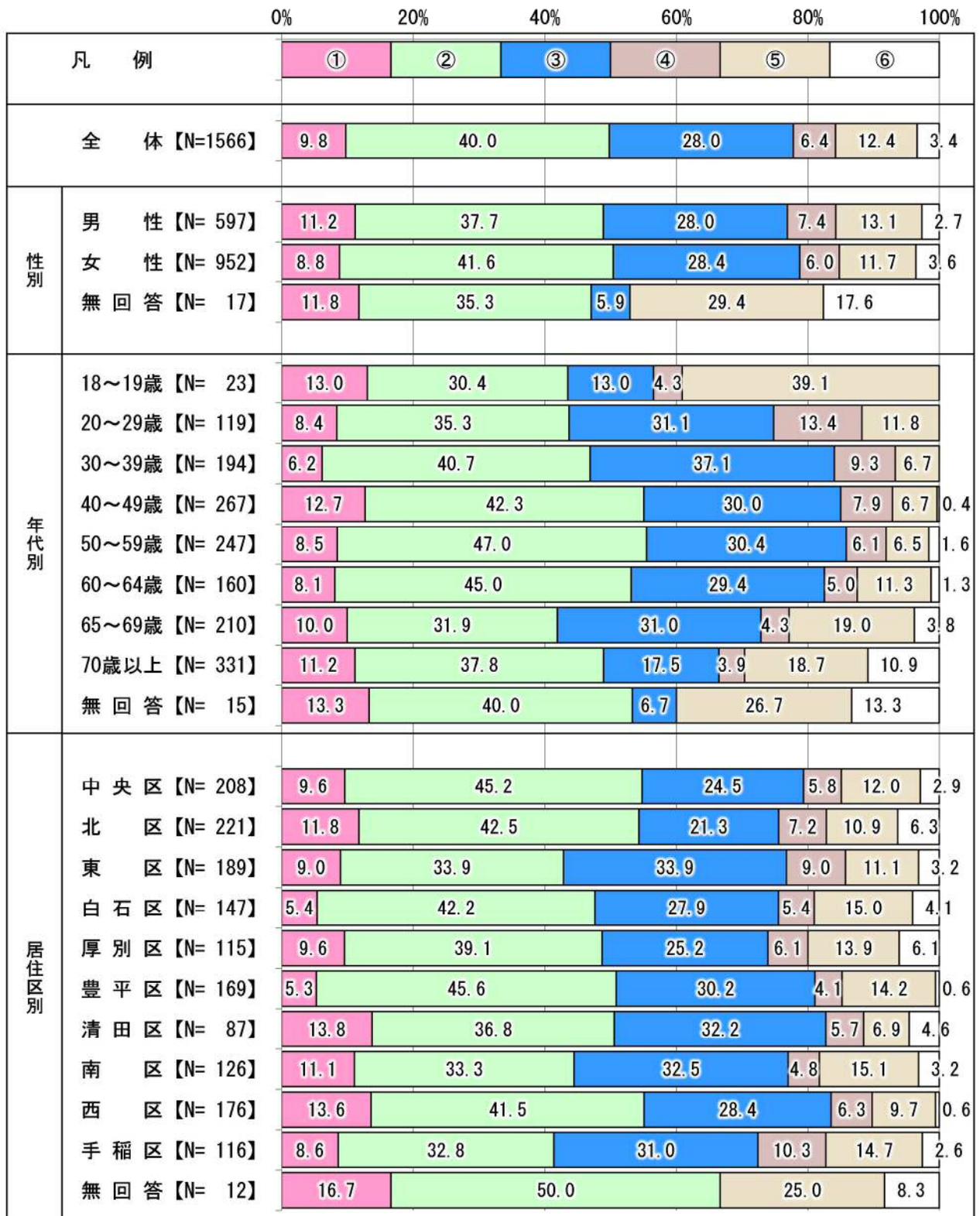
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「まあそう思う」が最も高くなっている。その中でも50歳代で「まあそう思う」が最も高く(47.0%)、60歳代後半で最も低くなっている(31.9%)。20歳代～60歳代では「あまりそう思わない」も3割程度となっている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高くなっている。その中でも豊平区で「まあそう思う」が最も高く(45.6%)、手稲区で最も低くなっている(32.8%)。東区では「まあそう思う」と「あまりそう思わない」が同率(33.9%)である。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

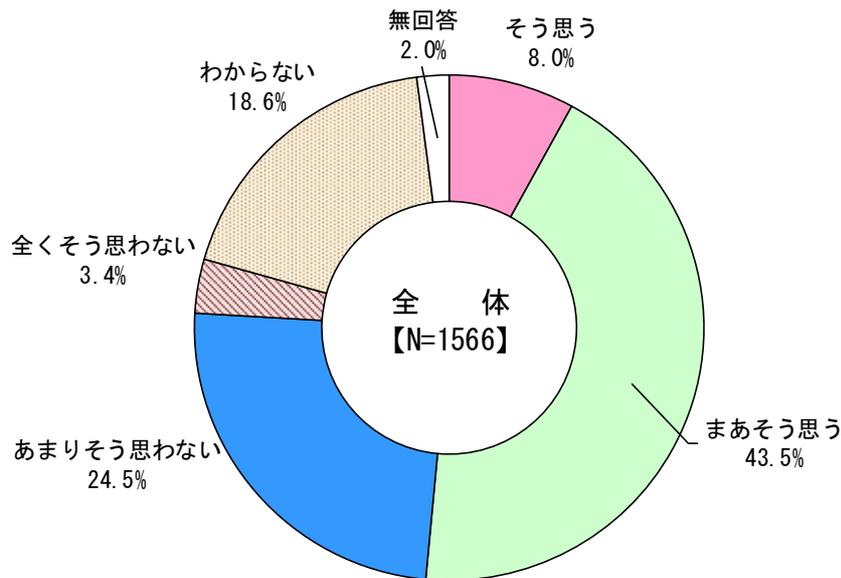


子どもの権利の保護

【問 3】あなたは、今の札幌市では、子どもの権利*が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

子どもの権利の保護については「そう思う」(8.0%)と「まあそう思う」(43.5%)を合わせた割合(51.5%)が全体の5割強となっている。



【対象者全体】

「まあそう思う」が43.5%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が24.5%、「わからない」が18.6%、「そう思う」が8.0%、「全くそう思わない」が3.4%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性で41.4%、女性で45.4%となっている。男性では「そう思う」が11.1%、女性では5.9%と女性より男性で割合が高くなっている。

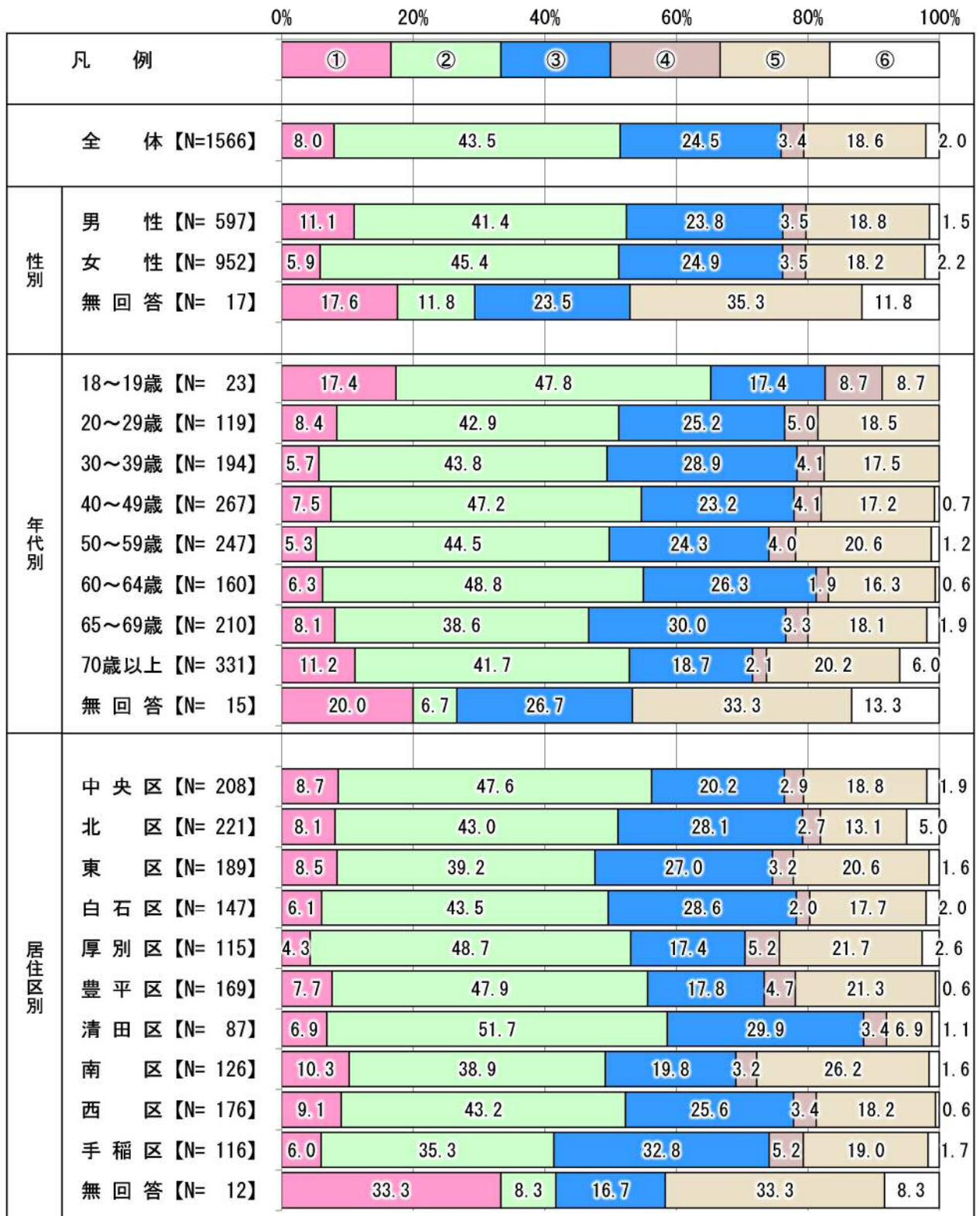
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「まあそう思う」が最も高くなっている。その中でも60歳代前半で48.8%と最も高く、60歳代後半で38.6%と最も低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高くなっている。その中でも清田区で51.7%と最も高く、手稲区で35.3%と最も低くなっている。手稲区では「あまりそう思わない」が32.8%と他区よりも比較的高くなっている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

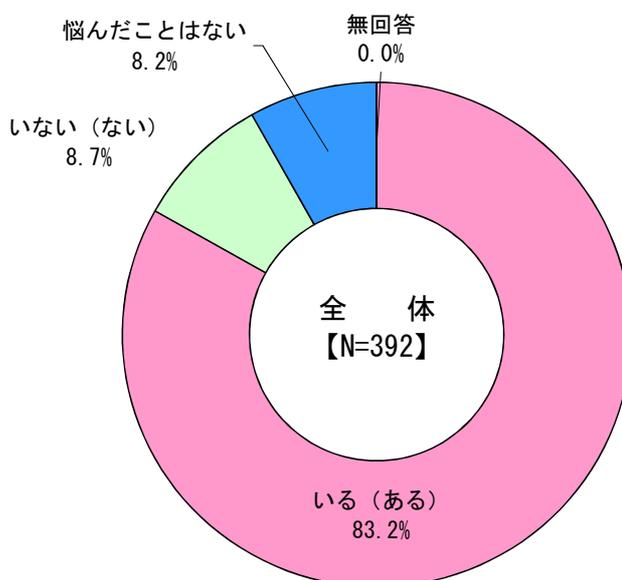


相談相手や情報収集手段の有無

【問 4】 この設問は 18 歳以下のお子さんがある方のみお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) 妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

相談相手や情報収集手段の有無について、「いる（ある）」が 83.2%と全体の 8 割強を占めている。



【対象者全体】

「いる（ある）」が最も高く（83.2%）、次いで「いない（ない）」が 8.7%、「悩んだことはない」が 8.2%となっている。

【性別】

男女ともに「いる（ある）」が最も高く、男性が 75.4%、女性が 87.4%となっている。男性よりも女性が高くなっている。男性では「いない（ない）」が 15.1%、女性では 5.7%と、女性より男性が高くなっている。

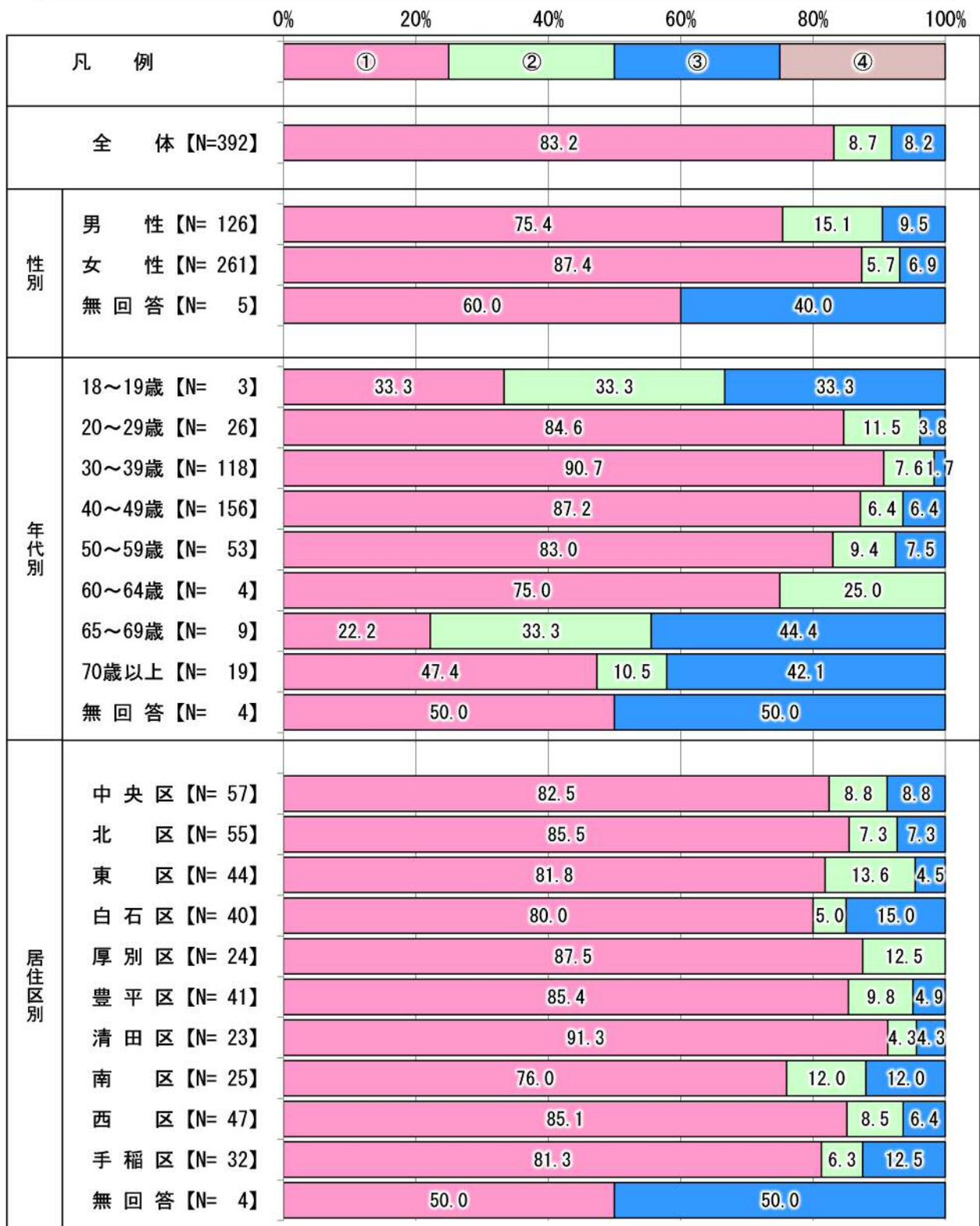
【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

30 歳代から 50 歳代いずれも「いる（ある）」が最も高いが、その数値は年代が上がるにつれて下降傾向になっている。（※その他年代は少数のため参考値とする）

【居住区別】

全居住区で「いる（ある）」が最も高くなっている。

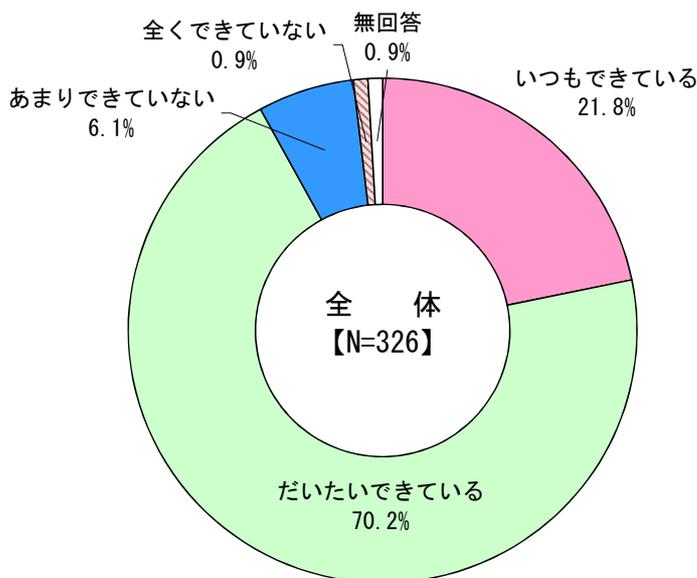
①いる（ある） ②いない（ない） ③悩んだことはない ④無回答



相談等により不安や負担を軽くすることができる環境

(2) (1)で「1.いる(ある)」と答えた方にお聞きします。あなたは、妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談や情報収集したことにより不安や負担を軽くすることができますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

相談等により不安や負担を軽くすることができるかについては、「いつもできている」(21.8%)と「だいたいできている」(70.2%)と合わせた割合(92%)が全体の9割を占めている。



【対象者全体】

「だいたいできている」が70.2%と最も高く、次いで「いつもできている」が21.8%、「あまりできていない」が6.1%、「全くできていない」が0.9%となっている。

【性別】

男女ともに「だいたいできている」が最も高く、男性が76.8%、女性が67.5%となっている。女性では「いつもできている」が24.6%、男性が14.7%と男性より女性が高くなっている。

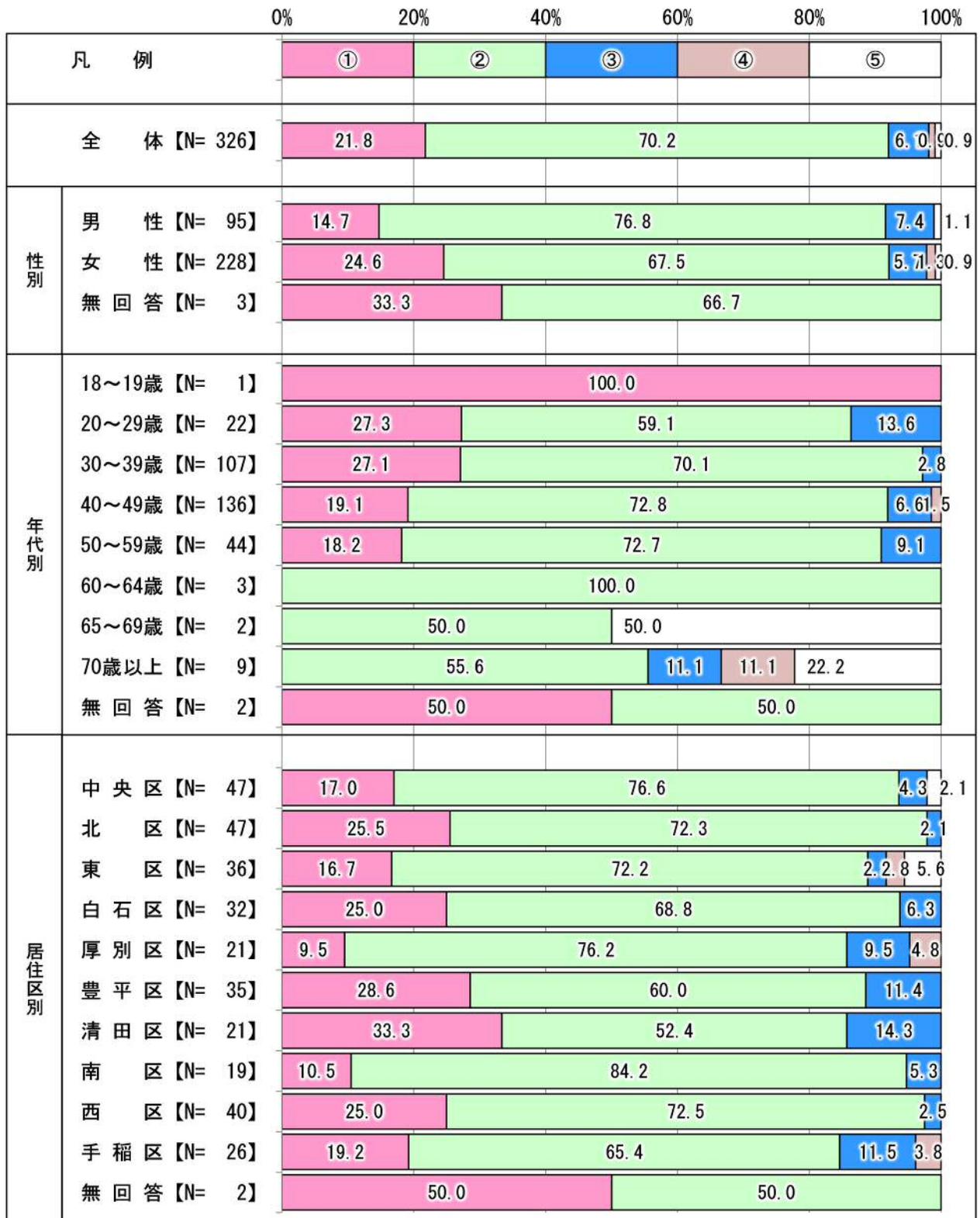
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

30歳代から50歳代で「だいたいできている」が最も高くなっている。30歳代では「いつもできている」が27.1%と他の年代よりも高くなっている。(※10歳代、20歳代、60歳代、70歳以上は少数のため参考値とする)

【居住区別】

全居住区で「だいたいできている」が最も高くなっている。(※厚別区、清田区、南区、手稲区は少数のため参考値とする)

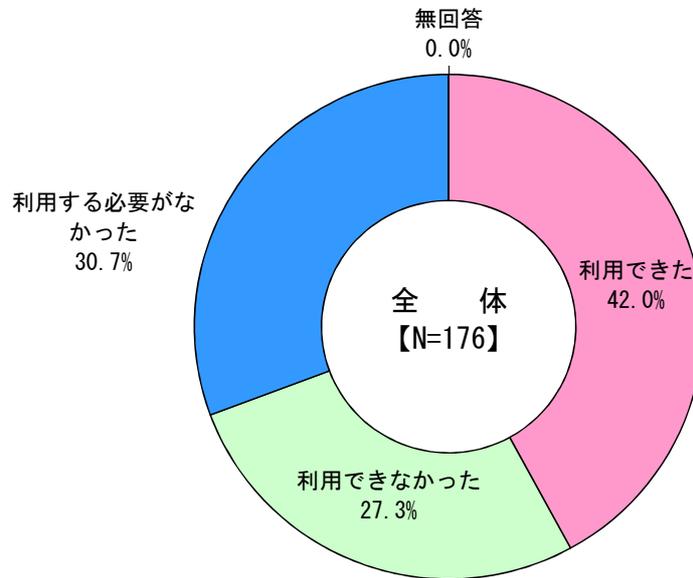
①いつもできている ②だいたいできている ③あまりできていない ④全くできていない ⑤無回答



保育サービスの利用

【問 5】 この設問は小学校入学前のお子さんがある方のみお聞きします。あなたは、この1年間に、あなたの希望に応じた保育サービスを利用することができましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

保育サービスの利用については、「利用できた」が42.0%、「利用できなかった」が27.3%となっている。



【対象者全体】

「利用できた」が42.0%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった」が30.7%、「利用できなかった」が27.3%となっている。

【性別】

男女ともに「利用できた」が最も高く、男性が43.1%、女性が41.0%となっている。

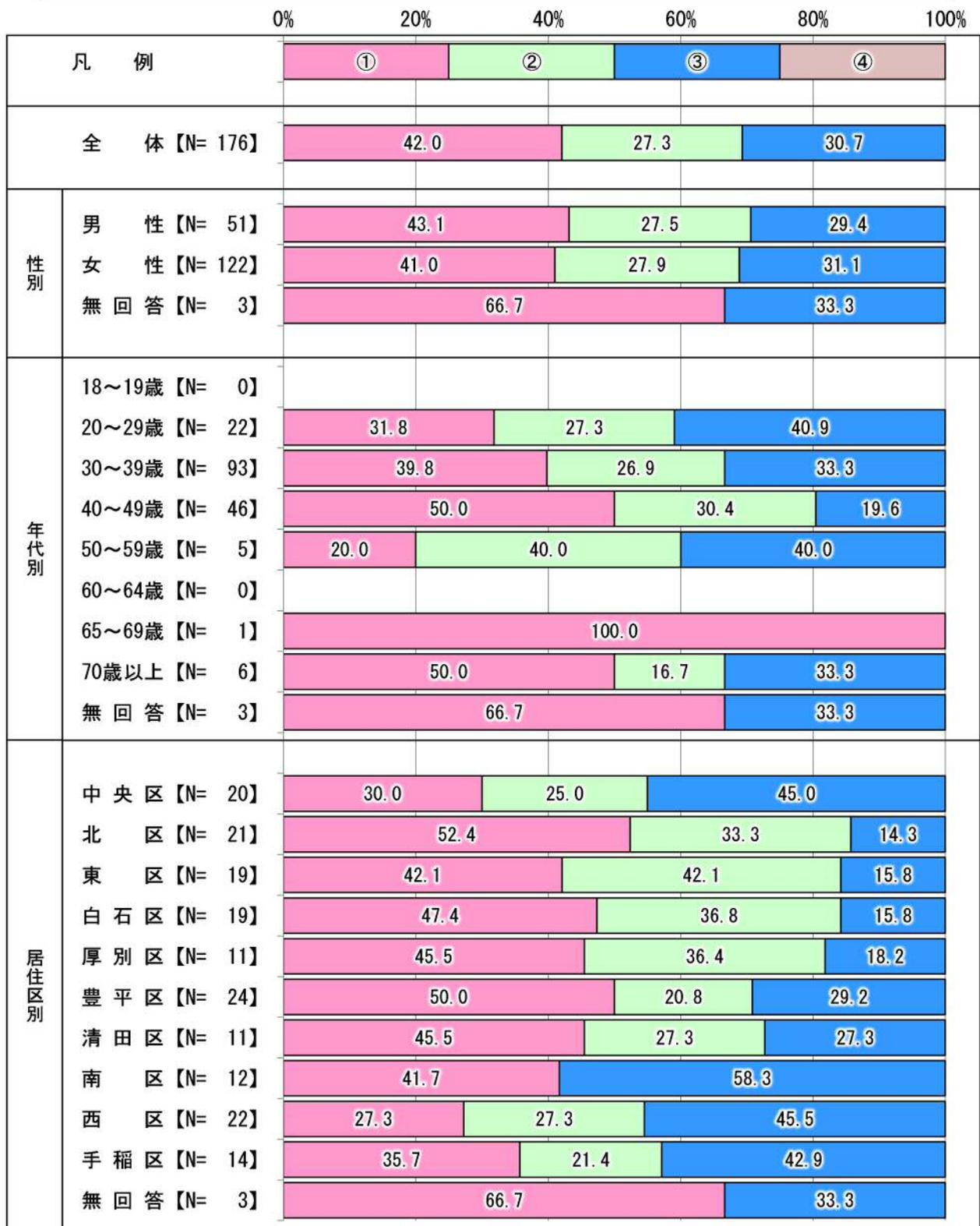
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

30歳代と40歳代いずれも「利用できた」が最も高く、40歳代が50.0%、30歳代が39.8%となっている。（その他年代は少数のため参考値とする）

【居住区別】

（※全居住区は少数のため参考値とする）

①利用できた ②利用できなかった ③利用する必要がなかった ④無回答

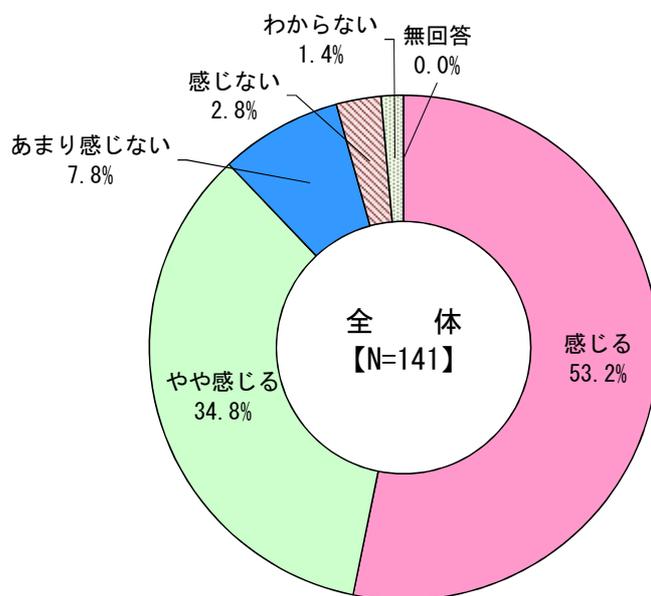


ひとり親家庭の生活に対する不安

【問 6】 この設問は 20 歳未満のお子さんがあるひとり親家庭の方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、今後の生活に対して不安を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

ひとり親家庭の今後の生活に対する不安については、「感じる」が 53.2%となっている。



【対象者全体】

「感じる」が 53.2%と最も高くなっている。次いで「やや感じる」が 34.8%、「あまり感じない」が 7.8%、「感じない」が 2.8%、「わからない」が 1.4%となっている。

【性別】

男女ともに「感じる」が最も高く、男性が 47.8%、女性が 58.2%と、男性より女性の方が高くなっている。

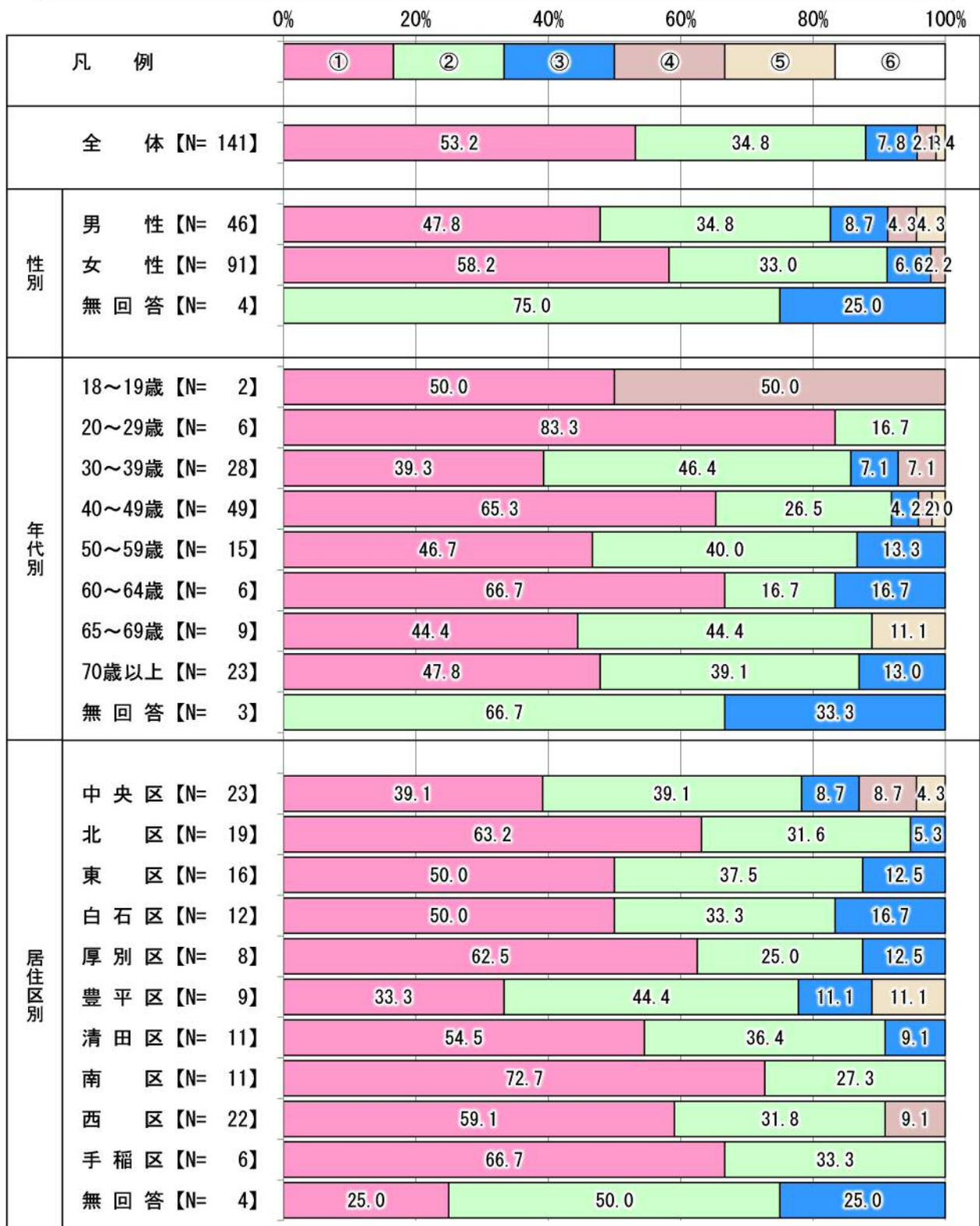
【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

40 歳代では「感じる」が 65.3%と全体よりも高くなっている。(※その他年代は少数のため参考値とする)

【居住区別】

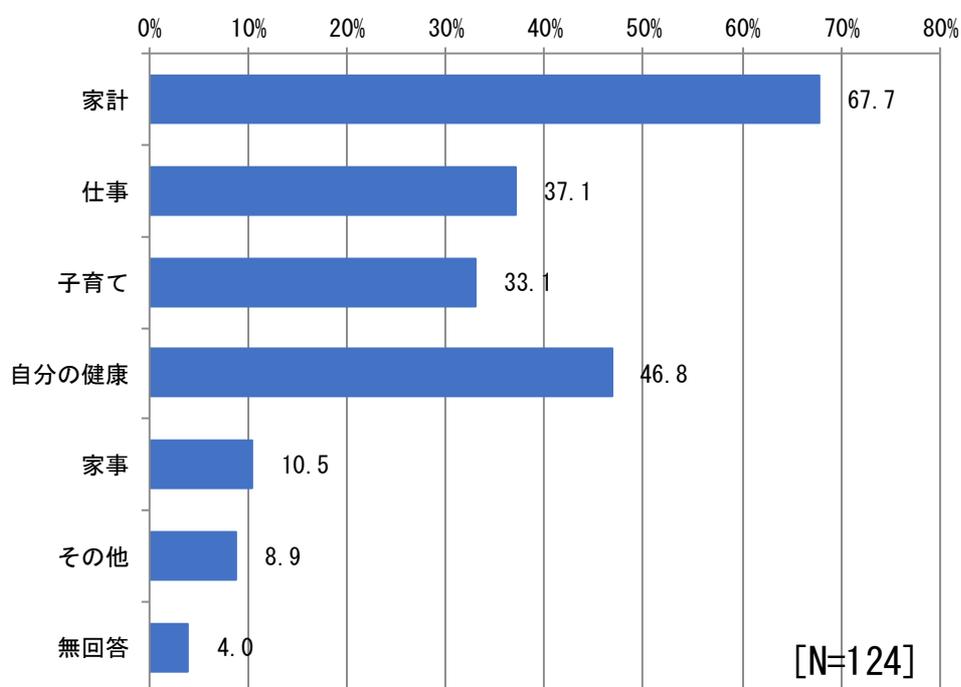
(※全居住区は少数のため参考値とする)

①感じる ②やや感じる ③あまり感じない ④感じない ⑤わからない ⑥無回答



(2) (1)で「1. 感じる」または「2. やや感じる」を回答した方のみにお聞きします。あなたは、具体的にどのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

今後の生活に関する不安を感じる要因については、「家計」が 67.7%とも高く、次いで「自分の健康」が 46.8%となっている。



【対象者全体】

「家計」が 67.7%と最も高く、次いで「自分の健康」が 46.8%、「仕事」が 37.1%、「子育て」が 33.1%となっている。

【性別】

男女ともに「家計」が最も高く、男性が 60.5%、女性が 72.3%と、男性より女性の方が高くなっている。「自分の健康」「子育て」は男性より女性の方が高くなっている。

【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

40 歳代では「家計」が 77.8%と最も高くなっている。(※その他年代は少数のため参考値とする)

【居住区別】

(※全居住区は少数のため参考値とする)

(単位：%)

		回答者数	家計	仕事	子育て	自分の健康	家事	その他	無回答
全体		124	67.7	37.1	33.1	46.8	10.5	8.9	4.0
性別	男性	38	60.5	34.2	26.3	39.5	5.3	2.6	7.9
	女性	83	72.3	38.6	36.1	49.4	13.3	12.0	2.4
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	66.7	-	-	-
年代別	18～19歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	6	83.3	66.7	83.3	50.0	50.0	16.7	-
	30～39歳	24	87.5	54.2	50.0	25.0	4.2	-	8.3
	40～49歳	45	77.8	42.2	46.7	44.4	13.3	13.3	-
	50～59歳	13	69.2	53.8	15.4	46.2	15.4	23.1	-
	60～64歳	5	80.0	-	-	60.0	-	20.0	-
	65～69歳	8	12.5	12.5	-	62.5	12.5	-	12.5
	70歳以上	20	35.0	5.0	-	70.0	-	-	10.0
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
居住区別	中央区	18	61.1	33.3	27.8	61.1	11.1	11.1	5.6
	北区	18	61.1	16.7	38.9	50.0	5.6	5.6	-
	東区	14	50.0	35.7	28.6	42.9	14.3	14.3	-
	白石区	10	60.0	20.0	20.0	40.0	10.0	-	20.0
	厚別区	7	100.0	71.4	28.6	57.1	14.3	-	-
	豊平区	7	57.1	71.4	42.9	28.6	14.3	-	-
	清田区	10	60.0	30.0	10.0	60.0	20.0	20.0	10.0
	南区	11	81.8	54.5	45.5	45.5	9.1	9.1	-
	西区	20	85.0	30.0	40.0	40.0	5.0	10.0	-
	手稲区	6	66.7	50.0	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7
	無回答	3	66.7	66.7	33.3	66.7	-	-	-

対象者全体の値と比較し10%以上高い

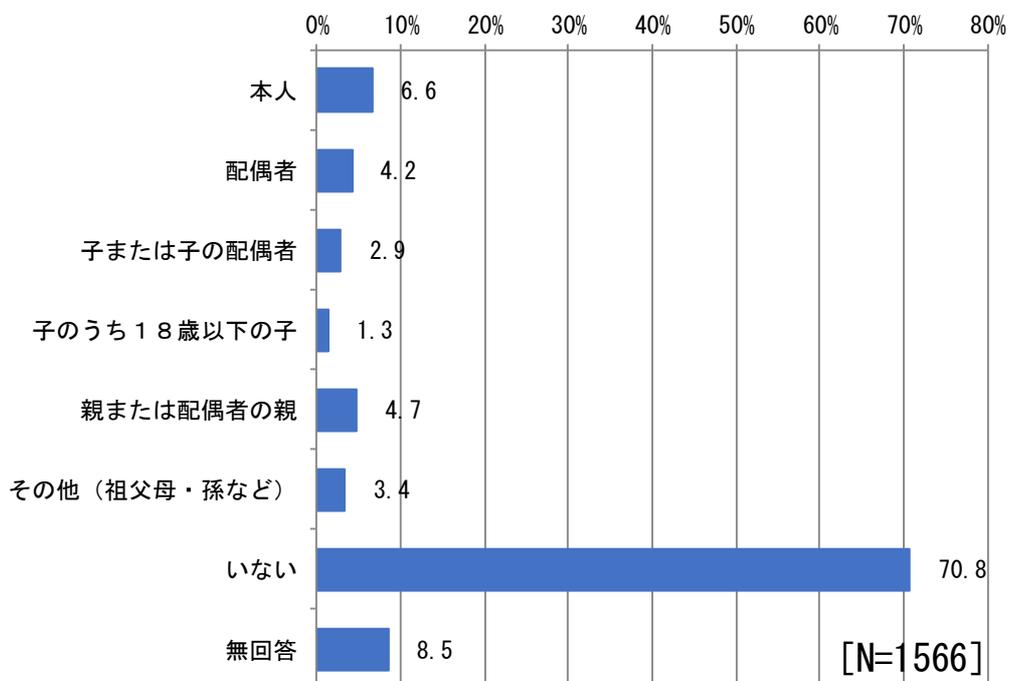
対象者全体の値と比較し10%以上低い

障がい者の暮らしやすさ

【問 7】障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさについてお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなた、またはあなたの同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(ここで言う「障がいのある方」とは、障害者手帳の有無に関わりません。)

障がい者との同居については、「いない」が70.8%と全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

「いない」が70.8%と最も高くなっている。次いで、「本人」が6.6%、「親または配偶者の親」が4.7%、「配偶者」が4.2%となっている。

【性別】

男女ともに「いない」が最も高く、男性が72.2%、女性が70.1%となっている。

【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「いない」が最も高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「いない」が最も高くなっている。

(単位：%)

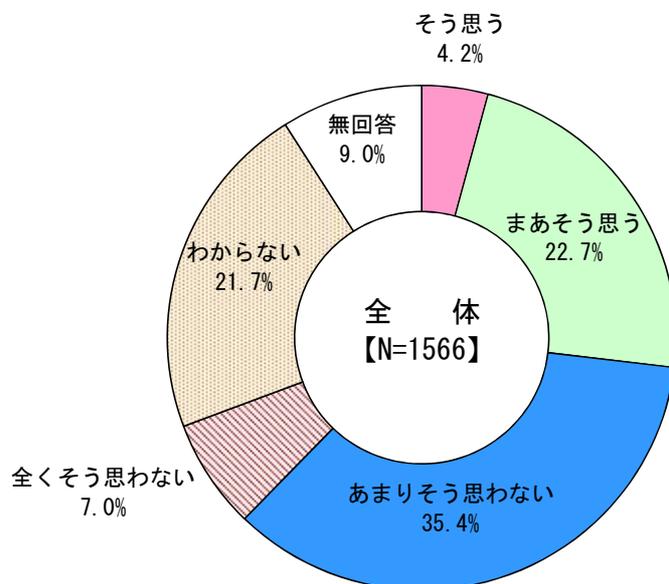
		回答者数	本人	配偶者	子または子の配偶者	子のうち18歳以下の子	親または配偶者の親	その他(祖父母・孫など)	いない	無回答
全体		1,566	6.6	4.2	2.9	1.3	4.7	3.4	70.8	8.5
性別	男性	597	7.5	5.0	2.3	1.0	4.2	2.8	72.2	6.5
	女性	952	5.9	3.7	3.3	1.6	5.1	3.7	70.1	9.5
	無回答	17	11.8	-	-	-	-	5.9	58.8	23.5
年代別	18～19歳	23	-	-	-	-	4.3	8.7	82.6	4.3
	20～29歳	119	3.4	-	1.7	0.8	4.2	5.9	86.6	-
	30～39歳	194	2.6	1.0	1.0	4.1	4.1	5.7	82.0	1.5
	40～49歳	267	4.9	1.5	1.9	3.4	5.2	2.6	77.9	4.9
	50～59歳	247	6.1	1.2	4.0	1.2	10.1	1.6	74.5	4.9
	60～64歳	160	5.6	6.3	3.8	-	3.8	2.5	71.9	8.1
	65～69歳	210	7.6	7.6	2.9	-	4.8	3.8	66.2	8.1
	70歳以上	331	11.2	9.1	4.2	-	1.5	3.0	52.0	21.8
	無回答	15	26.7	-	-	-	-	-	60.0	13.3
居住区別	中央区	208	5.8	3.8	1.4	0.5	5.8	5.3	71.6	7.7
	北区	221	8.1	3.2	4.1	1.8	4.1	4.1	66.1	9.5
	東区	189	5.8	4.8	4.2	1.1	5.8	1.6	72.0	7.4
	白石区	147	6.1	4.8	0.7	0.7	4.8	5.4	75.5	6.1
	厚別区	115	7.0	5.2	0.9	0.9	4.3	0.9	70.4	13.0
	豊平区	169	7.7	5.3	3.6	1.8	3.0	2.4	71.0	8.3
	清田区	87	9.2	3.4	-	1.1	5.7	2.3	67.8	10.3
	南区	126	7.1	4.0	1.6	0.8	4.0	3.2	68.3	11.1
	西区	176	5.1	3.4	5.7	2.3	4.5	3.4	73.9	6.8
	手稲区	116	3.4	4.3	3.4	2.6	5.2	4.3	72.4	6.0
	無回答	12	16.7	-	8.3	-	8.3	-	50.0	16.7

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(2) あなたは、札幌市が、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

障がい者にとって暮らしやすいまちであるかどうかについては、「あまりそう思わない」(35.4%)と「全くそう思わない」(7.0%)を合わせた割合(42.4%)が4割強となっている。



【対象者全体】

「あまりそう思わない」が35.4%と最も高くなっている。次いで、「まあそう思う」が22.7%、「わからない」が21.7%、「全くそう思わない」が7.0%、「そう思う」が4.2%となっている。

【性別】

男女ともに「あまりそう思わない」が最も高く、男性が35.3%、女性が35.7%となっている。

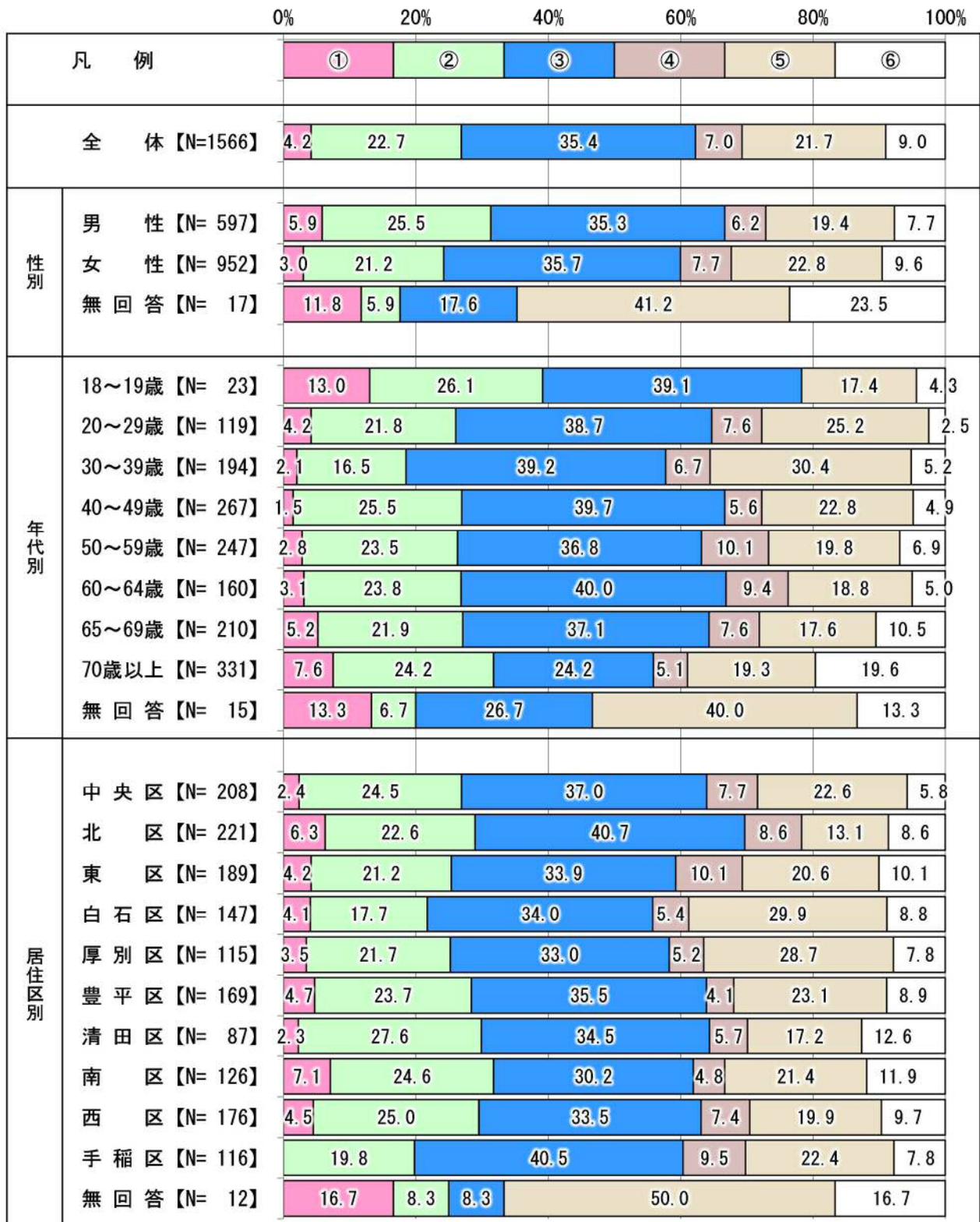
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代から60歳代では「あまりそう思わない」が最も高くなっている。70歳以上は「まあそう思う」と「あまりそう思わない」が24.2%と同率となっている。

【居住区別】

全居住区で「あまりそう思わない」が最も高くなっている。その中でも北区が40.7%と最も高く、南区が30.2%と最も低くなっている。

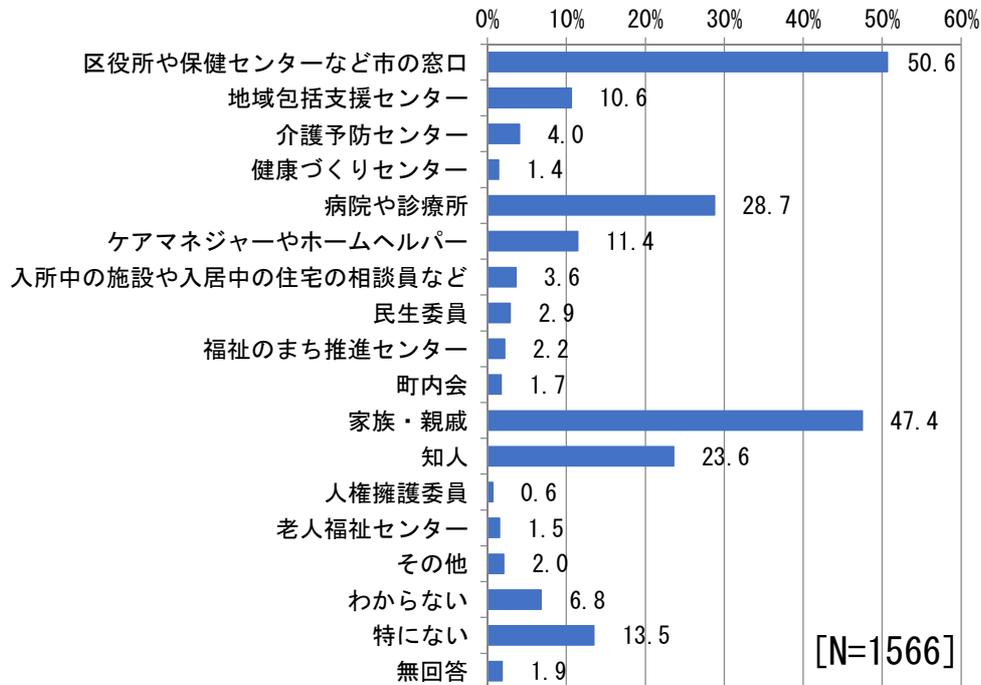
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



生活や健康福祉の相談先

【問 8】あなたは、生活や健康福祉に関して困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。または、どこに相談しようと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生活や健康福祉の相談先については、「区役所や保健センターなど市の窓口」が 50.6%と最も高く、次いで「家族・親戚」が 47.4%となっている。



【対象者全体】

「区役所や保健センターなど市の窓口」が 50.6%と最も高く、次いで「家族・親戚」が 47.4%、「病院や診療所」が 28.7%となっている。

【性別】

男女ともに「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高く、男性が 49.2%、女性が 52.0%となっている。

【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代から 40 歳代は「家族・親戚」が最も高くなっている。50 歳代以降では「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高くなっている。

【居住区別】

北区、東区、白石区、厚別区、豊平区、清田区、南区、手稲区では「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高くなっている。中央区、西区では「家族・親戚」が最も高くなっている。

	回答者数	窓口 区役所や保健センターなど市の	地域包括支援センター	介護予防センター	健康づくりセンター	病院や診療所	ケアマネジャーやホームヘルパー	入所中の施設や入居中の住宅の相談員など	民生委員	
全体	1,566	50.6	10.6	4.0	1.4	28.7	11.4	3.6	2.9	
性別	男性	597	49.2	9.4	3.7	1.5	28.8	10.7	2.3	2.2
	女性	952	52.0	11.4	4.3	1.4	28.7	12.0	4.4	3.3
	無回答	17	23.5	5.9	-	-	29.4	5.9	-	5.9
年代別	18～19歳	23	17.4	-	-	-	13.0	4.3	-	-
	20～29歳	119	40.3	4.2	0.8	-	26.1	7.6	3.4	-
	30～39歳	194	47.4	4.6	1.0	1.0	26.8	1.0	1.5	-
	40～49歳	267	46.8	4.9	1.1	0.7	22.8	4.9	2.2	-
	50～59歳	247	57.1	14.2	6.9	1.2	28.3	15.0	5.7	1.2
	60～64歳	160	56.9	11.3	3.1	-	36.3	20.0	3.8	1.9
	65～69歳	210	56.7	13.8	6.7	2.9	35.7	13.8	2.4	8.1
	70歳以上	331	50.8	16.6	6.3	2.7	29.6	16.9	5.4	6.6
	無回答	15	33.3	13.3	-	-	13.3	-	-	-
居住区別	中央区	208	47.1	10.1	5.3	2.4	28.8	10.1	5.3	1.9
	北区	221	47.5	10.0	4.1	1.8	30.3	11.8	2.7	2.7
	東区	189	48.7	11.6	3.7	2.1	23.8	8.5	1.1	3.7
	白石区	147	51.0	8.8	4.8	0.7	29.3	9.5	3.4	0.7
	厚別区	115	53.9	11.3	2.6	1.7	29.6	13.0	4.3	3.5
	豊平区	169	56.2	11.8	5.9	0.6	32.5	9.5	4.1	3.6
	清田区	87	56.3	11.5	5.7	-	27.6	12.6	2.3	3.4
	南区	126	53.2	7.9	2.4	1.6	31.0	19.0	5.6	4.8
	西区	176	46.6	9.7	2.8	1.7	25.0	10.2	3.4	1.7
	手稲区	116	55.2	14.7	2.6	-	32.8	15.5	3.4	4.3
	無回答	12	33.3	8.3	-	-	8.3	-	8.3	-

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

	回答者数	福祉のまち推進センター	町内会	家族・親戚	知人	人権擁護委員	老人福祉センター	その他	わからない	特にない	無回答	
全体	1,566	2.2	1.7	47.4	23.6	0.6	1.5	2.0	6.8	13.5	1.9	
性別	男性	597	2.5	1.8	43.9	20.9	0.2	1.7	1.7	6.0	17.4	1.5
	女性	952	2.0	1.7	50.0	25.5	0.8	1.4	2.3	7.1	11.0	1.8
	無回答	17	-	-	29.4	5.9	5.9	5.9	-	11.8	11.8	17.6
年代別	18～19歳	23	-	-	43.5	26.1	-	-	-	21.7	26.1	-
	20～29歳	119	2.5	-	66.4	37.8	-	-	1.7	8.4	14.3	-
	30～39歳	194	1.5	1.0	61.9	30.9	-	-	4.1	7.7	13.4	0.5
	40～49歳	267	1.5	0.7	50.6	26.6	0.4	0.4	2.6	10.9	15.4	0.4
	50～59歳	247	1.2	1.2	47.4	32.4	0.4	1.6	2.4	5.3	11.3	-
	60～64歳	160	0.6	1.9	45.6	20.0	0.6	0.6	1.9	5.6	13.8	0.6
	65～69歳	210	4.3	1.9	43.8	19.5	1.0	1.0	1.0	6.2	11.0	0.5
	70歳以上	331	3.3	3.9	34.7	9.7	1.2	4.5	1.2	3.0	13.3	6.9
無回答	15	-	-	13.3	13.3	6.7	6.7	-	13.3	26.7	13.3	
居住区別	中央区	208	2.4	0.5	48.1	28.8	0.5	1.4	1.0	6.7	15.9	1.4
	北区	221	2.7	1.4	46.6	24.9	0.5	2.3	3.2	4.1	14.9	2.3
	東区	189	1.6	1.1	43.9	23.3	-	1.6	3.7	10.1	10.6	2.6
	白石区	147	1.4	2.0	46.3	21.8	0.7	2.0	1.4	9.5	15.0	2.7
	厚別区	115	5.2	1.7	46.1	20.0	-	0.9	1.7	6.1	11.3	2.6
	豊平区	169	1.2	3.6	50.9	27.2	1.8	1.8	0.6	3.6	10.7	1.2
	清田区	87	1.1	-	46.0	20.7	-	1.1	2.3	9.2	14.9	-
	南区	126	1.6	1.6	46.8	15.9	0.8	0.8	-	5.6	11.9	1.6
	西区	176	1.1	2.8	52.3	22.2	0.6	1.7	3.4	6.8	14.8	1.1
	手稲区	116	4.3	2.6	49.1	26.7	0.9	-	2.6	6.0	13.8	0.9
無回答	12	-	-	16.7	8.3	8.3	8.3	-	25.0	16.7	16.7	

対象者全体の値と比較し10%以上高い

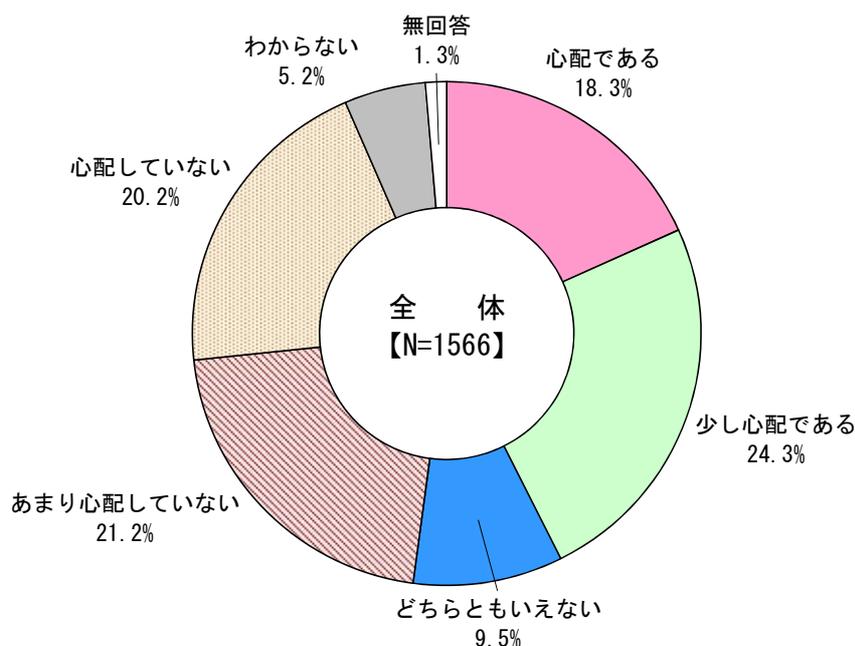
対象者全体の値と比較し10%以上低い

孤立死の心配

【問 9】あなたは、孤立死※について心配がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 孤立死とは、周囲との交流が無く、自宅等で誰にも看取られずに一人で亡くなり、亡くなった後何日間か放置された状態で発見されることです。

孤立死の心配について、「心配である」(18.3%)と「少し心配である」(24.3%)をあわせた割合(42.6%)が約4割を占めている。また「心配していない」(20.2%)と「あまり心配していない」(21.2%)をあわせた割合(41.4%)も約4割となっている。



【対象者全体】

「少し心配である」が24.3%と最も高くなっている。次いで、「あまり心配していない」が21.2%、「心配していない」が20.2%、「心配である」が18.3%、「どちらともいえない」が9.5%となっている。

【性別】

男女ともに「少し心配である」が最も高く、男性が24.5%、女性が24.4%となっている。

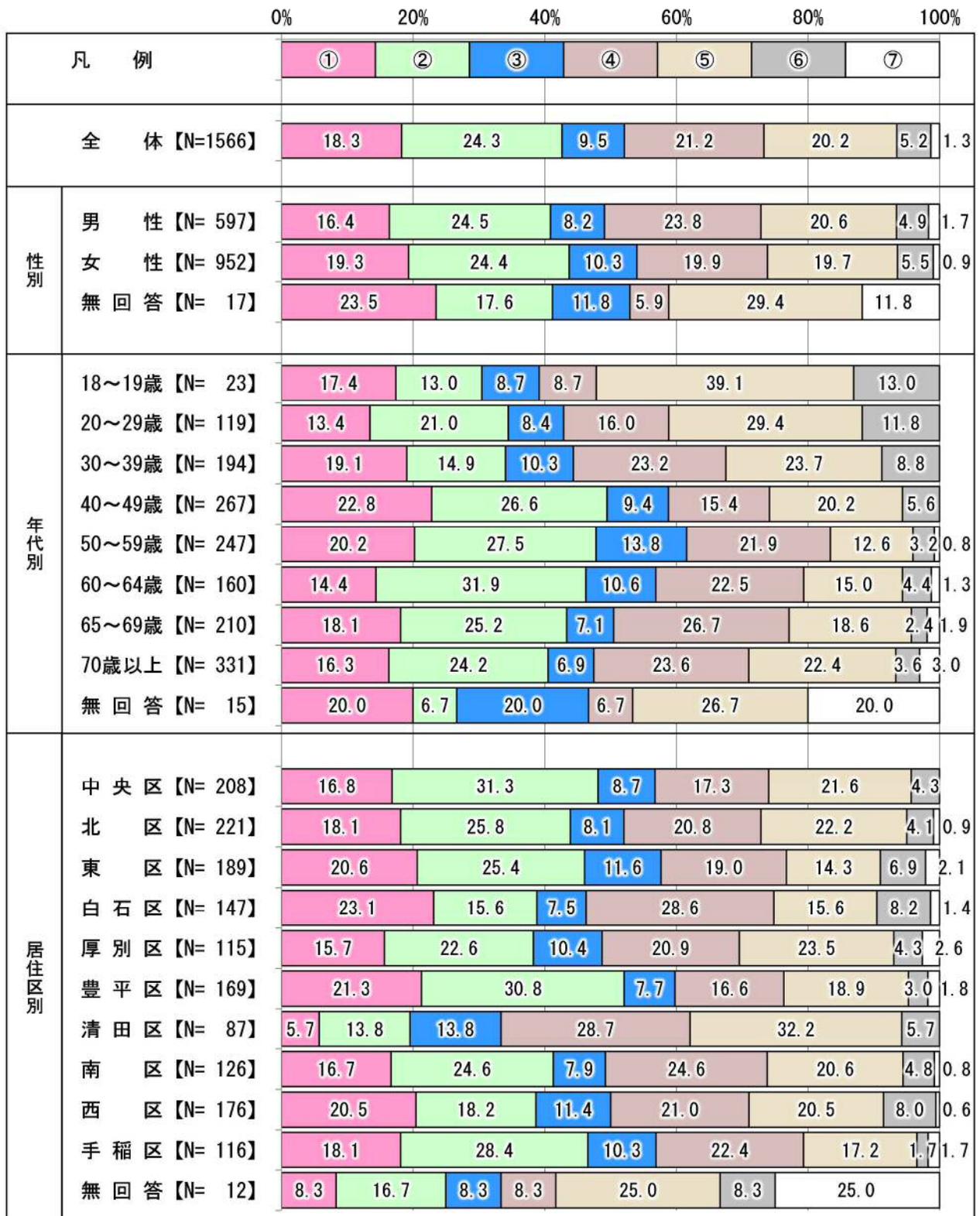
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

40歳代から60歳代前半と70歳以上では「少し心配である」が最も高くなっている。20歳代と30歳代では「心配していない」が最も高く、60歳代後半では「あまり心配していない」が最も高くなっている。

【居住区別】

中央区、北区、東区、豊平区、手稲区では「少し心配である」が最も高くなっている。白石区と西区では「あまり心配していない」が、厚別区と清田区では「心配していない」が最も高くなっている。南区では「少し心配である」と「あまり心配していない」が同率となっている。

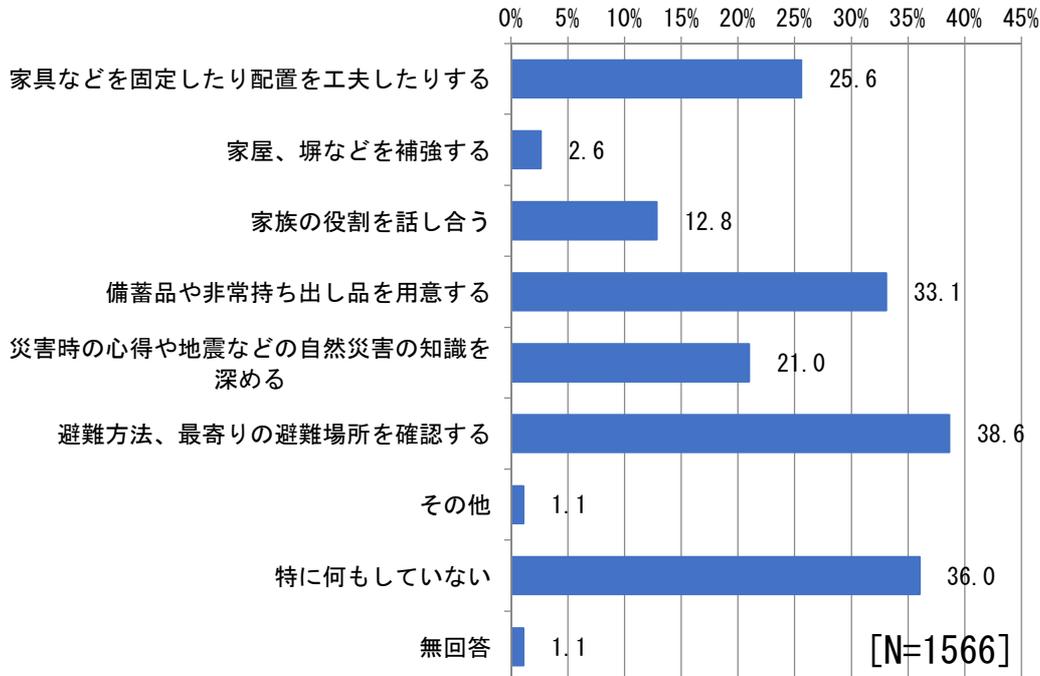
①心配である ②少し心配である ③どちらともいえない ④あまり心配していない
 ⑤心配していない ⑥わからない ⑦無回答



災害に備えた対策

【問 10】あなたのご家庭では、地震などの災害に備えてどのような対策をとっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

災害に備えた対策については、「避難方法、最寄りの避難場所を確認する」が 38.6%と最も高くなっている。次いで、「特に何もしていない」が 36.0%となっている。



【対象者全体】

「避難方法、最寄りの避難場所を確認する」が 38.6%と最も高くなっている。次いで、「特に何もしていない」が 36.0%、「備蓄品や非常持ち出し品を用意する」が 33.1%、「家具などを固定したり配置を工夫したりする」が 25.6%となっている。

【性別】

男女ともに「避難方法、最寄りの避難場所を確認する」が最も高く、男性が 37.0%、女性が 39.6%となっている。

【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

40 歳代以降は「避難方法、最寄りの避難場所を確認する」が最も高くなっている。20 歳代と 30 歳代では「特に何もしていない」が最も高くなっている。

【居住区別】

中央区、北区、白石区、厚別区、清田区では「避難方法、最寄りの避難場所を確認する」が最も高くなっている。東区、豊平区、西区、手稲区は「特に何もしていない」が、南区では「備蓄品や非常持ち出し品を用意する」が最も高くなっている。

(単位：%)

	回答者数	家具などを固定したり配置を工夫したりする	家屋、塀などを補強する	家族の役割を話し合う	備蓄品や非常持ち出し品を用意する	災害時の心得や地震などの自然災害の知識を深める	避難方法、最寄りの避難場所を確認する	その他	特に何もしていない	無回答	計	
全体	1,566	25.6	2.6	12.8	33.1	21.0	38.6	1.1	36.0	1.1	172.0	
性別	男性	597	26.8	3.0	11.7	36.7	25.1	37.0	1.0	34.0	1.0	176.4
	女性	952	24.9	2.4	13.6	30.8	18.5	39.6	1.2	37.4	0.9	169.2
	無回答	17	23.5	-	11.8	35.3	17.6	41.2	-	29.4	11.8	170.6
年代別	18～19歳	23	26.1	8.7	21.7	8.7	17.4	26.1	-	47.8	-	156.5
	20～29歳	119	14.3	1.7	9.2	25.2	19.3	27.7	1.7	42.9	-	142.0
	30～39歳	194	17.5	-	9.8	21.1	10.3	25.3	-	53.1	-	137.1
	40～49歳	267	21.3	2.6	15.7	36.7	21.7	37.5	0.4	36.0	-	171.9
	50～59歳	247	25.9	1.6	14.2	31.6	23.9	39.7	0.8	33.6	0.8	172.1
	60～64歳	160	30.6	0.6	13.1	32.5	24.4	40.0	0.6	34.4	1.3	177.5
	65～69歳	210	32.4	3.8	11.4	35.7	19.0	46.2	2.4	31.4	1.4	183.8
	70歳以上	331	31.4	5.1	12.4	41.7	25.4	46.5	1.8	28.1	2.4	194.9
無回答	15	13.3	-	20.0	26.7	13.3	26.7	-	40.0	13.3	153.3	
居住区別	中央区	208	23.6	1.9	15.9	39.9	18.3	40.9	1.4	34.6	-	176.4
	北区	221	25.8	2.7	10.9	34.4	24.0	41.6	1.4	33.9	0.5	175.1
	東区	189	29.6	2.1	12.7	28.6	20.1	29.6	0.5	39.2	1.6	164.0
	白石区	147	21.1	-	13.6	28.6	18.4	38.8	0.7	38.1	1.4	160.5
	厚別区	115	27.8	7.8	15.7	32.2	22.6	40.0	-	33.9	1.7	181.7
	豊平区	169	25.4	1.8	6.5	30.8	19.5	34.9	-	37.9	1.8	158.6
	清田区	87	18.4	1.1	14.9	32.2	20.7	44.8	2.3	36.8	-	171.3
	南区	126	32.5	3.2	15.1	50.8	25.4	44.4	1.6	23.0	-	196.0
	西区	176	24.4	1.7	13.1	26.1	21.6	38.6	1.1	40.3	0.6	167.6
	手稲区	116	26.7	6.0	12.9	28.4	21.6	37.1	2.6	40.5	2.6	178.4
無回答	12	16.7	-	8.3	25.0	8.3	33.3	-	41.7	16.7	150.0	

対象者全体の値と比較し10%以上高い

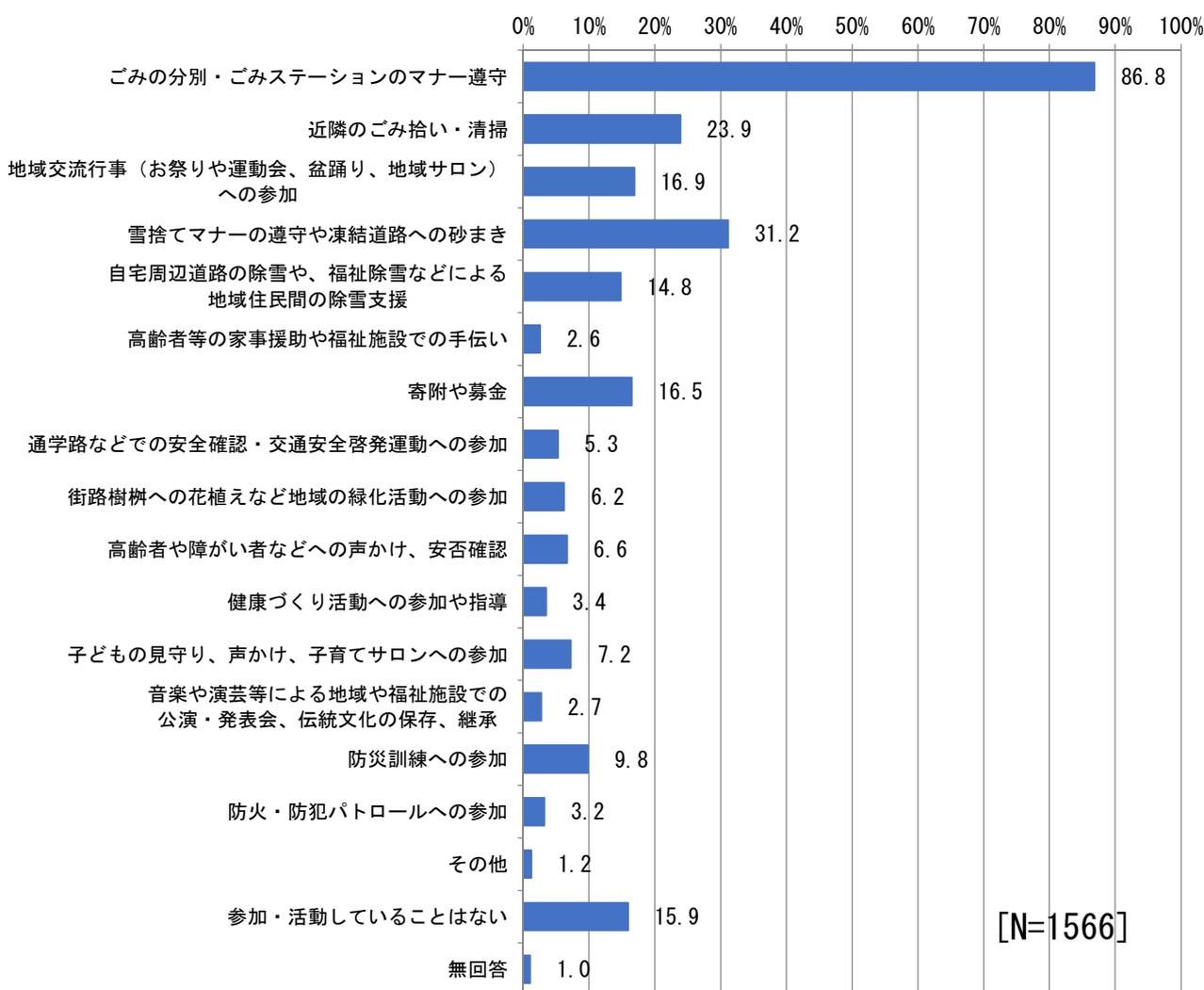
対象者全体の値と比較し10%以上低い

継続的に行っているまちづくり活動

【問 11】 次にあげるまちづくり活動*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※ まちづくり活動とは、地域における安全、安心を推進し、暮らしやすいまちを実現するために、一人ひとりがごみの分別や除雪ルールに気をつけたり、同じまちに住む人々（町内会や老人クラブ、PTA、商店街など）がお互いに協力し合って、ごみステーションの管理、近所の清掃活動、街路樹への花植え等の活動を行ったりすることです。

継続的に行っているまちづくり活動については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が86.8%と最も高くなっている。



【対象者全体】

「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が 86.8%と最も高くなっている。次いで、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が 31.2%となっている。

【性別】

男女ともに「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高く、男性が 85.3%、女性が 87.8%となっている。

【年代別】※10 歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高くなっている。20 歳代と 30 歳代では「近隣のごみ拾い・清掃」が他の年代よりも低いが、65 歳代後半と 70 歳以上では他の年代よりも高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高くなっている。清田区と南区では「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が、清田区と手稲区では「近隣のごみ拾い・清掃」が他の区よりも高くなっている。一方で、豊平区では「近隣のごみ拾い・清掃」と「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が他の区よりも低くなっている。

		回答者数	ごみの分別・ごみステーションの遵守	近隣のごみ拾い・清掃	地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加	雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき	自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援	高齢者等の家事援助や福祉施設での手伝い	寄附や募金	通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加
全体		1,566	86.8	23.9	16.9	31.2	14.8	2.6	16.5	5.3
性別	男性	597	85.3	24.6	16.9	33.2	17.8	3.2	13.1	6.0
	女性	952	87.8	23.4	17.1	29.8	12.8	2.1	18.7	4.8
	無回答	17	88.2	23.5	-	35.3	23.5	5.9	11.8	5.9
年代別	18～19歳	23	65.2	4.3	8.7	4.3	4.3	8.7	21.7	-
	20～29歳	119	77.3	3.4	4.2	21.0	5.0	0.8	7.6	1.7
	30～39歳	194	84.5	7.7	19.6	21.6	8.2	0.5	9.8	2.6
	40～49歳	267	85.0	18.0	21.7	33.3	12.4	1.1	9.7	12.4
	50～59歳	247	91.9	22.7	9.7	34.0	12.1	2.0	19.4	3.2
	60～64歳	160	93.1	26.9	14.4	34.4	19.4	2.5	18.8	3.1
	65～69歳	210	88.6	35.7	14.8	35.2	20.5	3.8	23.3	2.9
	70歳以上	331	86.7	39.6	25.1	34.1	21.5	4.5	20.8	6.9
	無回答	15	86.7	6.7	-	33.3	6.7	6.7	20.0	6.7
居住区別	中央区	208	88.0	15.4	13.5	22.6	7.7	2.9	17.3	7.7
	北区	221	88.2	30.3	20.4	35.7	16.7	2.7	15.8	4.1
	東区	189	82.0	15.9	11.1	28.6	11.6	2.1	10.6	4.8
	白石区	147	81.0	21.1	15.6	22.4	8.2	2.0	11.6	4.8
	厚別区	115	87.0	27.0	14.8	30.4	10.4	2.6	15.7	1.7
	豊平区	169	88.8	13.6	14.8	18.3	10.1	1.8	17.8	2.4
	清田区	87	86.2	41.4	23.0	46.0	31.0	4.6	21.8	8.0
	南区	126	89.7	31.7	24.6	49.2	24.6	2.4	22.2	7.9
	西区	176	88.6	23.3	14.2	33.5	15.9	0.6	17.6	4.0
	手稲区	116	88.8	36.2	25.0	38.8	25.0	5.2	19.0	9.5
	無回答	12	91.7	8.3	-	25.0	8.3	8.3	16.7	8.3

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

		回答者数	街路樹への参加 緑化活動への参加	高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認	健康づくり活動への参加や指導	子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加	音楽や演芸等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継承	防災訓練への参加	防火・防犯パトロールへの参加	その他	参加・活動していることはない	無回答
全体		1,566	6.2	6.6	3.4	7.2	2.7	9.8	3.2	1.2	15.9	1.0
性別	男性	597	6.9	5.7	3.5	5.7	1.8	12.2	4.7	1.3	14.1	1.0
	女性	952	5.8	7.1	3.5	8.1	3.4	8.3	2.2	1.2	17.0	0.9
	無回答	17	5.9	11.8	-	11.8	-	11.8	5.9	-	17.6	5.9
年代別	18～19歳	23	-	4.3	-	4.3	4.3	-	-	-	30.4	-
	20～29歳	119	-	1.7	-	0.8	0.8	2.5	-	-	19.3	-
	30～39歳	194	0.5	2.6	0.5	17.0	1.0	1.0	1.5	1.5	13.9	-
	40～49歳	267	2.6	4.5	1.5	10.9	3.0	3.0	1.5	0.4	10.9	0.4
	50～59歳	247	3.2	6.5	0.4	2.8	1.6	5.7	1.6	0.4	12.6	-
	60～64歳	160	5.0	4.4	2.5	1.9	3.1	13.8	1.9	1.3	11.3	0.6
	65～69歳	210	9.5	7.1	3.8	3.3	4.3	19.5	4.8	1.9	21.9	1.4
	70歳以上	331	16.0	13.6	10.9	9.1	3.9	19.3	7.9	2.4	19.3	3.0
無回答	15	-	6.7	-	13.3	-	-	-	-	26.7	6.7	
居住区別	中央区	208	3.4	7.2	3.4	4.3	3.8	11.1	2.9	-	13.5	1.0
	北区	221	10.9	6.3	5.0	9.0	3.6	8.6	3.2	2.7	14.9	0.5
	東区	189	5.8	6.9	1.6	4.8	0.5	6.9	2.6	0.5	16.9	1.6
	白石区	147	4.8	6.8	3.4	6.8	4.1	12.9	4.1	2.0	19.0	0.7
	厚別区	115	4.3	6.1	4.3	6.1	0.9	8.7	1.7	0.9	25.2	1.7
	豊平区	169	4.7	3.6	3.0	8.3	1.8	7.7	1.2	2.4	13.0	2.4
	清田区	87	10.3	11.5	3.4	13.8	3.4	14.9	6.9	-	12.6	-
	南区	126	5.6	5.6	2.4	8.7	4.0	15.9	4.8	-	12.7	-
	西区	176	4.0	8.0	4.0	5.1	2.3	6.8	0.6	1.1	18.2	0.6
	手稲区	116	9.5	6.0	4.3	8.6	3.4	10.3	6.9	1.7	13.8	0.9
無回答	12	8.3	8.3	-	16.7	-	-	8.3	-	16.7	8.3	

対象者全体の値と比較し10%以上高い

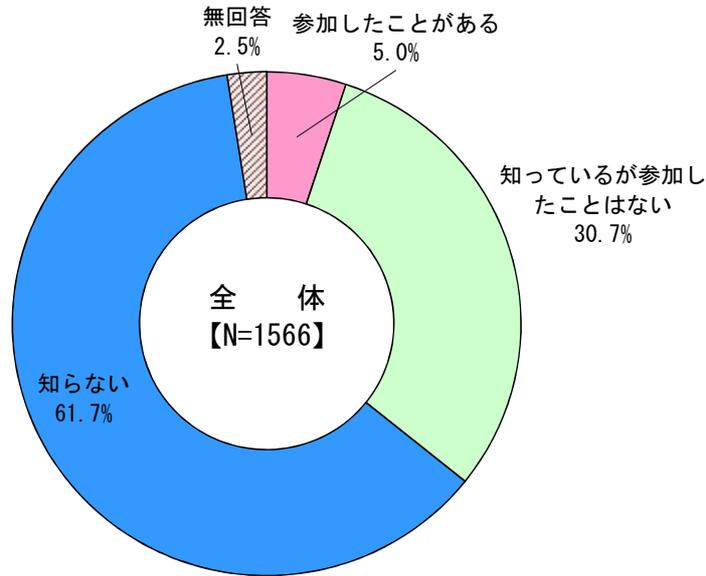
対象者全体の値と比較し10%以上低い

市民参加の機会

【問 12】札幌市が設けている次の(1)から(5)までにあげる市民参加の機会について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 説明会・意見交換会（特定のテーマについて市民の皆様にご集まっていただき、市民と市役所が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの）

説明会・意見交換会への参加については、「知らない」が61.7%と全体の6割強を占めている。



【対象者全体】

「知らない」が61.7%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が30.7%、「参加したことがある」が5.0%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が58.3%、女性が64.2%となっている。

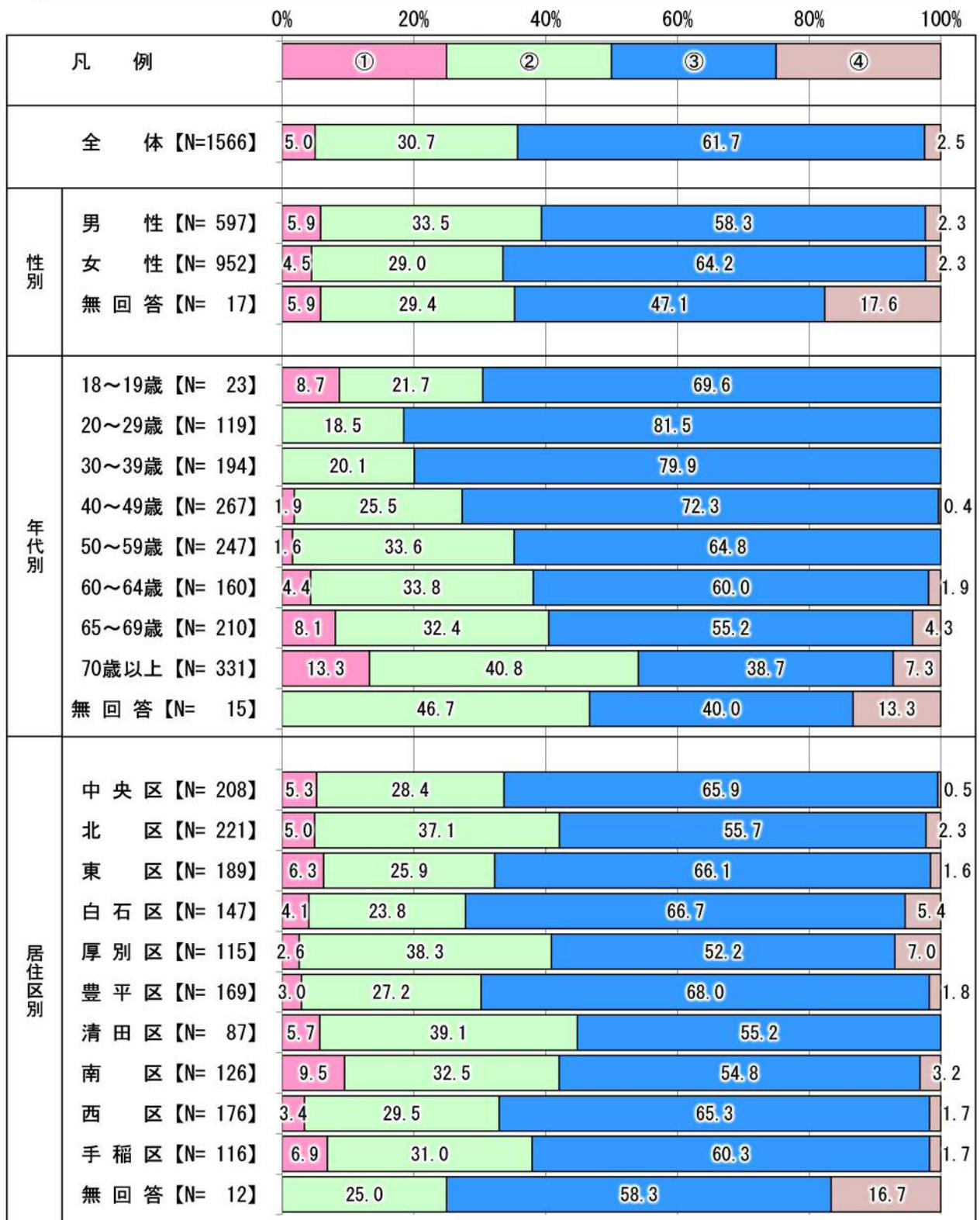
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

年代別では70歳以上を除く年代で「知らない」が最も高くなっている。「知っているが参加したことはない」は70歳以上では40.8%と最も高く、年代が上がるにつれて上昇傾向になっている。

【居住区別】

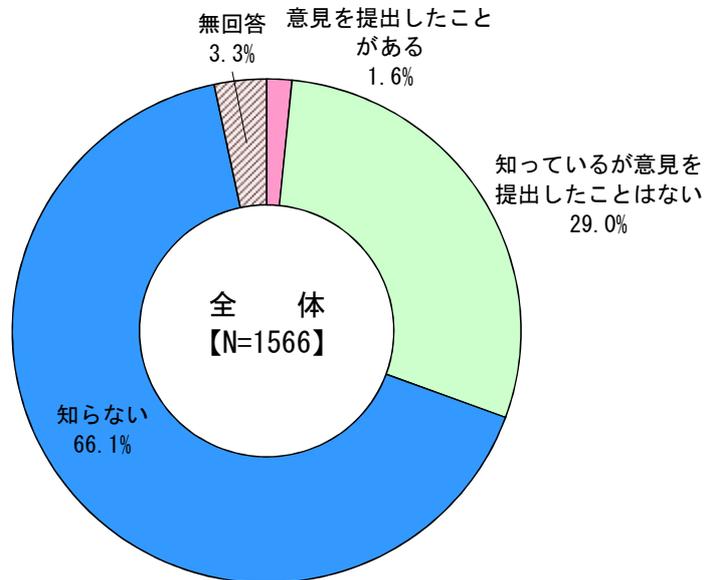
全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも豊平区では68.0%と最も高く、厚別区では52.2%と最も低くなっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(2) パブリックコメント（条例や計画など市の重要な政策を定めるにあたり、市が作成した素案をホームページや冊子などで公表し、それに対して市民の皆様から意見をいただくもの）

パブリックコメントの提出については、「知らない」が66.1%と全体の6割強を占めている。



【対象者全体】

「知らない」が66.1%と最も高くなっている。次いで、「知っているが意見を提出したことはない」が29.0%、「意見を提出したことがある」が1.6%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が59.3%、女性が70.9%となっている。男性では「知っているが意見を提出したことはない」が36.0%と女性よりも高くなっている。

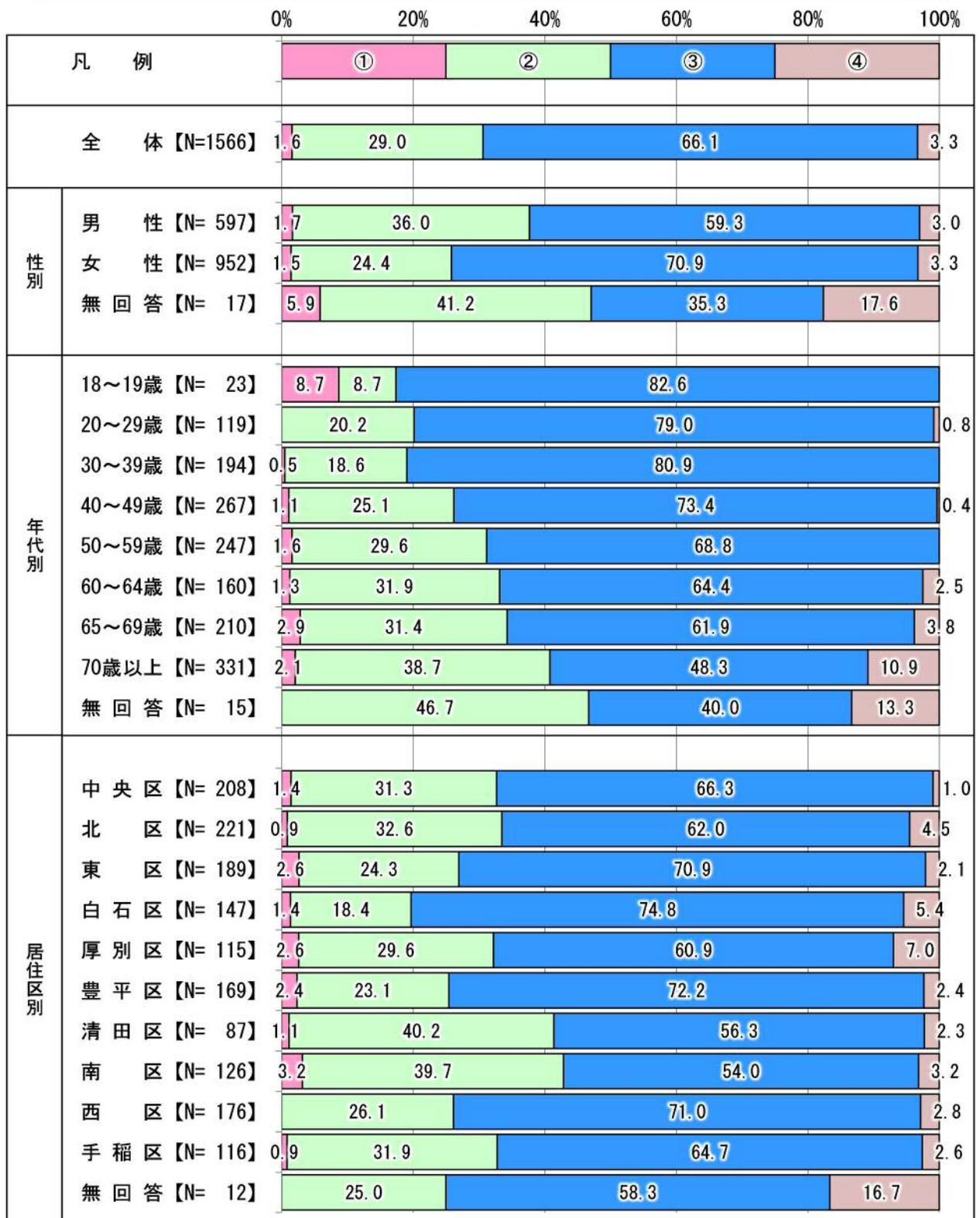
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「知らない」が最も高くなっている。年代が上がるにつれて「知らない」は下降傾向となり、「知っているが意見を提出したことはない」が上昇傾向になっている。

【居住区別】

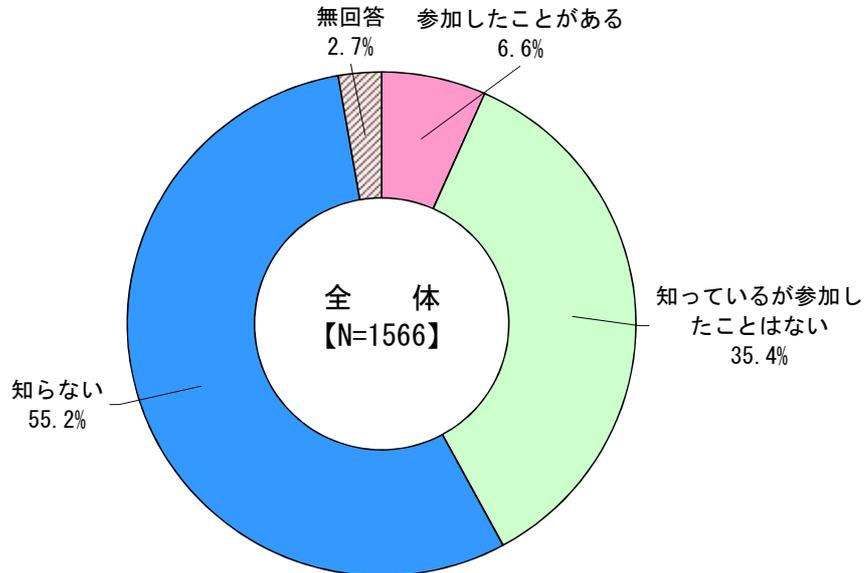
全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも白石区が74.8%と最も高く、南区が54.0%と最も低くなっている。

①意見を提出したことがある ②知っているが意見を提出したことはない ③知らない ④無回答



(3) シンポジウム・フォーラム（特定のテーマについて、大勢の出席者が参加して行う公開討論会）

シンポジウム・フォーラムの参加については、「知らない」が 55.2%と全体の 5 割強を占めている。



【対象者全体】

「知らない」が 55.2%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が 35.4%、「参加したことがある」が 6.6%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が 53.1%、女性が 56.7%となっている。

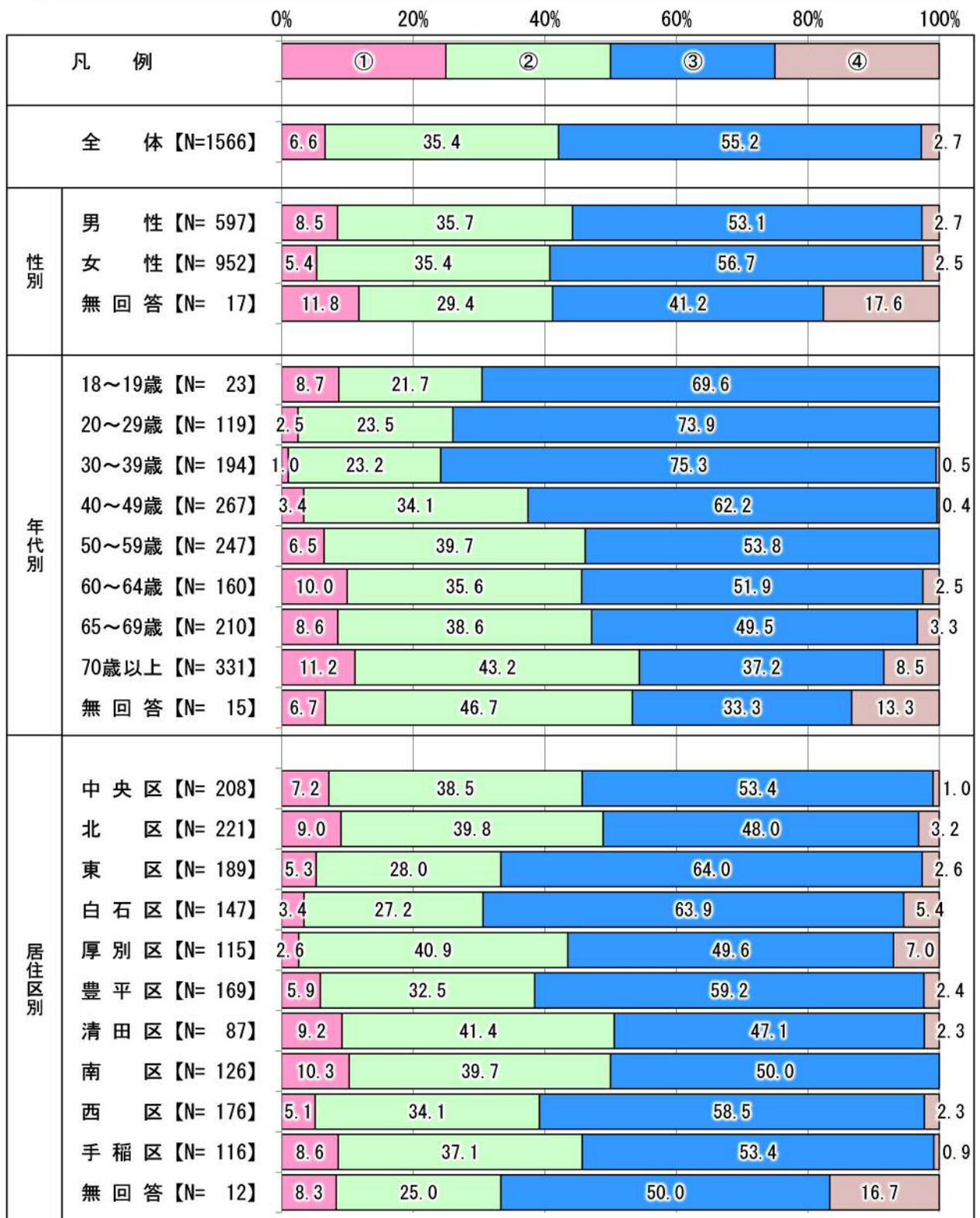
【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

70 歳以上を除く年代で「知らない」が最も高くなっている。70 歳以上では「知っているが参加したことはない」が 43.2%と最も高くなっている。20 歳代と 30 歳代では「知っているが参加したことはない」が他の年代よりも低くなっている。

【居住区別】

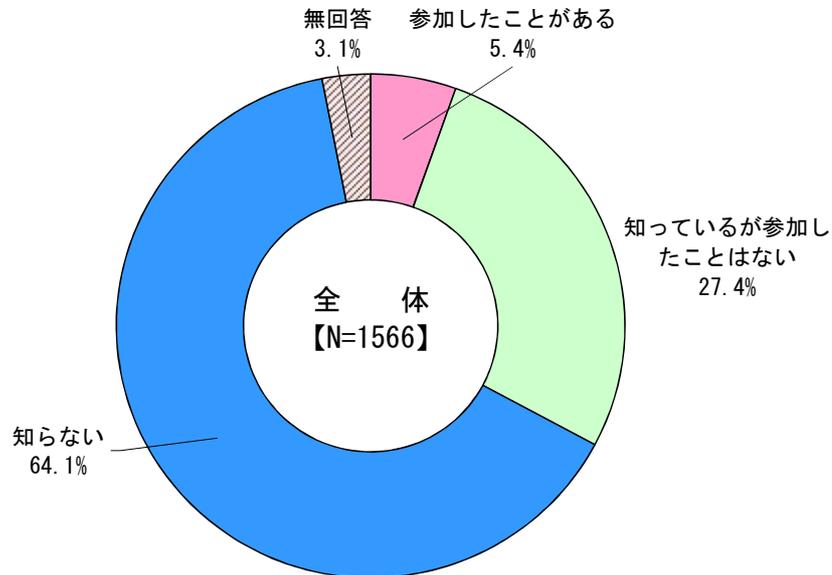
全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも東区では 64.0%と最も高く、清田区では 47.1%と最も低くなっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(4) ワークショップ（特定のテーマについて、少人数のグループで話し合い、グループごとに意見や提案をまとめるもの）

ワークショップの参加については、「知らない」が 64.1%と全体の 6 割強を占めている。



【対象者全体】

「知らない」が 64.1%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が 27.4%、「参加したことがある」が 5.4%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が 62.1%、女性が 65.8%となっている。

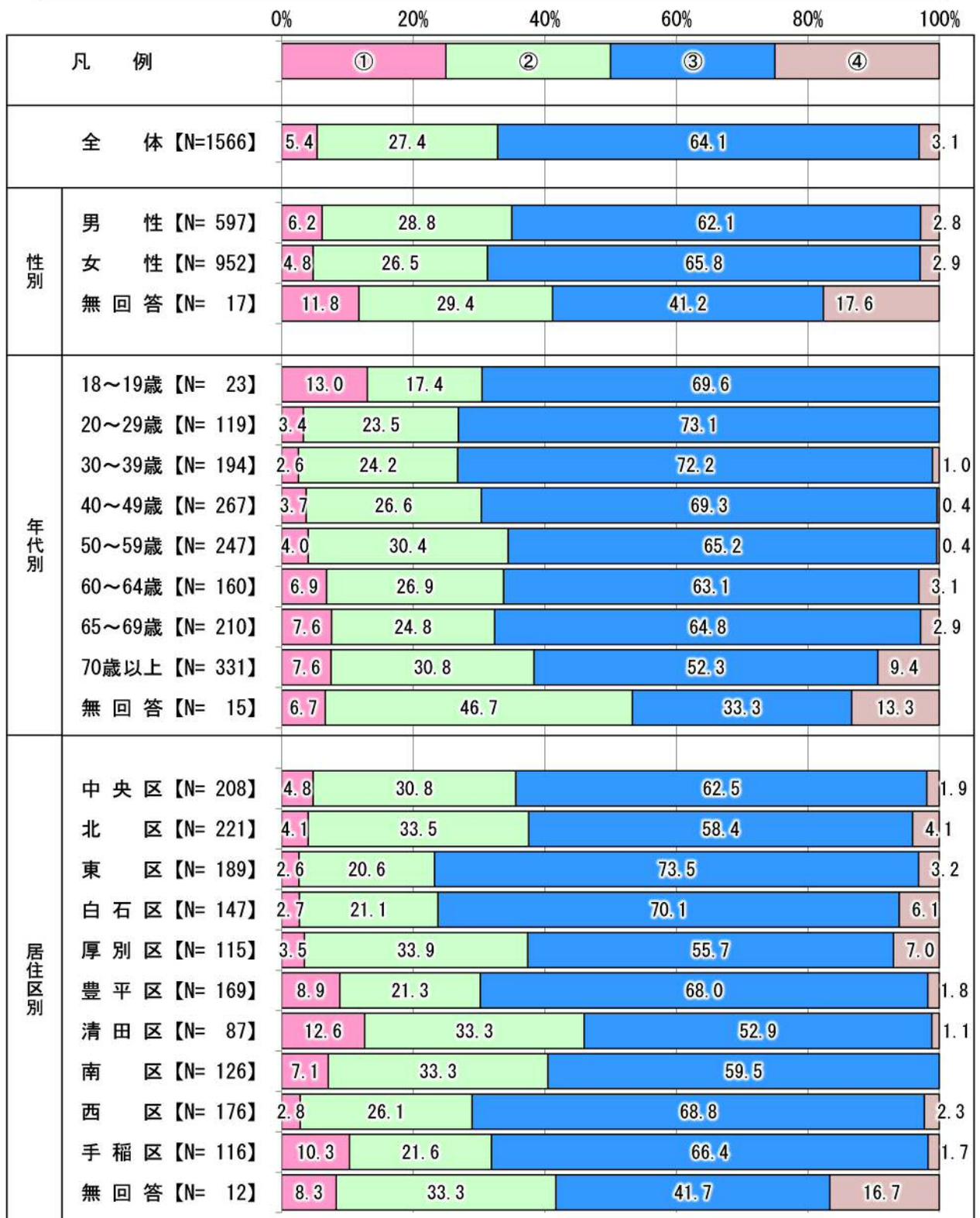
【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「知らない」が最も高くなっている。その中でも 20 代は 73.1%と最も高く、70 歳以上では 52.3%と最も低くなっている。

【居住区別】

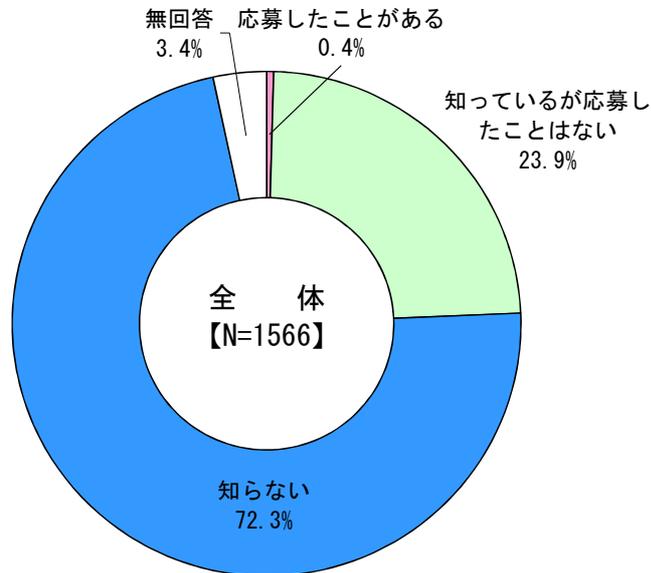
全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも東区が 73.5%と最も高く、清田区が 52.9%と最も低くなっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(5) 審議会など（学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、市政運営における特定のテーマについて議論や検討を行うもの）における市民委員の公募

市民参加の公募については、「知らない」が72.3%と全体の7割強を占めている。



【対象者全体】

「知らない」が72.3%と最も高くなっている。次いで、「知っているが応募したことはない」が23.9%、「応募したことがある」が0.4%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が68.0%、女性が75.1%となっている。

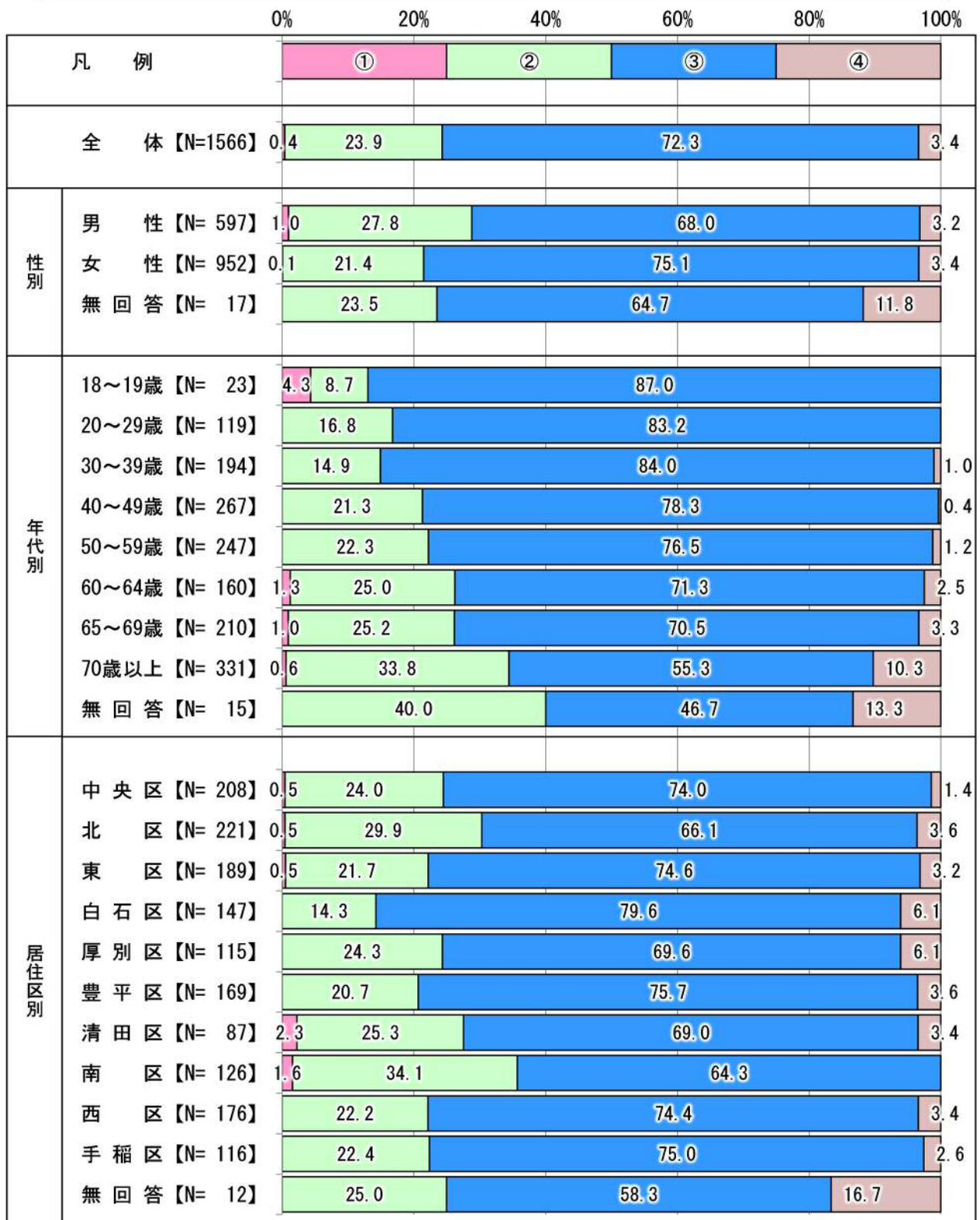
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「知らない」が最も高くなっている。その中でも30歳代が84.0%と最も高く、70歳以上が55.3%と最も低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも白石区が79.6%と最も高く、南区が64.3%と最も低くなっている。

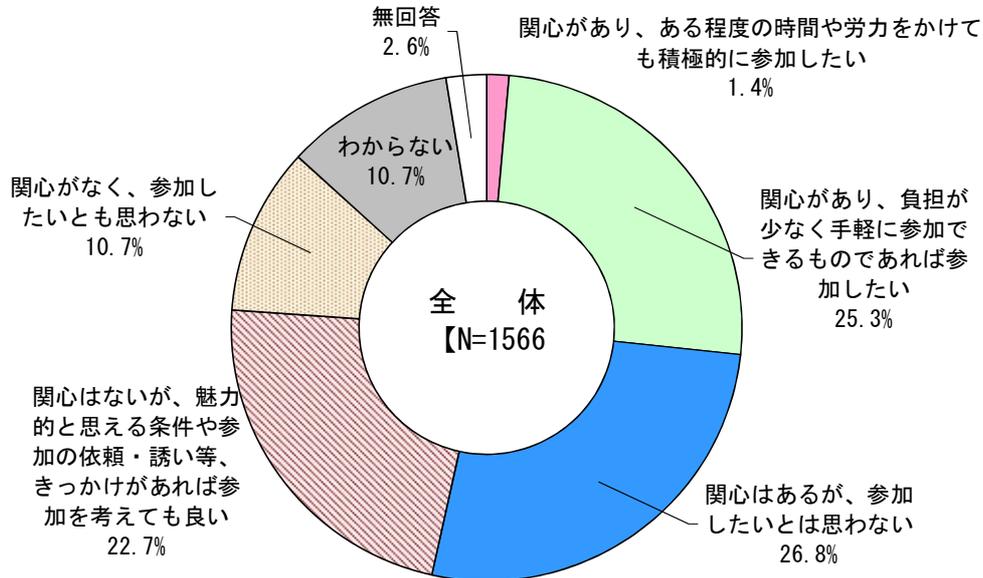
①応募したことがある ②知っているが応募したことはない ③知らない ④無回答



市政への関心や参加

【問 13】 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への関心や参加については、「関心はあるが、参加したいと思わない」が 26.8%と最も高く、次いで「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」が 25.3%となっている。



【対象者全体】

「関心はあるが、参加したいと思わない」が 26.8%と最も高く、次いで「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」が 25.3%、「関心はないが、きっかけがあれば参加したい」が 22.7%、「関心がなく、参加したいと思わない」が 10.7%、「わからない」が 10.7%、「関心があり、参加したい」が 1.4%となっている。

【性別】

男性では「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」が 30.2%と最も高く、女性では「関心はあるが、参加したいと思わない」が 25.8%と最も高くなっている。

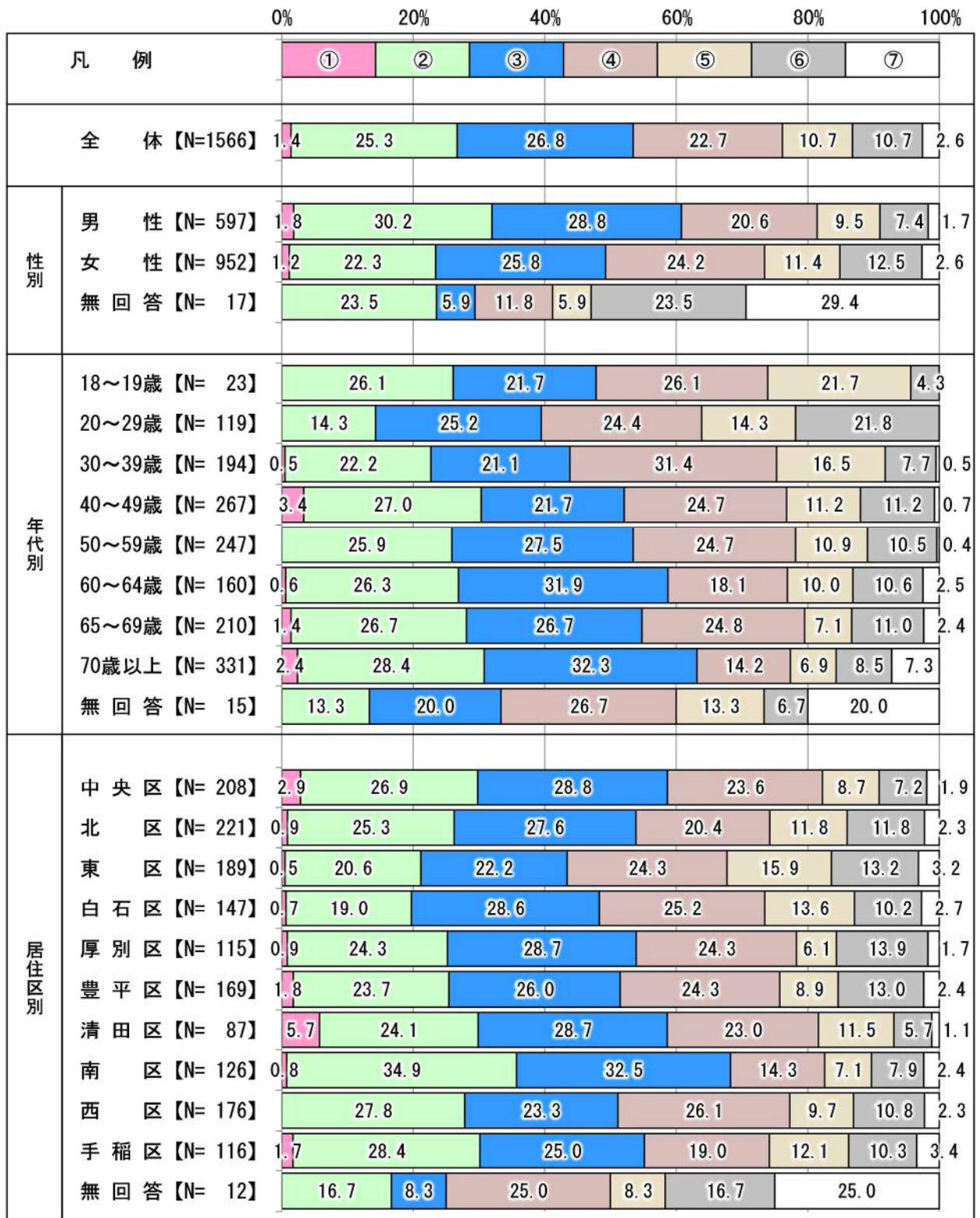
【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代、50 歳代、60 歳代前半、70 歳以上では「関心はあるが、参加したいと思わない」が最も高く、30 歳代では「関心はないが、きっかけがあれば参加したい」が最も高く、40 歳代では「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」が最も高く、60 歳代後半では「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」と「関心はあるが、参加したいと思わない」が同率となっている。

【居住区別】

中央区、北区、白石区、厚別区、豊平区、清田区では「関心はあるが、参加したいと思わない」が最も高く、東区、では「関心はないが、きっかけがあれば参加したい」が最も高く、南区、西区、手稲区では「関心があり、負担が少ないものなら参加したい」が最も高くなっている。

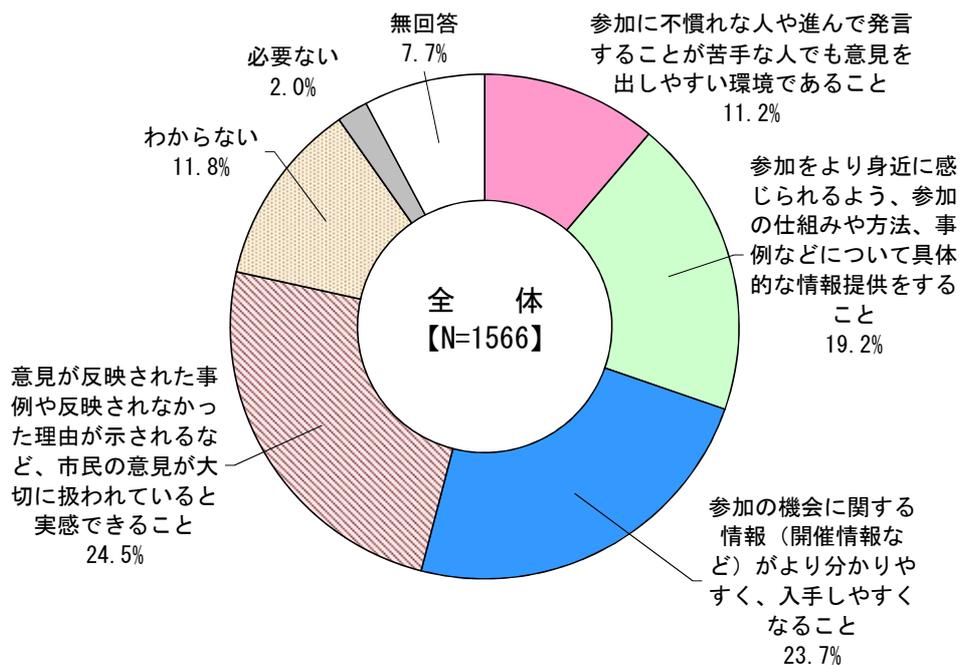
①関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい ②関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい ③関心はあるが、参加したいとは思わない ④関心はないが、魅力的と思える条件や参加の依頼・誘い等、きっかけがあれば参加を考えても良い ⑤関心がなく、参加したいとは思わない ⑥わからない ⑦無回答



市政への参加しやすさに必要な事柄

【問 14】あなたは、今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への参加しやすさに必要な事柄については、「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が 24.5%、「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」が 23.7%となっている。



【対象者全体】

「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が 24.5%と最も高くなっている。次いで、「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」が 23.7%、「参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること」が 19.2%、「わからない」が 11.8%、「参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること」が 11.2%、「必要ない」が 2.0%となっている。

【性別】

男女ともに「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が最も高く、男性が 25.0%、女性が 24.3%となっている。女性では「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」も同率となっている。

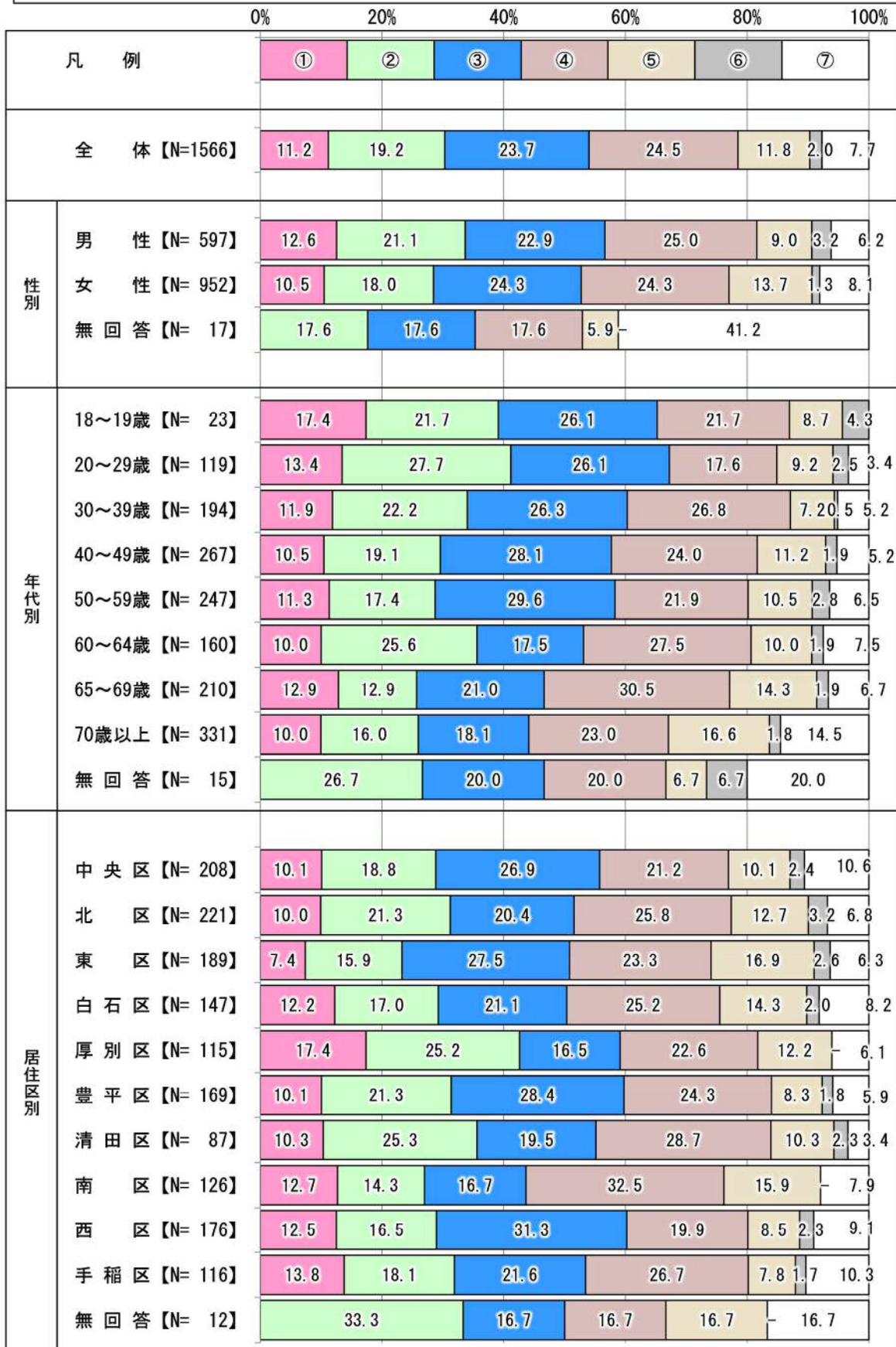
【年代別】※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代では「参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること」が最も高く、30 歳代と 60 歳代と 70 歳以上では「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が最も高く、40 歳代と 50 歳代では「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」が最も高くなっている。

【居住区別】

北区、白石区、清田区、南区、手稲区では「意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること」が最も高く、中央区、東区、豊平区、西区では「参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること」が最も高く、厚別区では「参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること」が最も高くなっている。

- ①参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること
 ②参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること
 ③参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること
 ④意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること
 ⑤わからない ⑥必要ない ⑦無回答



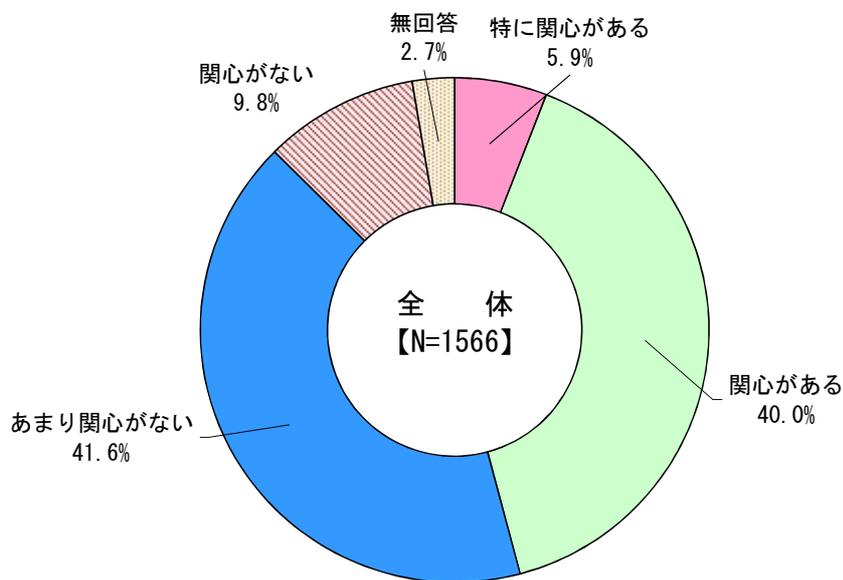
海外交流への関心

【問 15】札幌市においても国際社会との関係が深まる中、あなたは、姉妹都市※¹をはじめとした海外諸都市との往来や外国人との交流※²等を通して、異文化を理解し、世界の都市と友好を深めていくことに関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※2 「海外諸都市との往来や外国人との交流」とは、スポーツ、文化芸術、教育、観光、経済など様々な分野における交流を指します。

海外交流への関心については、「あまり関心がない」（41.6%）と「関心がない」（9.8%）を合わせた割合（51.5%）が5割強となっている。「関心がある」も40.0%となっている。



【対象者全体】

「あまり関心がない」が41.6%と最も高くなっている。次いで、「関心がある」が40.0%、「関心がない」が9.8%、「特に関心がある」が5.9%となっている。

【性別】

男女ともに「あまり関心がない」が最も高く、男性が 42.0%、女性が 41.4%となっている。

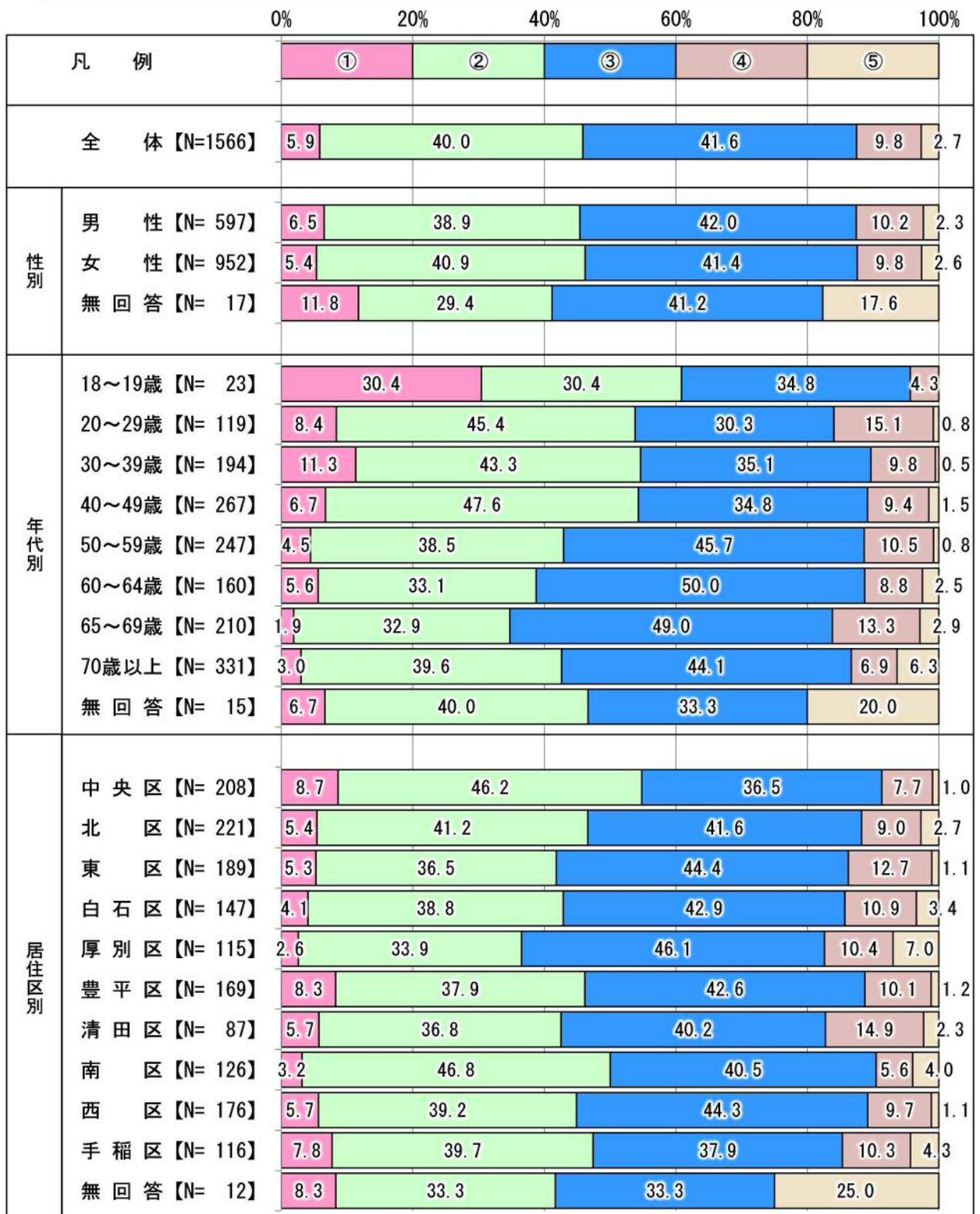
【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代から 40 歳代までは「関心がある」が最も高く、50 歳代以降は「あまり関心がない」が最も高くなっている。

【居住区別】

北区、東区、白石区、厚別区、豊平区、清田区、西区は「あまり関心がない」が最も高く、中央区、南区、手稲区は「関心がある」が最も高くなっている。

①特に関心がある ②関心がある ③あまり関心がない ④関心がない ⑤無回答



行ったスポーツ(運動)

【問 16】あなたは、この1年間に運動・スポーツを行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

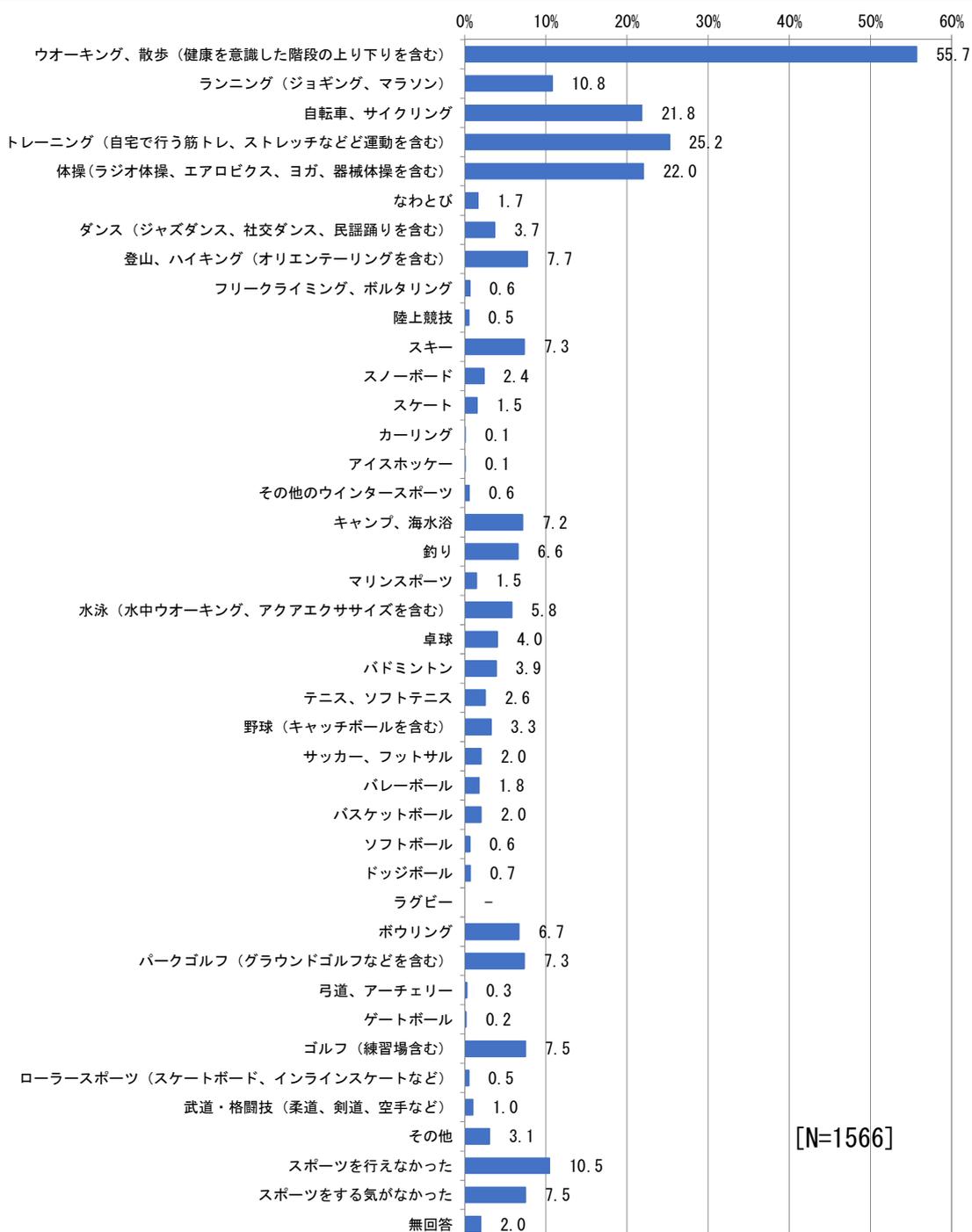
なお、運動・スポーツには、健康づくりを意識して日常生活で行う軽い運動（徒歩通勤、自転車通勤、階段の積極的な利用など）も含まれます。運動・スポーツを行わなかった場合は、「39」または「40」のいずれかに○をつけてください。

※ 障がいに応じた用具やルールの変更などがある競技はもとの競技に含まれます。

例：車いすマラソン → 2. ランニング（ジョギング、マラソン）

ブラインドサッカー → 25. サッカー、フットサル

行ったスポーツ（運動）については、「ウォーキング、散歩」が55.7%と最も高くなっている。次いで、「トレーニング」が25.2%、「体操」が22.0%、「自転車、サイクリング」が21.8%となっている。



【対象者全体】

「ウォーキング、散歩」が 55.7%と最も高くなっている。次いで、「トレーニング」が 25.2%、「体操」が 22.0%、「自転車、サイクリング」が 21.8%となっている。

【性別】

男女ともに「ウォーキング、散歩」が最も高く、男性は 56.4%、女性は 55.5%となっている。

【年代別】※10 歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「ウォーキング、散歩」が最も高くなっている。特に 60 歳代後半では 68.1%と他の年代よりも高くなっている。20 歳代では「ランニング (ジョギング、マラソン)」、「トレーニング」、「キャンプ、海水浴」、「ボウリング」が他の年代よりも高くなっている。40 歳代では「スキー」が他の年代よりも高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「ウォーキング、散歩」が最も高くなっている。各スポーツにおいて傾向に大きな差はない。

	回答者数	ウォーキング、散歩（健康を意識した段階の上り下りを含む）	ランニング（ジョギング、マラソン）	自転車、サイクリング	トレニング（自宅で行う筋トレ、ストレッチなど運動を含む）	体操（ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、器械体操を含む）	なわとび	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	
全体	1,566	55.7	10.8	21.8	25.2	22.0	1.7	3.7	7.7	
性別	男性	597	56.4	16.1	23.5	26.3	15.6	1.2	1.5	10.6
	女性	952	55.5	7.5	20.9	24.7	26.2	2.0	5.1	5.9
	無回答	17	41.2	11.8	17.6	17.6	17.6	-	-	11.8
年代別	18～19歳	23	65.2	39.1	52.2	52.2	21.7	13.0	8.7	4.3
	20～29歳	119	58.8	31.1	26.1	37.8	10.9	5.0	4.2	10.1
	30～39歳	194	46.9	16.5	18.0	25.8	16.5	3.1	4.1	7.2
	40～49歳	267	47.2	12.4	27.0	22.5	18.7	1.9	2.2	9.4
	50～59歳	247	53.4	10.1	25.5	25.5	20.6	0.8	4.0	7.7
	60～64歳	160	57.5	5.6	16.9	20.6	25.6	0.6	1.3	6.9
	65～69歳	210	68.1	4.3	20.5	27.6	29.5	1.0	4.3	7.6
	70歳以上	331	59.2	3.9	17.2	21.5	26.9	0.3	4.8	6.9
	無回答	15	46.7	13.3	13.3	20.0	13.3	-	-	-
居住区別	中央区	208	65.4	14.9	26.9	27.4	23.6	1.9	4.8	12.5
	北区	221	55.7	12.7	26.2	29.4	21.7	2.3	3.6	6.8
	東区	189	57.1	11.1	21.2	23.3	19.0	2.6	3.7	5.3
	白石区	147	47.6	6.8	21.1	19.0	20.4	0.7	3.4	4.1
	厚別区	115	57.4	4.3	15.7	21.7	18.3	-	1.7	0.9
	豊平区	169	52.7	13.6	20.1	27.8	19.5	1.2	1.8	9.5
	清田区	87	51.7	12.6	23.0	24.1	25.3	3.4	3.4	10.3
	南区	126	57.9	9.5	11.9	24.6	26.2	1.6	4.8	7.1
	西区	176	56.3	8.5	22.2	24.4	26.7	1.1	5.7	11.9
	手稲区	116	49.1	8.6	24.1	26.7	19.8	1.7	3.4	6.9
	無回答	12	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

		回答者数	フリースタイルライミング、ボルタリ	陸上競技	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	アイスホッケー	その他のウィンタースポーツ	キャンプ、海水浴
全体		1,566	0.6	0.5	7.3	2.4	1.5	0.1	0.1	0.6	7.2
性別	男性	597	0.5	0.5	9.7	3.4	1.5	0.2	0.2	0.7	9.0
	女性	952	0.7	0.5	5.8	1.8	1.6	-	-	0.5	6.0
	無回答	17	-	-	11.8	-	-	-	-	-	5.9
年代別	18～19歳	23	-	30.4	13.0	4.3	4.3	-	-	-	4.3
	20～29歳	119	5.0	0.8	6.7	11.8	2.5	-	-	0.8	19.3
	30～39歳	194	1.5	-	10.3	7.2	2.1	-	-	0.5	14.9
	40～49歳	267	0.4	-	18.0	2.2	4.9	0.4	-	1.1	11.2
	50～59歳	247	-	-	5.3	0.8	0.4	-	-	0.8	4.9
	60～64歳	160	-	-	1.3	-	0.6	-	0.6	-	3.8
	65～69歳	210	-	-	3.8	-	0.5	-	-	-	3.3
	70歳以上	331	-	-	3.9	-	-	-	-	0.6	1.2
	無回答	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	208	0.5	0.5	12.0	1.9	4.3	-	-	-	7.7
	北区	221	0.5	0.9	8.6	1.4	1.4	0.5	-	0.9	10.0
	東区	189	0.5	0.5	6.9	2.1	1.1	-	-	1.1	4.2
	白石区	147	0.7	0.7	6.1	1.4	0.7	-	0.7	0.7	6.1
	厚別区	115	0.9	-	4.3	1.7	-	-	-	-	3.5
	豊平区	169	-	0.6	5.9	4.7	2.4	-	-	-	8.3
	清田区	87	2.3	-	6.9	2.3	-	-	-	1.1	4.6
	南区	126	0.8	0.8	5.6	2.4	1.6	-	-	-	5.6
	西区	176	1.1	0.6	5.1	2.3	1.1	-	-	1.1	8.5
	手稲区	116	-	-	10.3	4.3	0.9	-	-	0.9	11.2
	無回答	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
対象者全体の値と比較し10%以上高い						対象者全体の値と比較し10%以上低い					

		回答者数	釣り	マリンスポーツ	水泳（水中ウォーキング、アクアエクササイズを含む）	卓球	バドミントン	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール
全体		1,566	6.6	1.5	5.8	4.0	3.9	2.6	3.3	2.0	1.8
性別	男性	597	12.2	1.3	5.5	4.0	3.0	3.4	7.0	4.2	1.8
	女性	952	3.0	1.6	6.1	4.1	4.5	2.1	0.9	0.7	1.8
	無回答	17	5.9	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	18～19歳	23	8.7	4.3	8.7	30.4	30.4	21.7	21.7	8.7	30.4
	20～29歳	119	7.6	4.2	6.7	10.9	11.8	8.4	10.9	9.2	10.1
	30～39歳	194	7.7	2.1	8.2	2.6	4.1	0.5	3.6	3.1	0.5
	40～49歳	267	8.2	1.9	6.0	5.6	7.5	3.7	3.7	3.0	1.9
	50～59歳	247	6.5	1.6	6.1	2.4	3.2	2.0	2.0	0.8	0.4
	60～64歳	160	5.6	0.6	3.1	-	0.6	1.3	1.9	1.9	-
	65～69歳	210	6.2	1.0	7.1	2.4	-	1.9	1.4	-	-
	70歳以上	331	4.8	0.3	4.2	3.6	0.9	0.9	1.5	-	0.6
	無回答	15	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	208	9.1	2.9	6.7	3.8	5.3	2.9	3.8	1.9	1.9
	北区	221	5.0	1.4	5.4	2.7	5.0	3.2	2.3	2.7	3.2
	東区	189	5.8	1.1	6.3	5.3	2.1	2.1	3.7	0.5	0.5
	白石区	147	6.1	-	4.1	3.4	2.7	1.4	4.8	5.4	2.7
	厚別区	115	2.6	-	1.7	5.2	4.3	2.6	1.7	4.3	1.7
	豊平区	169	7.1	0.6	5.9	4.1	4.1	1.2	2.4	0.6	0.6
	清田区	87	8.0	3.4	8.0	4.6	5.7	3.4	4.6	-	1.1
	南区	126	6.3	2.4	6.3	2.4	3.2	4.8	2.4	-	4.0
	西区	176	6.8	2.3	6.8	4.5	2.8	2.8	4.0	2.3	1.1
	手稲区	116	8.6	0.9	6.9	5.2	3.4	1.7	3.4	2.6	0.9
	無回答	12	8.3	-	-	-	8.3	-	-	-	-
			対象者全体の値と比較し10%以上高い				対象者全体の値と比較し10%以上低い				

		回答者数	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ（グラウンドゴルフなどを含む）	弓道、アーチェリー	ゲートボール	ゴルフ（練習場含む）
全体		1,566	2.0	0.6	0.7	-	6.7	7.3	0.3	0.2	7.5
性別	男性	597	2.2	1.3	1.0	-	9.4	10.1	0.3	0.3	15.1
	女性	952	1.9	0.2	0.5	-	5.1	5.5	0.2	0.1	2.7
	無回答	17	5.9	-	-	-	-	17.6	-	-	5.9
年代別	18～19歳	23	30.4	8.7	13.0	-	26.1	4.3	-	-	4.3
	20～29歳	119	10.1	0.8	4.2	-	18.5	4.2	1.7	-	5.0
	30～39歳	194	3.1	1.0	1.0	-	8.8	3.6	-	-	6.2
	40～49歳	267	1.9	0.7	-	-	9.4	4.5	0.4	-	6.4
	50～59歳	247	0.4	-	0.4	-	4.5	2.8	-	-	5.7
	60～64歳	160	-	-	-	-	3.1	5.0	0.6	-	8.8
	65～69歳	210	-	0.5	-	-	2.4	7.6	-	-	10.5
	70歳以上	331	-	0.6	-	-	4.2	17.5	-	0.9	9.4
	無回答	15	6.7	-	-	-	-	6.7	-	-	-
居住区別	中央区	208	3.8	-	1.4	-	5.3	5.8	-	-	10.6
	北区	221	0.9	0.5	0.9	-	5.0	10.4	-	0.9	6.3
	東区	189	2.6	2.1	1.1	-	7.9	7.4	-	-	5.8
	白石区	147	2.7	1.4	-	-	6.1	6.8	-	0.7	6.8
	厚別区	115	1.7	-	0.9	-	4.3	3.5	0.9	-	9.6
	豊平区	169	0.6	-	-	-	10.1	5.9	0.6	-	5.3
	清田区	87	1.1	-	-	-	5.7	5.7	-	-	8.0
	南区	126	1.6	0.8	0.8	-	5.6	8.7	0.8	-	8.7
	西区	176	2.3	0.6	-	-	8.0	8.0	0.6	-	4.0
	手稲区	116	1.7	0.9	1.7	-	8.6	9.5	-	-	12.1
	無回答	12	8.3	-	-	-	8.3	8.3	-	-	8.3
対象者全体の値と比較し10%以上高い						対象者全体の値と比較し10%以上低い					

(単位：%)

		回答者数	ローラーインラインスケートなど	武道・格闘技（柔道、剣道、空手など）	その他	スポーツを行えなかった	スポーツをする気がなかった	無回答
全体		1,566	0.5	1.0	3.1	10.5	7.5	2.0
性別	男性	597	0.8	1.8	2.0	7.2	5.2	2.5
	女性	952	0.3	0.5	3.8	12.3	8.8	1.4
	無回答	17	-	-	-	23.5	11.8	17.6
年代別	18～19歳	23	4.3	17.4	8.7	4.3	4.3	-
	20～29歳	119	2.5	2.5	1.7	12.6	4.2	-
	30～39歳	194	1.0	1.0	1.5	16.5	8.2	-
	40～49歳	267	0.4	0.4	1.9	11.6	7.9	0.4
	50～59歳	247	0.4	0.8	1.2	9.7	8.9	1.2
	60～64歳	160	-	0.6	1.3	11.3	11.3	1.9
	65～69歳	210	-	-	4.3	8.6	6.7	2.4
	70歳以上	331	-	0.9	6.6	6.6	5.7	4.8
	無回答	15	-	-	-	20.0	6.7	20.0
居住区別	中央区	208	0.5	1.4	3.4	6.7	5.8	1.0
	北区	221	0.5	2.3	1.8	10.4	8.1	2.7
	東区	189	-	0.5	3.7	9.0	11.6	1.1
	白石区	147	0.7	0.7	2.0	12.9	9.5	2.7
	厚別区	115	-	0.9	2.6	11.3	2.6	6.1
	豊平区	169	0.6	0.6	4.7	13.0	6.5	0.6
	清田区	87	1.1	-	1.1	14.9	3.4	-
	南区	126	0.8	1.6	0.8	11.1	7.9	-
	西区	176	1.1	-	6.3	11.9	7.4	2.3
	手稲区	116	-	1.7	2.6	5.2	8.6	2.6
	無回答	12	-	-	-	16.7	8.3	16.7

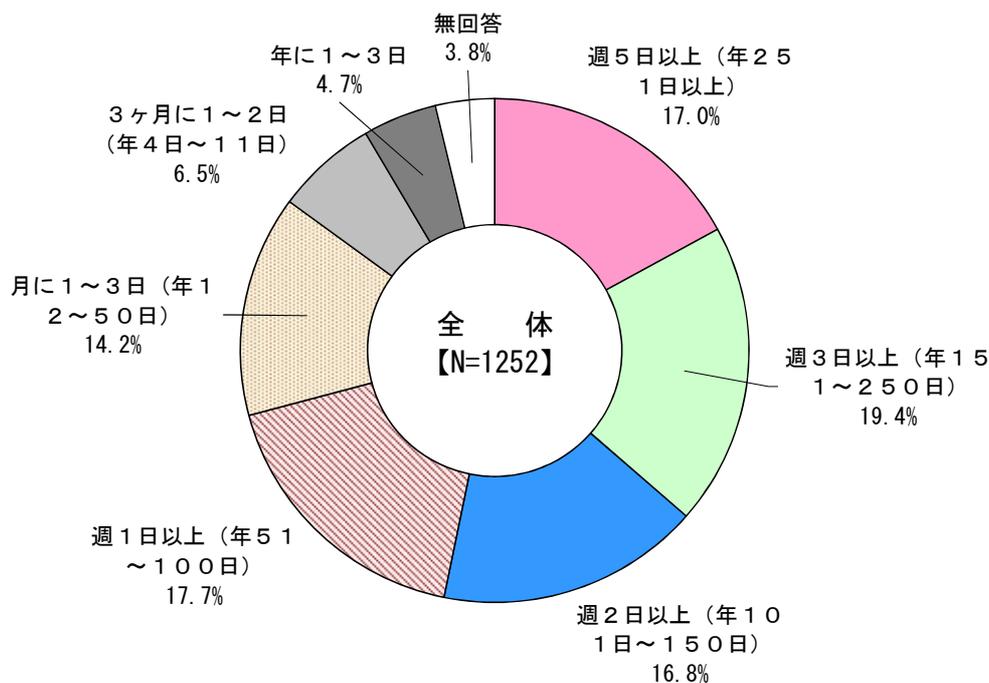
対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

スポーツを行った日数

【問 17】 この設問は、問 16 で「1」から「38」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。あなたが、問 16 で答えたスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

スポーツを行った日数については、「週 5 日以上」(17.0%)と「週 3 日以上」(19.4%)と「週 2 日以上」(16.8%)を合わせた割合 (53.2%) で 5 割強を占めている。



【対象者全体】

「週 3 日以上」が 19.4%と最も高くなっている。次いで、「週 1 日以上」が 17.7%、「週 5 日以上」が 17.0%、週 2 日以上は 16.8%となっている。

【性別】

男性では「週 1 日以上」が 18.3%と最も高く、女性では「週 3 日以上」が 21.5%と最も高くなっている。

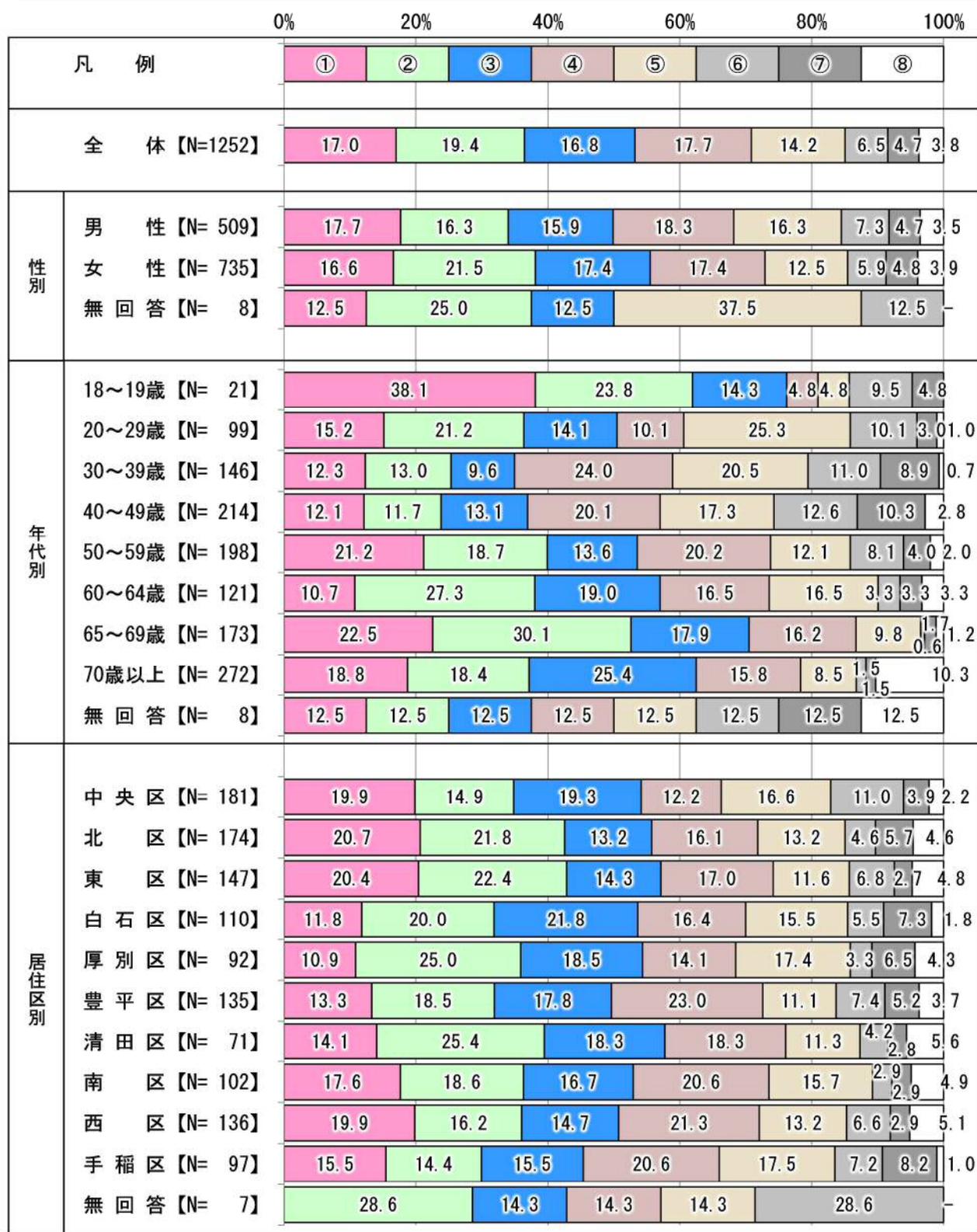
【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代では「月に 1 ~ 3 日」、30 歳代、40 歳代では「週に 1 日以上」、50 歳代では「週 5 日以上」、60 歳代では「週 3 日以上」、70 歳以上では「週 2 日以上」が最も高くなっている。

【居住区別】

中央区では「週 5 日以上」、北区、東区、厚別区、清田区では「週 3 日以上」、白石区では「週 2 日以上」、豊平区、南区、西区、手稲区では「週 1 日以上」が最も高くなっている。

①週5日以上(年251日以上) ②週3日以上(年151~250日)
 ③週2日以上(年101日~150日) ④週1日以上(年51~100日)
 ⑤月に1~3日(年12~50日) ⑥3ヶ月に1~2日(年4日~11日) ⑦年に1~3日 ⑧無回答

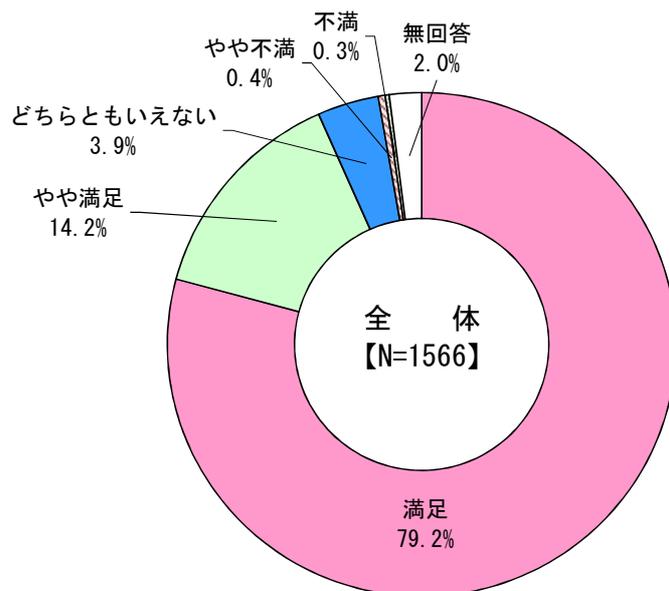


札幌の水道

【問 18】あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。また、「4. やや不満」「5. 不満」に○をつけた方は、具体的な理由をお書きください。

- (1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること
(事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く)

水道水の安定供給については、「満足」(79.2%)と「やや満足」(14.2%)を合わせた割合(93.4%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

「満足」が79.2%と最も高くなっている。次いで「やや満足」が14.2%、「どちらともいえない」が3.9%、「やや不満」が0.4%、「不満」が0.3%となっている。

【性別】

男女ともに「満足」が約8割(79.4%)と最も高くなっている。

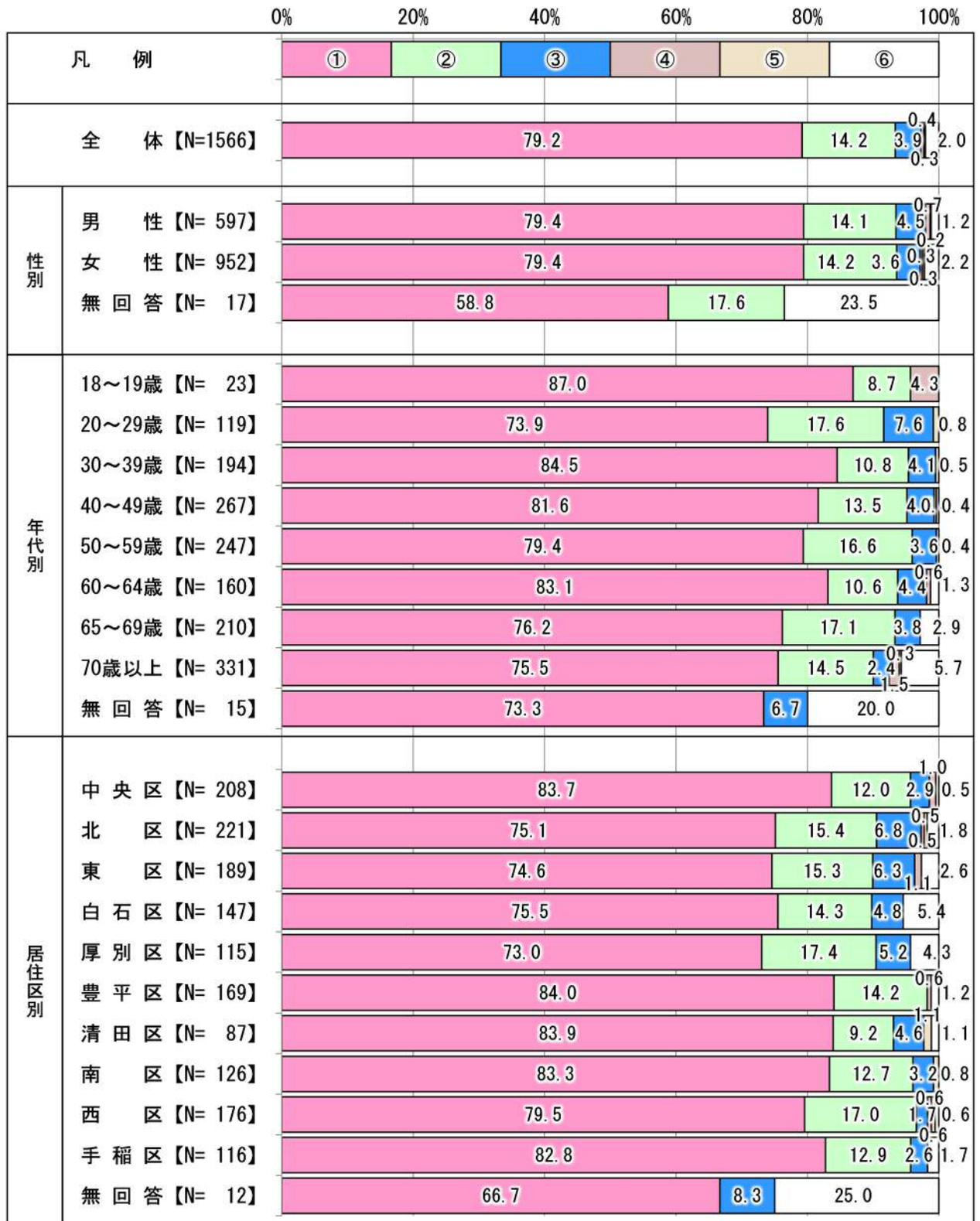
【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「満足」が7割以上となっている。その中でも30歳代が84.5%と最も高く、20歳代が73.9%と最も低くなっている。

【居住区別】

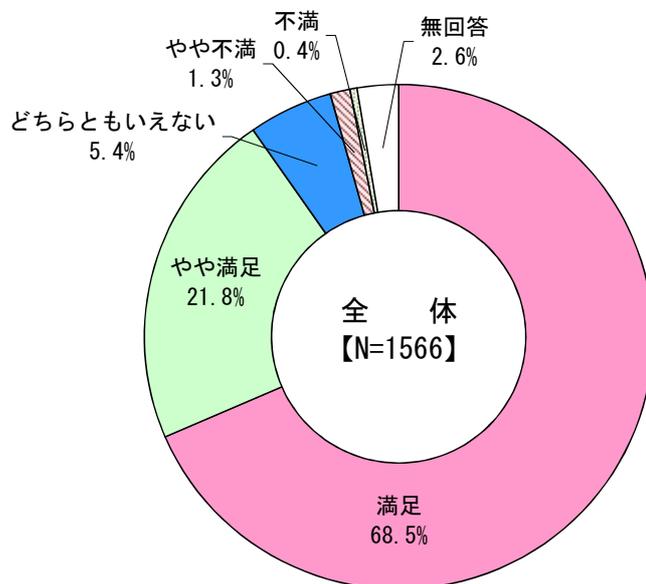
全居住区で「満足」が7割以上となっている。その中で北区、東区、白石区、厚別区、西区が70%台、中央区、豊平区、清田区、南区、手稲区は80%台となっている。

①満足 ②やや満足 ③どちらともいえない ④やや不満 ⑤不満 ⑥無回答



(2) 安全で良質な水道水をお届けすること

安全で良質な水道水の供給については、「満足」(68.5%)と「やや満足」(21.8%)を合わせた割合(90.3%)が約9割を占めている。



【対象者全体】

「満足」が68.5%、「やや満足」が21.8%、「どちらともいえない」が5.4%、「やや不満」が1.3%、「不満」が0.4%となっている。

【性別】

男女ともに「満足」が最も高く、男性が72.0%、女性が66.5%となっている。

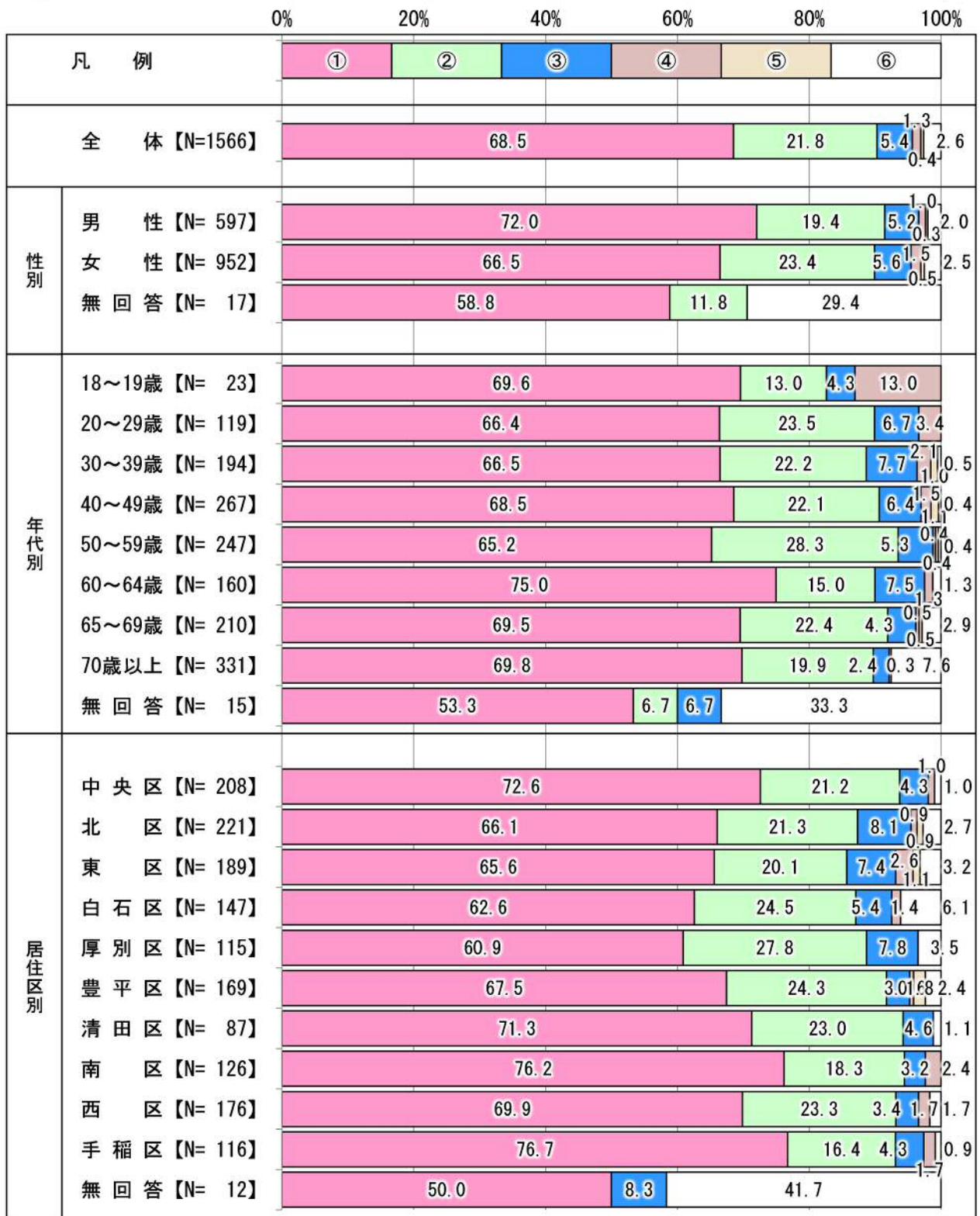
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「満足」が6割以上となっている。その中でも60歳代前半が75.0%と最も高く、50歳代が65.2%と最も低くなっている。

【居住区別】

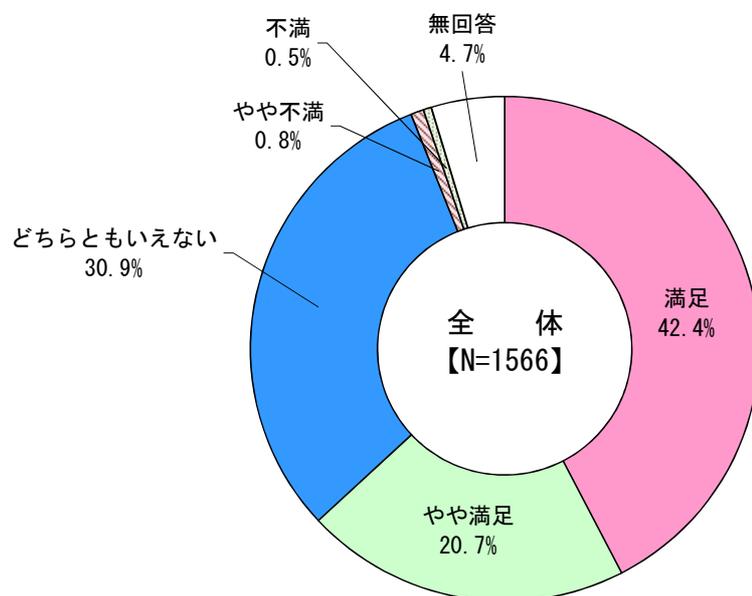
全居住区で「満足」が6割以上となっている。その中でも手稲区が76.7%と最も高く、厚別区が60.9%と最も低くなっている。

①満足 ②やや満足 ③どちらともいえない ④やや不満 ⑤不満 ⑥無回答



(3) お客様サービス（問い合わせ対応・広報）

お客様サービスについては、「満足」（42.4%）と「やや満足」（20.7%）を合わせた割合（63.1%）が全体の6割強を占めている。



【対象者全体】

「満足」が42.4%と最も高くなっている。次いで、「どちらともいえない」が30.9%、「やや満足」が20.7%、「やや不満」が0.8%、「不満」が0.5%となっている。

【性別】

男女ともに「満足」が最も高く、男性が42.0%、女性が42.9%となっている。

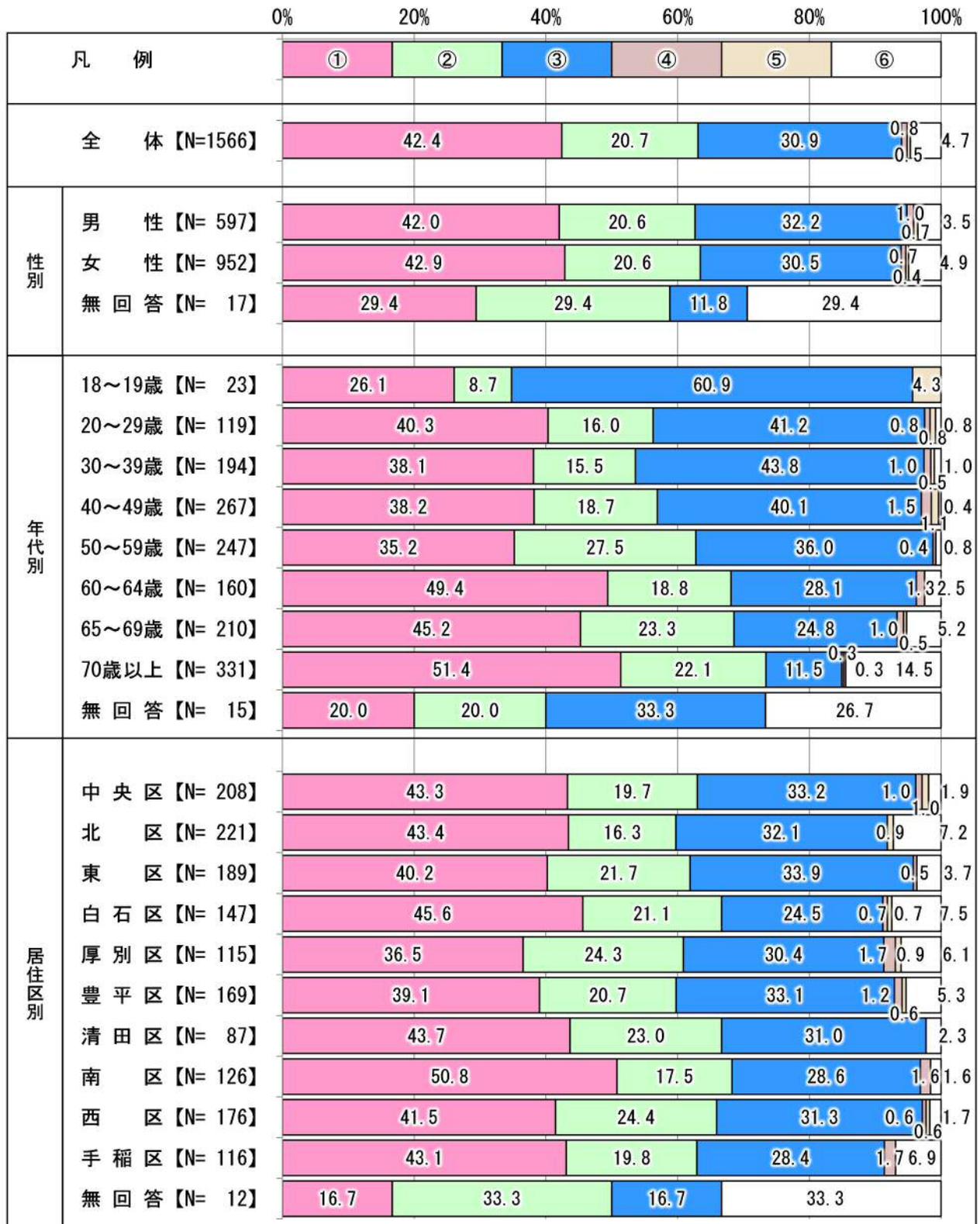
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代から50歳代までは「どちらともいえない」が最も高く、60歳代以降は「満足」が最も高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「満足」が最も高くなっている。その中でも南区が50.8%と最も高く、厚別区が36.5%と最も低くなっている。

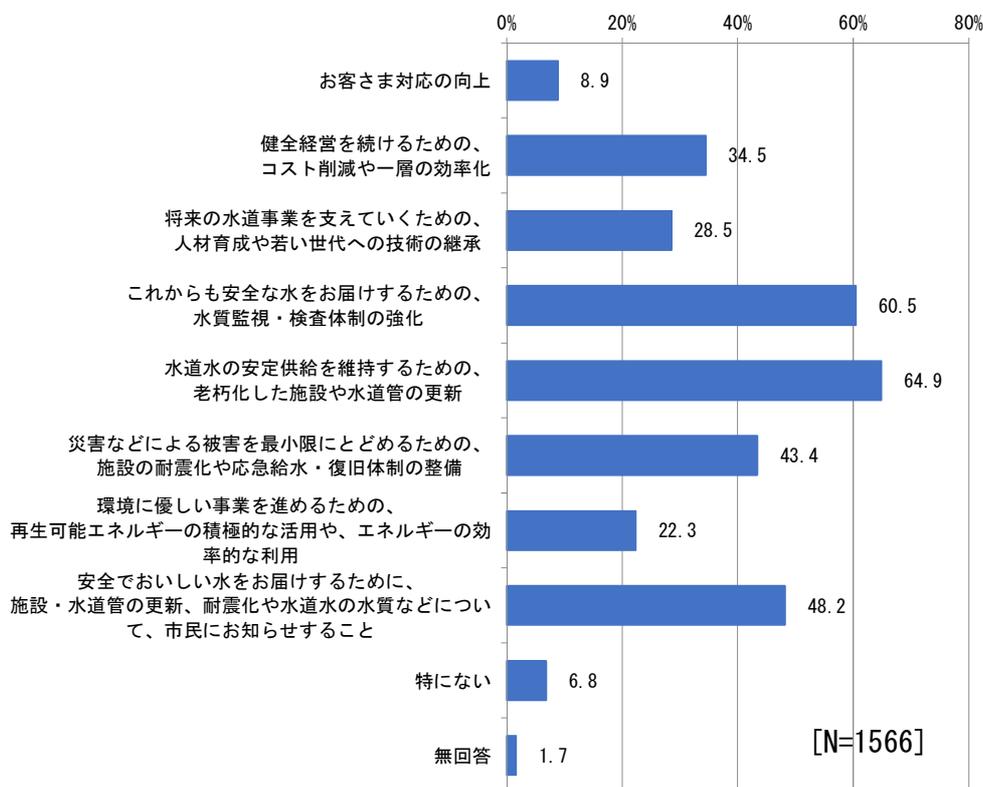
①満足 ②やや満足 ③どちらともいえない ④やや不満 ⑤不満 ⑥無回答



水道に関する取り組み

【問 19】あなたが、札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取り組みは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

水道に関する取り組みについては、「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が 64.9%と最も高くなっている。次いで、「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が 60.5%となっている。



【対象者全体】

「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が 64.9%と最も高くなっている。次いで、「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が 60.5%、「安全でおいしい水をお届けするために、施設・水道管の更新、耐震化や水道水の水質などについて、市民にお知らせすること」が 48.2%となっている。

【性別】

男女ともに「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高く、男性は66.3%、女性は64.2%となっている。

【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

30歳代以外の年代では「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高くなっている。30歳代では「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が62.9%と最も高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高くなっている。その中でも手稲区が79.3%と最も高くなっている。また手稲区では「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が73.3%と他の年代より高くなっている。

(単位：%)

	回答者数	お客さま対応の向上	健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化	将来の水道事業を支えていくための、人材育成や若い世代への技術の継承	これからの安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化	水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新	災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備	環境に優しい事業を進めるための、再生可能エネルギーの積極的な活用や、エネルギーの効率的な利用	安全でおいしい水をお届けするため、水道管の更新、耐震化や水道水の水質などについて、市民にお知らせすること	特になし	無回答	
全体	1,566	8.9	34.5	28.5	60.5	64.9	43.4	22.3	48.2	6.8	1.7	
性別	男性	597	10.2	39.5	32.5	58.1	66.3	41.7	21.1	46.4	6.4	1.2
	女性	952	8.1	31.4	26.1	62.1	64.2	44.5	23.2	49.2	7.2	1.5
	無回答	17	5.9	29.4	29.4	52.9	52.9	41.2	17.6	58.8	-	29.4
年代別	18～19歳	23	13.0	13.0	21.7	60.9	34.8	47.8	30.4	30.4	13.0	-
	20～29歳	119	6.7	29.4	21.0	52.9	54.6	40.3	15.1	33.6	7.6	-
	30～39歳	194	12.4	31.4	24.7	62.9	56.7	45.9	21.6	41.2	7.2	0.5
	40～49歳	267	7.5	34.8	21.0	49.8	62.9	37.8	19.5	40.8	10.1	0.4
	50～59歳	247	9.7	35.2	25.5	63.6	63.6	39.3	22.3	42.5	6.1	0.4
	60～64歳	160	7.5	31.9	29.4	60.6	75.0	53.1	23.1	50.0	6.3	1.3
	65～69歳	210	7.1	40.0	35.7	66.2	71.4	48.1	31.0	61.9	1.4	1.4
	70歳以上	331	10.0	36.6	36.9	65.0	70.4	42.9	21.1	59.2	7.9	4.2
無回答	15	-	33.3	40.0	46.7	33.3	40.0	26.7	53.3	-	26.7	
居住区別	中央区	208	13.5	33.2	26.9	59.1	66.3	43.8	26.0	43.8	8.7	-
	北区	221	5.4	35.3	27.6	60.6	61.1	42.5	23.1	43.0	6.3	2.3
	東区	189	7.9	29.6	27.5	54.5	60.8	46.6	19.6	47.6	10.6	1.1
	白石区	147	9.5	36.7	28.6	61.9	67.3	44.2	21.8	46.3	4.1	4.1
	厚別区	115	6.1	26.1	31.3	52.2	64.3	42.6	24.3	50.4	6.1	2.6
	豊平区	169	6.5	34.9	29.0	65.1	65.7	41.4	21.9	47.9	4.7	1.2
	清田区	87	8.0	33.3	21.8	52.9	62.1	42.5	21.8	54.0	8.0	-
	南区	126	10.3	34.1	34.1	61.9	69.0	42.9	23.0	55.6	7.1	0.8
	西区	176	9.1	39.8	24.4	63.1	60.8	39.8	16.5	47.7	6.8	1.1
	手稲区	116	12.9	41.4	35.3	73.3	79.3	50.9	27.6	56.9	5.2	0.9
無回答	12	8.3	33.3	41.7	50.0	33.3	25.0	16.7	41.7	-	33.3	

対象者全体の値と比較し10%以上高い

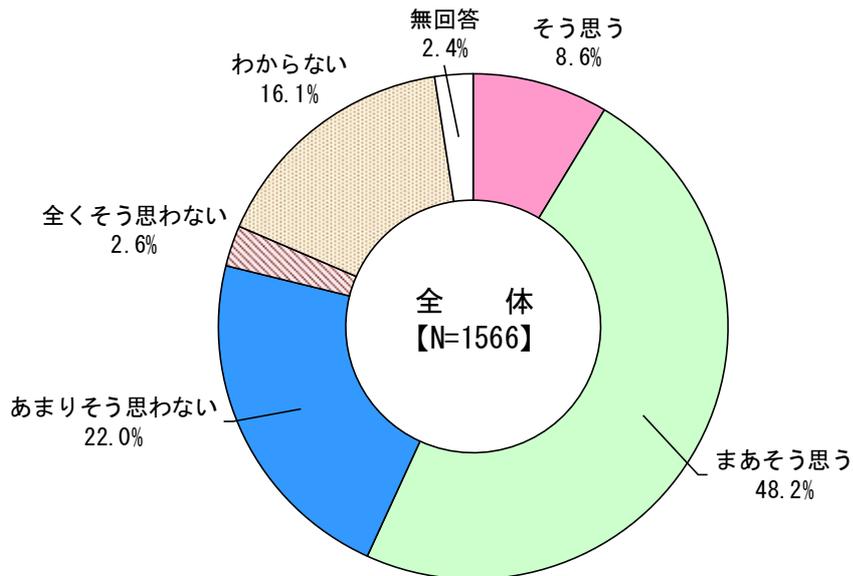
対象者全体の値と比較し10%以上低い

(2)「産業・活力」について

自然・社会・文化体験をしやすい環境

【問 20】あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもが自然・社会・文化体験をしやすい環境であるかについては、「そう思う」(8.6%)と「まあそう思う」(48.2%)をあわせた割合(56.8%)が全体の5割強を占めている。



【対象者全体】

「まあそう思う」が48.2%と最も高くなっている。次いで、「あまりそう思わない」が22.0%、「わからない」が16.1%、「そう思う」が8.6%、「全くそう思わない」が2.6%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性が51.1%、女性が46.7%となっている。

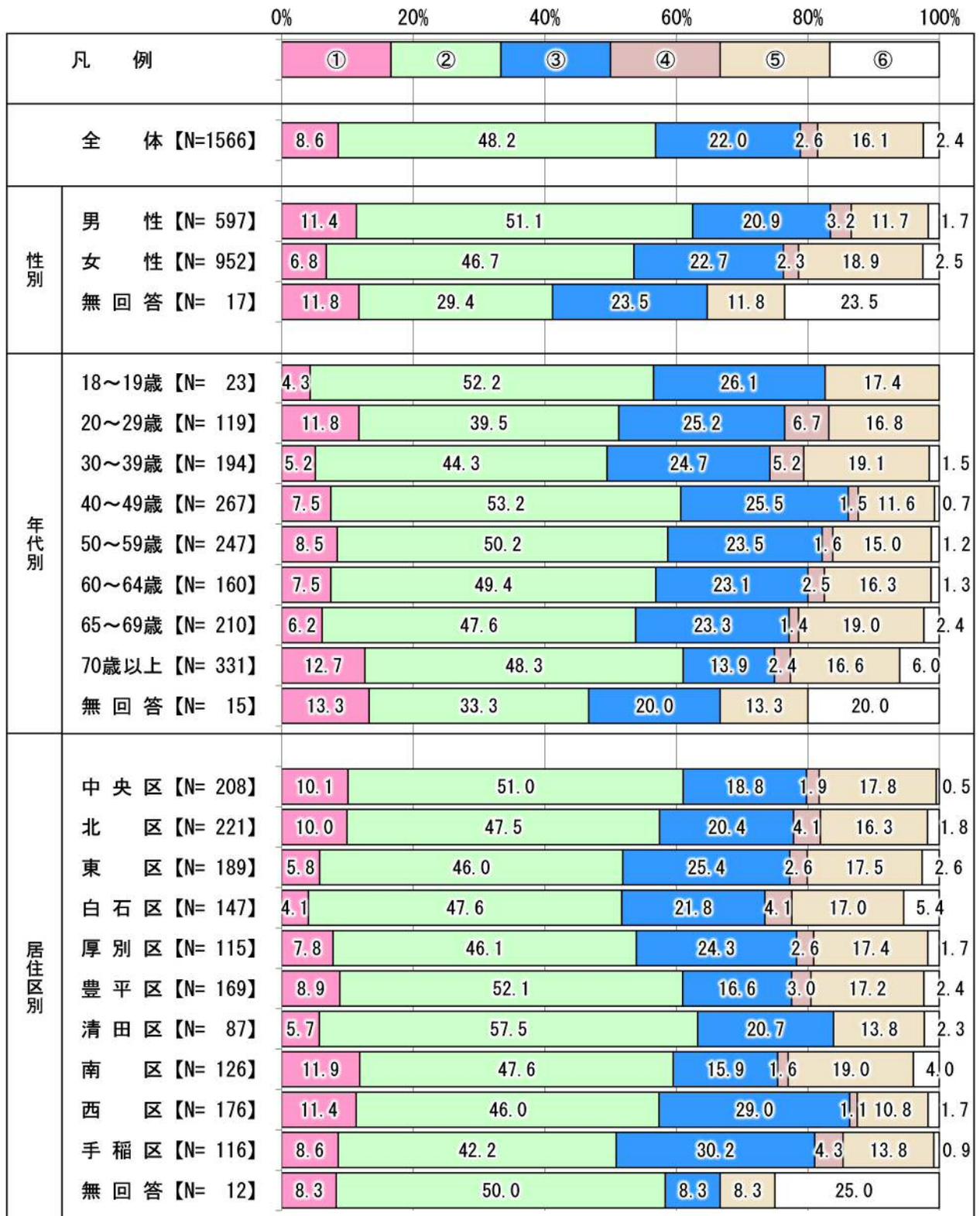
【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「まあそう思う」が最も高くなっている。中でも40代が53.2%と最も高く、20代が39.5%と最も低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高くなっている。中でも清田区が57.5%と最も高く、手稲区が42.2%と最も低くなっている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



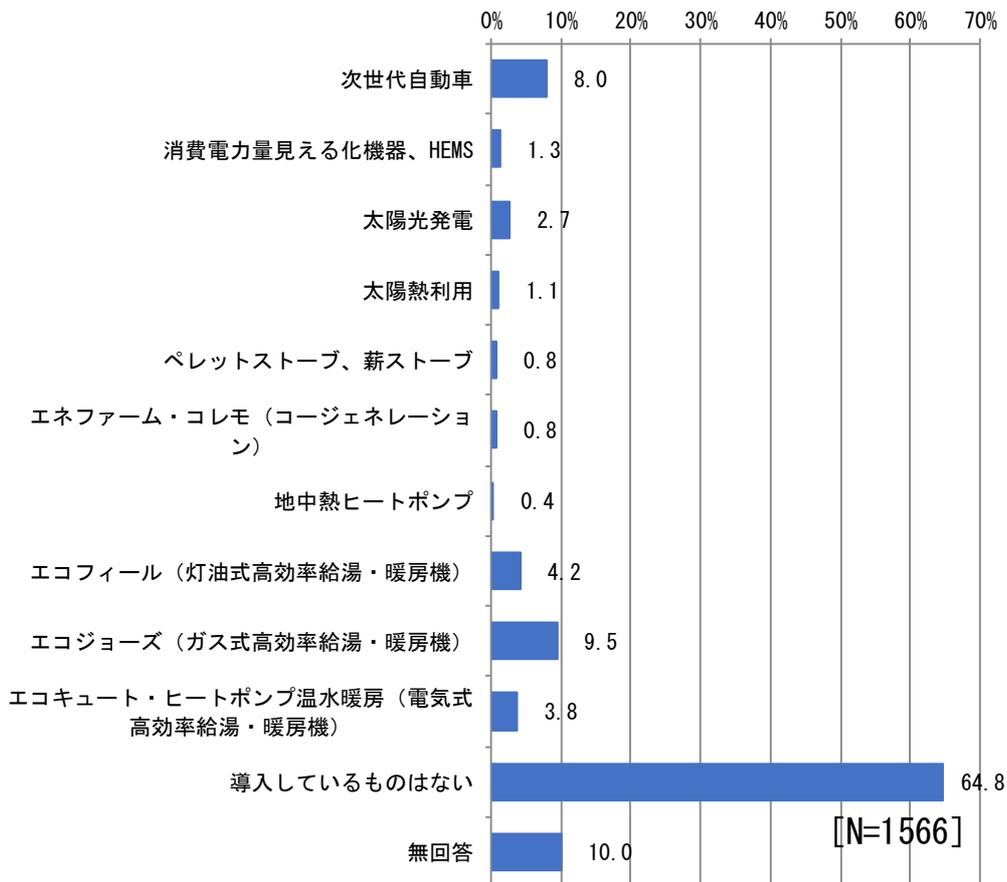
(3) 「低炭素社会・エネルギー転換」について

環境配慮活動について

【問 21】 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) 次の再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などのうち、あなたが導入しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器の導入については、「導入しているものはない」が 64.8%と最も高くなっている。



※1 次世代自動車：具体的には、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車など。

※2 HEMS：Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※3 コージェネレーション：燃料電池やガスエンジンによって、電気と給湯・暖房用の熱を生み出すシステム。

【対象者全体】

「導入しているものはない」が 64.8%と最も高くなっている。次いで、「エコジョーズ」が 9.5%、「次世代自動車」が 8.0%、「エコフィール」が 4.2%となっている。

【性別】

男女ともに「導入しているものはない」が最も高く、男性が 66.7%、女性が 64.0%となっている。

【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「導入しているものはない」が最も高くなっている。中でも 20 歳代は 85.7%と最も高く、70 歳以上は 55.6%と最も低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「導入しているものはない」が最も高くなっている。中でも豊平区は 71.0%と最も高く、手稲区は 56.0%と最も低くなっている。

(単位：%)

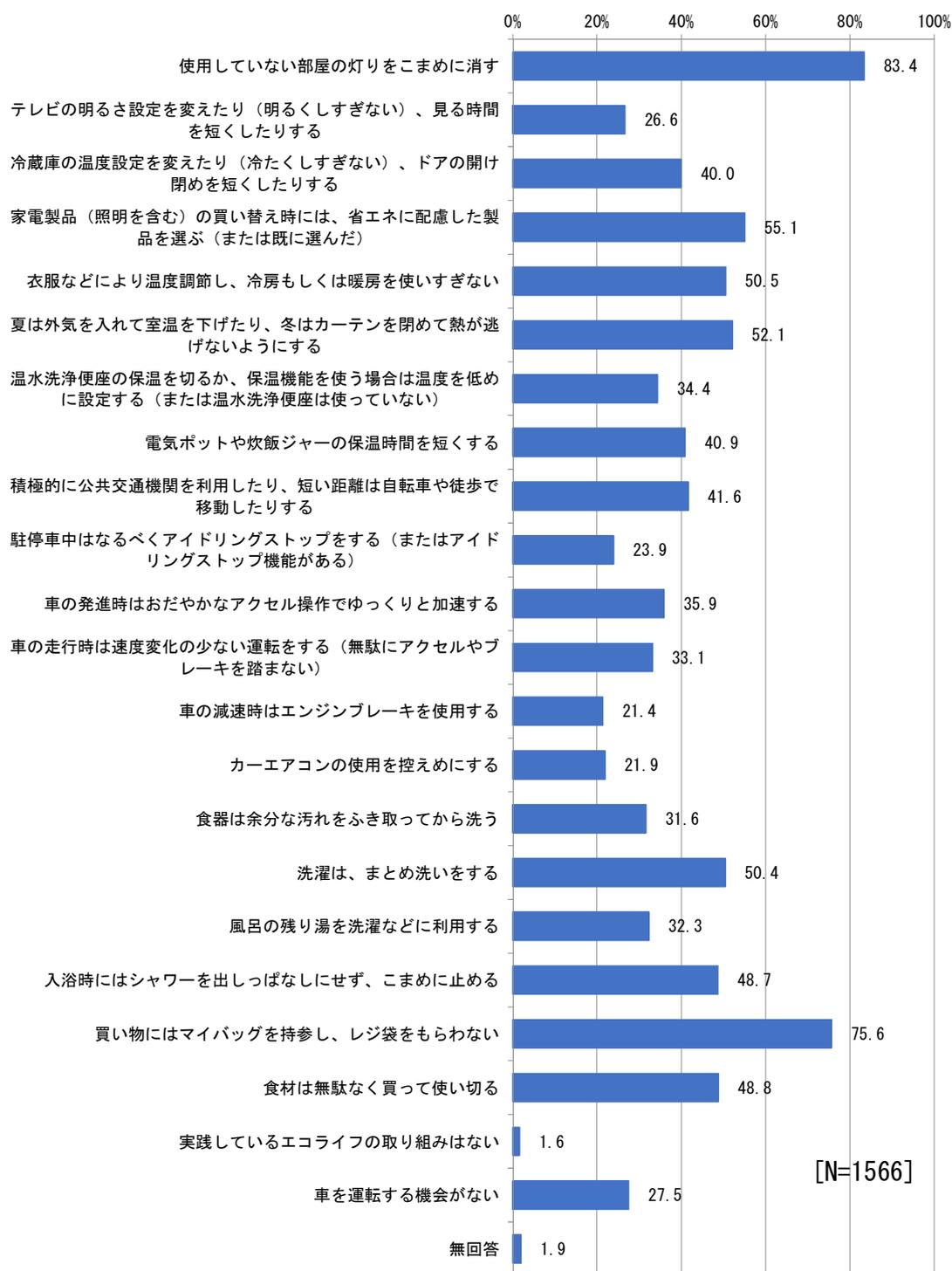
	回答者数	次世代自動車	H E M S 消費電力量見える化機器、	太陽光発電	太陽熱利用	ペレットストーブ、薪ストーブ	エネファーム・コレモ(コー ジエネレーション)	地中熱ヒートポンプ	湯・暖房機)	エコフィール(灯油式高効率給 湯・暖房機)	湯・暖房機)	エコジョーズ(ガス式高効率給 湯・暖房機)	エコキュート・ヒートポンプ温 水暖房(電気式高効率給湯・暖 房機)	導入しているものはない	無回答
全体	1,566	8.0	1.3	2.7	1.1	0.8	0.8	0.4	4.2	9.5	3.8	64.8	10.0		
性別	男性	597	8.7	1.5	3.0	1.0	1.3	0.7	0.7	5.7	8.4	3.5	66.7	7.2	
	女性	952	7.6	1.3	2.5	1.3	0.5	0.9	0.2	3.3	10.2	4.0	64.0	11.2	
	無回答	17	5.9	-	-	-	-	-	-	5.9	5.9	-	41.2	41.2	
年代別	18~19歳	23	8.7	-	-	-	-	-	-	4.3	-	4.3	78.3	8.7	
	20~29歳	119	2.5	0.8	0.8	-	-	-	-	0.8	4.2	1.7	85.7	5.0	
	30~39歳	194	5.7	2.1	1.5	0.5	0.5	2.1	-	1.0	13.9	5.2	69.1	4.1	
	40~49歳	267	9.4	1.5	4.1	1.1	0.7	1.9	0.4	1.9	12.0	6.4	61.8	8.6	
	50~59歳	247	12.6	1.2	3.6	1.2	0.8	0.8	0.4	4.0	11.7	2.8	64.0	6.5	
	60~64歳	160	9.4	-	1.9	1.3	0.6	-	-	4.4	8.1	3.1	69.4	5.6	
	65~69歳	210	9.0	-	1.4	-	2.4	-	0.5	3.8	9.0	1.9	65.7	11.4	
	70歳以上	331	4.8	2.7	3.6	2.4	0.6	0.6	0.9	9.7	6.9	3.9	55.6	18.7	
無回答	15	20.0	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-	26.7	46.7		
居住区別	中央区	208	6.7	1.4	1.4	0.5	1.0	0.5	0.5	1.4	13.9	6.3	65.4	6.7	
	北区	221	9.0	1.8	4.5	2.3	0.9	1.8	0.5	4.1	8.1	4.5	62.0	12.2	
	東区	189	7.9	2.1	3.2	0.5	0.5	-	-	2.1	9.0	3.2	66.1	12.2	
	白石区	147	5.4	1.4	4.1	1.4	1.4	1.4	1.4	3.4	7.5	4.1	67.3	8.8	
	厚別区	115	4.3	0.9	4.3	1.7	1.7	1.7	0.9	2.6	13.0	5.2	63.5	12.2	
	豊平区	169	8.3	0.6	0.6	0.6	1.2	1.2	-	3.6	7.7	3.0	71.0	7.1	
	清田区	87	12.6	3.4	3.4	2.3	1.1	-	-	5.7	13.8	5.7	57.5	9.2	
	南区	126	10.3	0.8	0.8	-	0.8	-	0.8	6.3	4.8	2.4	65.9	11.9	
	西区	176	4.0	-	1.1	1.1	-	-	-	6.8	9.7	0.6	68.2	10.2	
	手稲区	116	14.7	1.7	4.3	0.9	-	1.7	-	9.5	8.6	3.4	56.0	7.8	
無回答	12	8.3	-	-	8.3	-	-	-	-	-	-	50.0	33.3		

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(2) 次のエコライフの取り組みのうち、あなたが常に実践しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、車を所有していないなど、車を運転する機会がない方は、「22」に○をつけてください。

エコライフの実践については、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が 83.4%と最も高くなっている。次いで、「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」が 75.6%となっている。



【対象者全体】

「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が 83.4%と最も高くなっている。次いで、「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」が 75.6%、「家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既に選んだ）」が 55.1%となっている。

【性別】

男女ともに「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高くなっている。男性では「駐停車中はなるべくアイドリングストップをする（またはアイドリングストップ機能がある）」「車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する」「車の走行時は速度変化の少ない運転をする（無駄にアクセルやブレーキを踏まない）」「車の減速時はエンジンブレーキを使用する」が女性よりも高くなっている。一方で、「電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする」は女性よりも男性が低くなっている。

【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高くなっている。60歳代後半では「家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既に選んだ）」「入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める」が他の年代よりも高くなっている。一方で、20歳代では「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」（61.3%）など多くの項目で他の年代よりも低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高くなっている。清田区では「家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既に選んだ）」が、中央区では「積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする」が、手稲区では「車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する」「車の走行時は速度変化の少ない運転をする（無駄にアクセルやブレーキを踏まない）」が他の区よりも高くなっている。

		回答者数	使用していない部屋の灯りをこまめに消す	テレビの明るさ設定を変えたり（明るくしすぎない）、見る時間を短くしたりする	冷蔵庫の温度設定を変えたり（冷たくしすぎない）、ドアの開け閉めを短くしたりする	家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既選んだ）	衣服などにより温度調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない	夏は外気を入れて室温を下げたり、冬はカーテンを閉めて熱が逃げないようにする	温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する（または温水洗浄便座は使っていない）	電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする	積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする	駐車中はなるべくアイドリングストップ機能がある）	車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する
全体		1,566	83.4	26.6	40.0	55.1	50.5	52.1	34.4	40.9	41.6	23.9	35.9
性別	男性	597	82.2	22.9	35.3	53.3	45.7	50.3	29.8	30.2	37.9	34.0	47.2
	女性	952	84.5	29.1	43.1	56.5	53.6	53.4	37.3	47.9	44.2	18.0	28.9
	無回答	17	64.7	17.6	29.4	41.2	47.1	47.1	29.4	29.4	29.4	5.9	29.4
年代別	18～19歳	23	65.2	30.4	39.1	17.4	43.5	39.1	21.7	30.4	47.8	-	-
	20～29歳	119	78.2	23.5	27.7	23.5	47.1	49.6	21.8	31.9	47.1	14.3	31.1
	30～39歳	194	83.5	24.7	41.8	40.7	45.4	52.6	33.0	42.8	29.9	19.6	32.0
	40～49歳	267	84.6	26.6	37.1	55.8	47.9	50.9	35.6	44.2	34.1	24.0	37.8
	50～59歳	247	83.0	30.4	38.5	62.3	51.0	56.3	37.2	44.9	41.7	31.6	39.3
	60～64歳	160	86.9	27.5	48.1	63.1	57.5	55.6	36.9	41.3	46.9	26.9	42.5
	65～69歳	210	87.1	28.1	45.2	68.6	52.9	48.6	41.4	39.0	47.1	32.4	45.2
	70歳以上	331	82.5	25.1	40.2	59.5	52.3	52.6	32.3	39.3	46.8	19.6	29.3
	無回答	15	66.7	13.3	26.7	46.7	46.7	40.0	20.0	40.0	26.7	13.3	33.3
居住区別	中央区	208	82.7	26.9	48.1	53.8	51.0	60.1	36.5	40.4	52.9	19.7	31.3
	北区	221	81.9	27.1	35.7	50.2	43.9	48.9	35.7	43.0	38.9	28.1	40.7
	東区	189	82.0	23.3	37.6	53.4	49.2	51.9	29.6	40.2	41.8	22.2	29.6
	白石区	147	85.7	27.2	40.1	54.4	54.4	48.3	36.7	46.3	39.5	21.8	30.6
	厚別区	115	80.9	27.0	37.4	49.6	56.5	46.1	33.9	41.7	40.0	26.1	33.9
	豊平区	169	83.4	24.3	40.8	55.0	49.1	55.0	34.9	41.4	42.6	24.9	32.0
	清田区	87	90.8	31.0	42.5	69.0	49.4	55.2	36.8	42.5	33.3	25.3	39.1
	南区	126	83.3	25.4	47.6	57.9	49.2	54.0	27.0	39.7	35.7	23.0	45.2
	西区	176	85.8	33.0	37.5	55.1	54.5	50.6	38.6	39.8	49.4	21.0	36.4
	手稲区	116	83.6	23.3	33.6	63.8	51.7	48.3	34.5	32.8	31.9	31.9	47.4
	無回答	12	50.0	8.3	25.0	41.7	50.0	58.3	8.3	41.7	25.0	8.3	25.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

	回答者数	車の走行時は速度変化の少ない運転をする(無駄にアクセルやブレーキを踏まない)	車の減速時はエンジンブレーキを使用する	カーエアコンの使用を控える	食器は余分な汚れをふき取ってから洗う	洗濯は、まとめ洗いを	風呂の残り湯を洗濯などに利用	入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める	買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない	食材は無駄なく買って使い切る	実践しているエコライフの取り組みはない	車を運転する機会がない	無回答	
全体	1,566	33.1	21.4	21.9	31.6	50.4	32.3	48.7	75.6	48.8	1.6	27.5	1.9	
性別	男性	597	45.1	31.8	28.1	24.5	43.7	31.7	44.1	69.7	45.4	2.0	12.4	1.8
	女性	952	25.8	15.0	18.3	36.1	54.6	32.8	51.7	79.5	51.1	1.4	37.2	1.6
	無回答	17	23.5	11.8	5.9	29.4	52.9	29.4	47.1	64.7	41.2	-	17.6	23.5
年代別	18～19歳	23	4.3	4.3	4.3	17.4	26.1	21.7	39.1	69.6	30.4	-	69.6	-
	20～29歳	119	21.8	15.1	18.5	22.7	51.3	22.7	37.0	61.3	39.5	0.8	37.0	0.8
	30～39歳	194	27.8	19.1	15.5	20.1	52.6	29.9	35.6	75.3	42.8	1.5	27.8	0.5
	40～49歳	267	37.1	22.5	22.8	24.0	46.4	26.2	40.4	71.2	43.1	1.5	14.2	0.4
	50～59歳	247	38.5	23.5	27.1	31.2	44.5	36.0	48.6	80.2	54.3	0.8	21.1	1.2
	60～64歳	160	40.0	30.6	26.9	39.4	55.6	37.5	53.1	80.6	54.4	0.6	26.9	1.3
	65～69歳	210	39.0	26.7	27.1	38.6	53.8	32.4	67.6	83.3	55.7	2.4	27.6	1.4
	70歳以上	331	29.0	16.6	18.4	40.8	53.8	38.1	53.8	74.9	50.5	2.7	37.5	4.8
無回答	15	13.3	6.7	6.7	33.3	46.7	20.0	53.3	60.0	46.7	-	13.3	20.0	
居住区別	中央区	208	30.3	17.8	14.4	33.2	49.0	26.9	43.3	68.3	46.6	2.4	34.1	0.5
	北区	221	38.0	22.2	24.4	32.1	47.5	33.5	48.9	73.3	47.1	0.9	23.1	2.3
	東区	189	30.2	16.4	19.0	29.6	50.3	37.0	47.6	76.2	49.7	2.6	25.9	2.1
	白石区	147	29.3	21.1	21.8	27.9	51.0	24.5	47.6	75.5	47.6	-	29.3	3.4
	厚別区	115	31.3	21.7	26.1	27.8	49.6	39.1	52.2	76.5	51.3	2.6	34.8	1.7
	豊平区	169	29.6	21.3	18.9	32.5	47.9	36.1	48.5	76.3	45.6	-	28.4	1.2
	清田区	87	35.6	21.8	20.7	29.9	50.6	37.9	47.1	78.2	50.6	1.1	20.7	-
	南区	126	37.3	27.8	27.8	36.5	48.4	32.5	50.8	77.8	50.8	4.0	24.6	0.8
	西区	176	31.8	21.0	25.6	34.7	58.0	26.7	52.3	79.0	51.1	1.7	31.3	2.8
	手稲区	116	44.0	30.2	25.9	29.3	51.7	35.3	51.7	82.8	50.9	0.9	19.0	1.7
無回答	12	8.3	-	8.3	33.3	66.7	16.7	50.0	58.3	50.0	-	25.0	25.0	

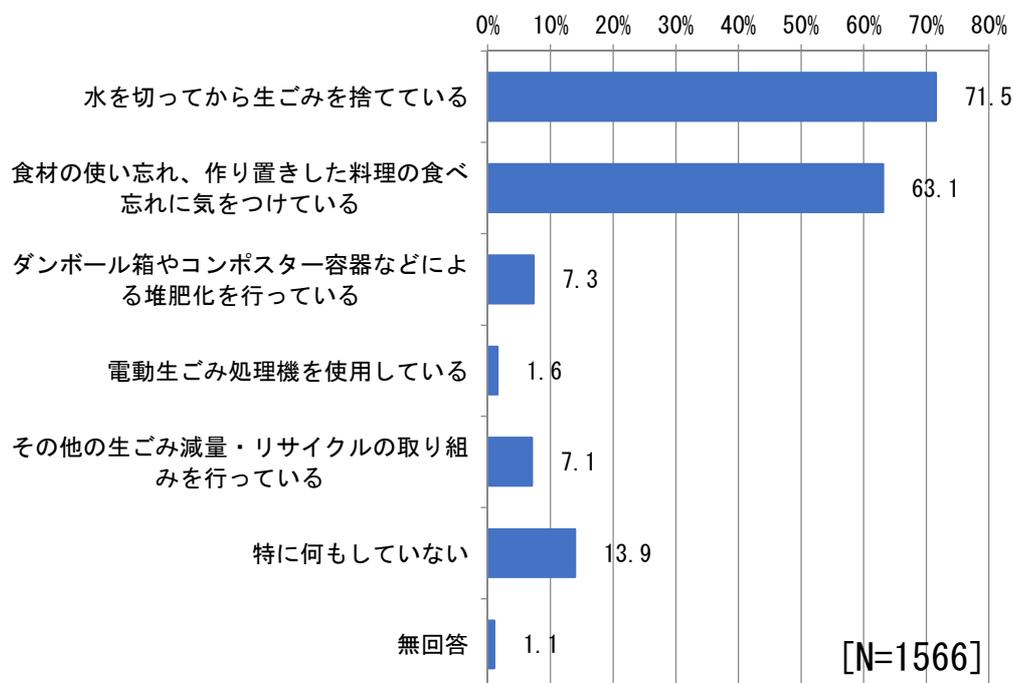
対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

生ごみ減量・リサイクルの取り組み

【問 22】生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「水を切ってから生ごみを捨てている」が 71.5%と最も高くなっている。次いで、「食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている」が 63.1%となっている。



【対象者全体】

「水を切ってから生ごみを捨てている」が 71.5%と最も高くなっている。次いで、「食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている」が 63.1%、「特に何もしていない」が 13.9%となっている。

【性別】

男女ともに「水を切ってから生ごみを捨てている」が最も高く、男性が 63.3%、女性が 77.2%となっている。男性では「特に何もしていない」が 19.8%と女性よりもやや高くなっている。

【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「水を切ってから生ごみを捨てている」が最も高くなっている。60 歳代後半と 70 歳以上では「水を切ってから生ごみを捨てている」が他の年代よりも高い、一方で、20 歳代と 30 歳代では他の年代よりも低くなっている。60 歳代後半では「食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている」も他の年代よりも高いが、20 歳代では他の年代よりも低くなっている。

【居住区別】

全居住区で「水を切ってから生ごみを捨てている」が最も高くなっている。

(単位：%)

		回答者数	水を切ってから生ごみを捨てている	食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている	ダンボール箱やコンポスト容器などによる堆肥化を行っている	電動生ごみ処理機を使用している	その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている	特に何もしていない	無回答	計
全体		1,566	71.5	63.1	7.3	1.6	7.1	13.9	1.1	165.6
性別	男性	597	63.3	55.9	8.4	1.5	6.7	19.8	0.7	156.3
	女性	952	77.2	68.1	6.7	1.7	7.5	10.4	0.4	172.0
	無回答	17	41.2	35.3	5.9	-	-	5.9	52.9	141.2
年代別	18～19歳	23	47.8	69.6	4.3	-	8.7	17.4	-	147.8
	20～29歳	119	58.8	48.7	5.9	0.8	1.7	22.7	-	138.7
	30～39歳	194	56.7	55.7	7.7	1.5	1.5	19.6	-	142.8
	40～49歳	267	63.7	59.2	2.6	1.9	6.4	16.1	0.7	150.6
	50～59歳	247	75.7	66.0	6.5	0.8	5.7	10.9	-	165.6
	60～64歳	160	72.5	66.9	6.9	1.9	6.9	14.4	-	169.4
	65～69歳	210	83.3	74.8	9.0	1.9	6.7	6.7	1.0	183.3
	70歳以上	331	84.0	65.6	11.8	2.1	13.9	12.7	1.2	191.2
無回答		15	20.0	26.7	-	-	13.3	-	60.0	120.0
居住区別	中央区	208	72.1	64.4	4.8	2.4	5.8	11.5	1.0	162.0
	北区	221	71.9	59.7	9.5	0.9	7.7	16.7	-	166.5
	東区	189	72.0	59.3	6.3	1.6	5.8	18.0	-	163.0
	白石区	147	68.7	64.6	5.4	1.4	4.8	15.6	-	160.5
	厚別区	115	73.9	71.3	9.6	0.9	8.7	10.4	-	174.8
	豊平区	169	68.6	60.4	2.4	1.2	7.1	18.3	-	158.0
	清田区	87	74.7	64.4	5.7	2.3	9.2	13.8	1.1	171.3
	南区	126	81.0	66.7	15.1	1.6	9.5	8.7	0.8	183.3
	西区	176	68.8	67.6	5.1	2.8	6.8	12.5	1.1	164.8
	手稲区	116	73.3	59.5	13.8	-	8.6	10.3	1.7	167.2
	無回答		12	-	25.0	-	8.3	-	-	75.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

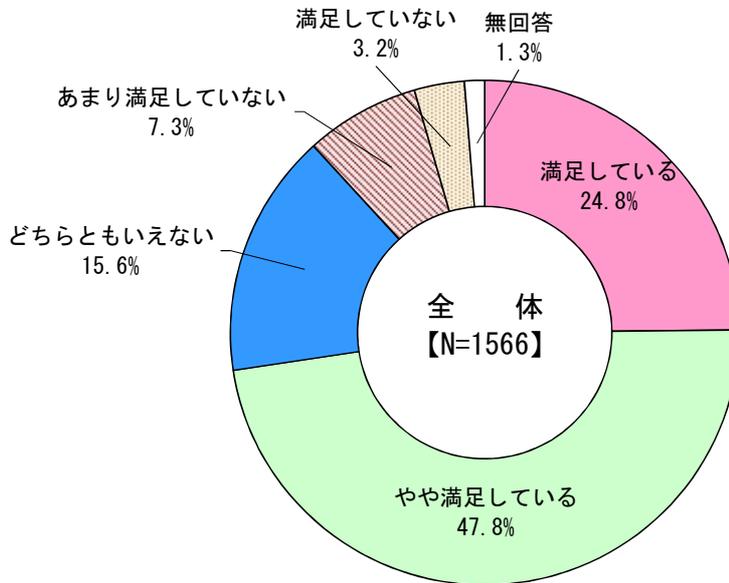
対象者全体の値と比較し10%以上低い

(4)「戦略を支える都市空間」について

住環境の満足度

【問 23】あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

住環境の満足度については、「満足している」(24.8%)と「やや満足している」(47.8%)を合わせた割合(72.6%)が全体の7割強を占めている。



【対象者全体】

「やや満足している」が47.8%と最も高くなっている。次いで、「満足している」が24.8%、「どちらともいえない」が15.6%、「あまり満足していない」が7.3%、「満足していない」が3.2%となっている。

【性別】

男女ともに「やや満足している」が最も高く、男性が47.1%、女性が48.9%となっている。

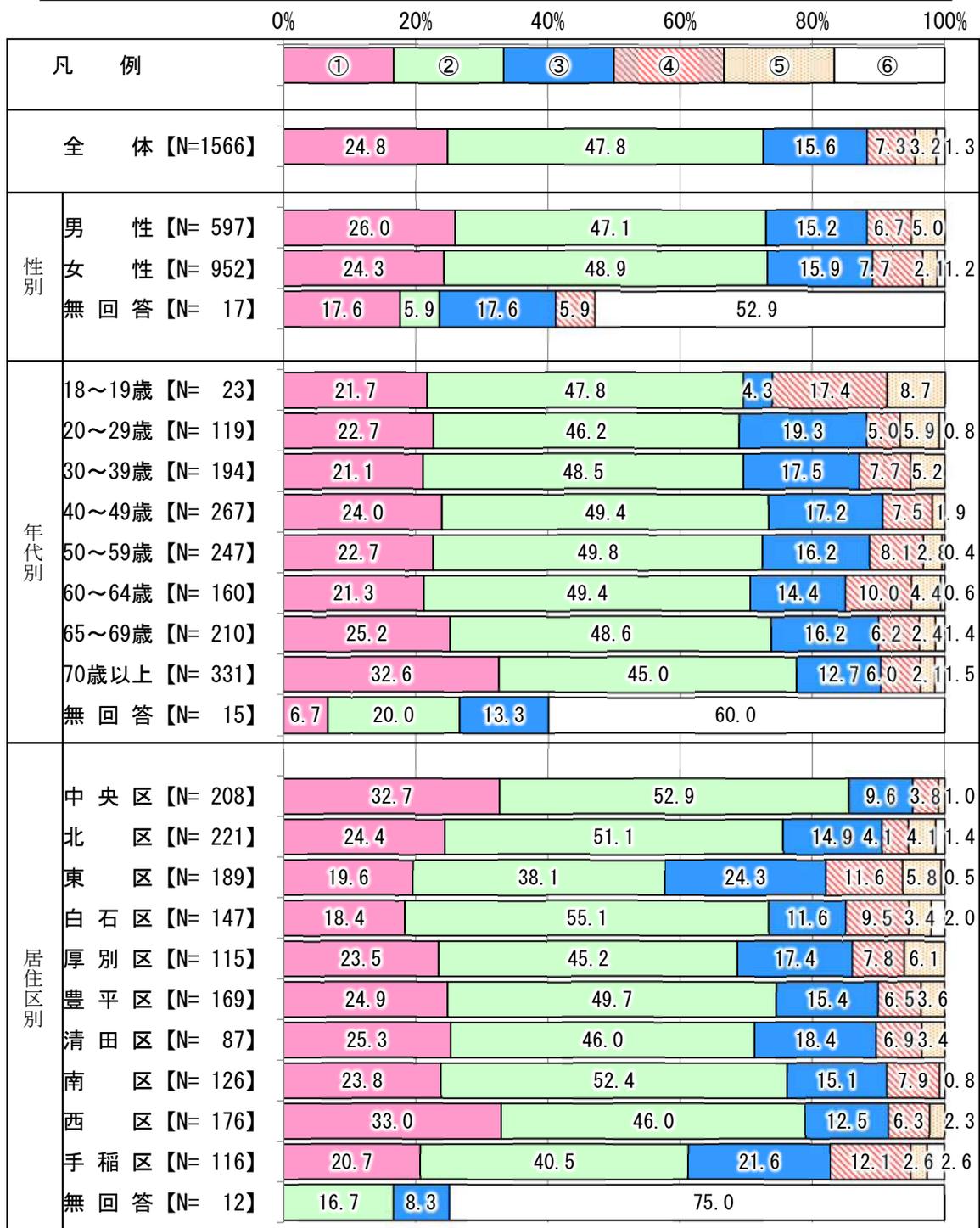
【年代別】※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「やや満足している」が最も高くなっている。いずれも40%台後半となっている。70歳以上では「満足している」が32.6%と他の年代よりもやや高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「やや満足している」が最も高くなっている。その中でも白石区が55.1%と最も高く、東区が38.1%と最も低くなっている。「満足している」が中央区では32.7%、西区では33.0%と他の区よりもやや高くなっている。

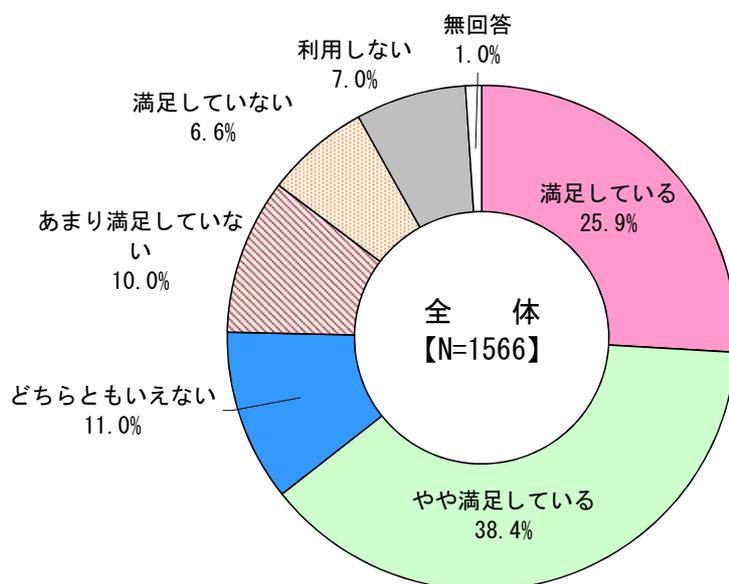
①満足している ②やや満足している ③どちらともいえない ④あまり満足していない ⑤満足していない ⑥無回答



公共交通の満足度

【問 24】あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

公共交通の満足度については、「満足している」(25.9%)と「やや満足している」(38.4%)を合わせた割合(64.4%)が全体の6割強を占めている。



【対象者全体】

「やや満足している」が38.4%と最も高くなっている。次いで、「満足している」が25.9%、「どちらともいえない」が11.0%、「あまり満足していない」が10.0%、「利用していない」が7.0%、「満足していない」が6.6%となっている。

【性別】

男女とも「やや満足している」が最も高く、男性が38.5%、女性が38.7%となっている。

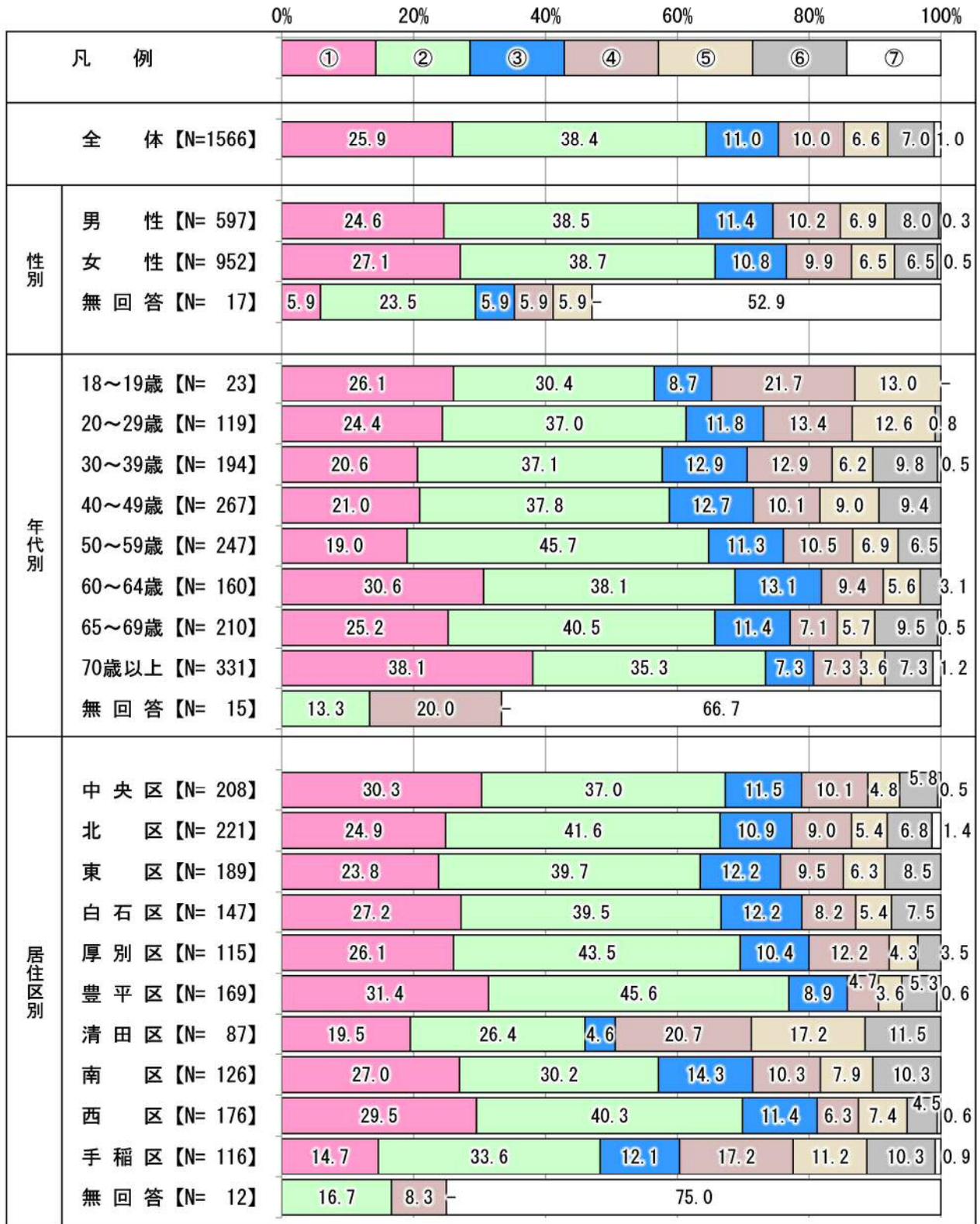
【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

70歳以上を除き、「やや満足している」が最も高くなっている。70歳以上は「満足している」が38.1%、「やや満足している」が35.3%となっている。

【居住区別】

全居住区で「やや満足している」が最も高くなっている。中でも豊平区は45.6%と最も高く、清田区は26.4%と最も低くなっている。手稲区は「満足している」が14.7%と他の区よりも低くなっている。

①満足している ②やや満足している ③どちらともいえない ④あまり満足していない
 ⑤満足していない ⑥利用しない ⑦無回答



3. 調査票

平成 29 年度 札幌市
事業の効果に関する市民意識調査
～アンケート調査へのご協力のお願い～

日ごろから、札幌市政にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

札幌市では、様々な事業を実施しておりますが、より良い事業推進のためには、その取り組みの効果や成果を的確に把握し、今後の改善や見直しにつなげていく必要があります。

効果や成果の把握としては、例えばイベントにおける入場者数など、札幌市が直接把握できるもののほか、事業を通じて提供されるサービスの利用者満足度など、市民の皆様にお聞きしなければ把握できないものもあることから、このたび、アンケートにより市民の皆様にお伺いさせていただくものです。

突然のお願いで恐縮ではありますが、趣旨をご理解いただき、可能な限りご回答くださいますようお願いいたします（なお、ご事情により回答できない場合には、ご回答いただかなくて構いません）。

●市民の皆様にご協力いただきたいこと

本調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返信してください。

●今回のアンケートの対象者の選び方

市民の皆様の中から 4,000 人を、くじびきのような方法（無作為抽出）で選ばせていただきました。

●今回お送りしたもの

事業の効果に関する市民意識調査（この冊子）、返信用封筒

●プライバシーの保護には十分配慮します

この調査は、皆様から無記名でご回答いただくものであり、その結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値や表としてまとめますので、個人のお名前を公表することはありません。また、調査をお願いした方の名簿を公表することはありません。

◆◆◆ご回答にあたって◆◆◆

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでもかまいません。

ご回答は、あてはまるところ（番号）に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。記入が終わった調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成 30 年 2 月 23 日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。

本調査についてのご不明な点などがございましたら

札幌市総務局 改革推進室推進課 担当：須藤・丸山 TEL011-211-2061 まで

平成 29 年度 札幌市
事業の効果に関する市民意識調査 調査票

「暮らし・コミュニティ」について

問1 あなたは、札幌市が、子どもを生み育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問2 あなたは、「仕事」と「家事（育児）、プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問3 あなたは、今の札幌市では、子どもの権利※が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問4 この設問は 18歳以下のお子さんがいる方のみお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) 妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. いる（ある） ⇒(2)へ 2. いない（ない） 3. 悩んだことはない

(2) (1)で「1. いる（ある）」と答えた方にお聞きします。あなたは、妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談や情報収集したことにより不安や負担を軽くすることができますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. いつもできている 2. だいたいできている 3. あまりできていない 4. 全くできていない

問5 この設問は 小学校入学前のお子さんがいる方のみお聞きします。あなたは、この1年間に、あなたの希望に応じた保育サービスを利用することができましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 利用できた 2. 利用できなかった 3. 利用する必要がなかった

問6 この設問は 20 歳未満のお子さんがあるひとり親家庭の方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなたは、今後の生活に対して不安を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------|---|----------|---|
| 1. 感じる | <input checked="" type="checkbox"/> (2) ~ | 2. やや感じる | <input checked="" type="checkbox"/> (2) ~ |
| 3. あまり感じない | | 4. 感じない | |
| 5. わからない | | | |

(2) (1)で「1. 感じる」または「2. やや感じる」を回答した方のみにお聞きします。あなたは、具体的にどのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家計 2. 仕事 3. 子育て 4. 自分の健康 5. 家事 6. その他

<この設問からは皆様にお聞きします。>

問7 障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさについてお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) あなた、またはあなたの同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(ここで言う「障がいのある方」とは、障害者手帳の有無に関わりません。)

1. 本人 2. 配偶者 3. 子または子の配偶者 4. 子のうち18歳以下の子
5. 親または配偶者の親 6. その他(祖父母・孫など) 7. いない

(2) あなたは、札幌市が、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問8 あなたは、生活や健康福祉に関して困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。または、どこに相談しようと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 区役所や保健センターなど市の窓口 | 2. 地域包括支援センター |
| 3. 介護予防センター | 4. 健康づくりセンター |
| 5. 病院や診療所 | 6. ケアマネジャーやホームヘルパー |
| 7. 入所中の施設や入居中の住宅の相談員など | 8. 民生委員 |
| 9. 福祉のまち推進センター | 10. 町内会 |
| 11. 家族・親戚 | 12. 知人 |
| 13. 人権擁護委員 | 14. 老人福祉センター |
| 15. その他(具体的に) | |
| 16. わからない | 17. 特にない |

問9 あなたは、孤立死※について心配がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 孤立死とは、周囲との交流が無く、自宅等で誰にも看取られずに一人で亡くなり、亡くなった後何日間か放置された状態で発見されることです。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 心配である | 2. 少し心配である |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり心配していない |
| 5. 心配していない | 6. わからない |

問10 あなたのご家庭では、地震などの災害に備えてどのような対策をとっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 家具などを固定したり配置を工夫したりする |
| 2. 家屋、塀などを補強する |
| 3. 家族の役割を話し合う（連絡方法や集合場所を事前に決める など） |
| 4. 備蓄品や非常持ち出し品を用意する（食料品や飲料水、懐中電灯、ラジオなど） |
| 5. 災害時の心得や地震などの自然災害の知識を深める |
| 6. 避難方法、最寄の避難場所を確認する |
| 7. その他（具体的に) |
| 8. 特に何もしていない |

問11 次にあげるまちづくり活動※のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※ まちづくり活動とは、地域における安全、安心を推進し、暮らしやすいまちを実現するために、一人ひとりがごみの分別や除雪ルールに気をつけたり、同じまちに住む人々（町内会や老人クラブ、PTA、商店街など）がお互いに協力し合って、ごみステーションの管理、近所の清掃活動、街路樹への花植え等の活動を行ったりすることです。

- | |
|---|
| 1. ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守 |
| 2. 近隣のごみ拾い・清掃 |
| 3. 地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加 |
| 4. 雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき |
| 5. 自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援 |
| 6. 高齢者等の家事援助や福祉施設での手伝い |
| 7. 寄附や募金 |
| 8. 通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加 |
| 9. 街路樹への花植えなど地域の緑化活動への参加 |
| 10. 高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認 |
| 11. 健康づくり活動への参加や指導 |
| 12. 子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加 |
| 13. 音楽や演芸等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継承 |
| 14. 防災訓練への参加 |
| 15. 防火・防犯パトロールへの参加 |
| 16. その他（具体的に :) |
| 17. 参加・活動していることはない |

札幌市では、市の事業や施策（市政）を進めていくにあたり、できるだけ多くの市民の皆様に参加していただけるように努めているところです。

問12 札幌市が設けている次の(1)から(5)までにあげる市民参加の機会について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

(1) あなたは、説明会・意見交換会（特定のテーマについて市民の皆様にご集まっていただき、市民と市役所が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの）に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある 2. 知っているが参加したことはない 3. 知らない

(2) あなたは、パブリックコメント（条例や計画など市の重要な政策を定めるにあたり、市が作成した素案をホームページや冊子などで公表し、それに対して市民の皆様から意見をいただくもの）に意見を提出したことがありますか。

1. 意見を提出したことがある 2. 知っているが意見を提出したことはない 3. 知らない

(3) あなたは、シンポジウム・フォーラム（特定のテーマについて、大勢の出席者が参加して行う公開討論会）に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある 2. 知っているが参加したことはない 3. 知らない

(4) あなたは、ワークショップ（特定のテーマについて、少人数のグループで話し合い、グループごとに意見や提案をまとめるもの）に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある 2. 知っているが参加したことはない 3. 知らない

(5) あなたは、審議会など（学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、市政運営における特定のテーマについて議論や検討を行うもの）における市民委員の公募に応募したことがありますか。

1. 応募したことがある 2. 知っているが応募したことはない 3. 知らない

問13 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 関心があり、ある程度の時間や労力をかけても積極的に参加したい
2. 関心があり、負担が少なく手軽に参加できるものであれば参加したい
3. 関心はあるが、参加したいとは思わない
4. 関心はないが、魅力的と思える条件や参加の依頼・誘い等、きっかけがあれば参加を考えても良い
5. 関心がなく、参加したいとは思わない
6. わからない

問 14 あなたは、今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 参加に不慣れな人や進んで発言することが苦手な人でも意見を出しやすい環境であること
2. 参加をより身近に感じられるよう、参加の仕組みや方法、事例などについて具体的な情報提供をすること
3. 参加の機会に関する情報（開催情報など）がより分かりやすく、入手しやすくなること
4. 意見が反映された事例や反映されなかった理由が示されるなど、市民の意見が大切に扱われていると実感できること
5. わからない
6. 必要ない

問 15 札幌市においても国際社会との関係が深まる中、あなたは、姉妹都市^{※1}をはじめとした海外諸都市との往来や外国人との交流^{※2}等を通して、異文化を理解し、世界の都市と友好を深めていくことに関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※2 「海外諸都市との往来や外国人との交流」とは、スポーツ、文化芸術、教育、観光、経済など様々な分野における交流を指します。

- | | | | |
|------------|----------|-------------|----------|
| 1. 特に関心がある | 2. 関心がある | 3. あまり関心がない | 4. 関心が無い |
|------------|----------|-------------|----------|

問16 あなたは、この1年間に運動・スポーツを行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

なお、運動・スポーツには、健康づくりを意識して日常生活で行う軽い運動（徒歩通勤、自転車通勤、階段の積極的な利用など）も含まれます。運動・スポーツを行わなかった場合は、「39」または「40」のいずれかに○をつけてください。

※ 障がいに応じた用具やルールの修正などがある競技はもとの競技に含まれます。

例：車いすマラソン → 2. ランニング（ジョギング、マラソン）

ブラインドサッカー → 25. サッカー、フットサル

1. ウォーキング、散歩 (健康づくりを意識した階段の上り下りなどを含む。)	2. ランニング（ジョギング、マラソン）
3. 自転車、サイクリング	4. トレーニング（自宅で行う筋トレ、ストレッチなど運動を含む）
5. 体操（ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、機会体操などを含む）	6. なわとび
7. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む）	8. 登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）
9. フリークライミング、ボルダリング	10. 陸上競技
11. スキー	12. スノーボード
13. スケート	14. カーリング
15. アイスホッケー	16. その他のウィンタースポーツ (具体的に：)
17. キャンプ、海水浴	18. 釣り
19. マリンスポーツ	20. 水泳（水中ウォーキング、アクアエクササイズを含む）
21. 卓球	22. バドミントン
23. テニス、ソフトテニス	24. 野球（キャッチボールを含む）
25. サッカー、フットサル	26. バレーボール
27. バスケットボール	28. ソフトボール
29. ドッジボール	30. ラグビー
31. ボウリング	32. パークゴルフ（グラウンドゴルフなどを含む。)
33. 弓道、アーチェリー	34. ゲートボール
35. ゴルフ（練習場含む）	36. ローラースポーツ（スケートボード、インラインスケートなど）
37. 武道・格闘技（柔道、剣道、空手など）	38. その他 (具体的に：)
39. スポーツを行えなかった	40. スポーツをする気がなかった

<この設問は、問16で「1」から「38」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。>

問17 あなたが、問16で答えたスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 週に5日以上（年251日以上）	2. 週に3日以上（年151～250日）
3. 週に2日以上（年101日～150日）	4. 週に1日以上（年51日～100日）
5. 月に1～3日（年12日～50日）	6. 3ヶ月に1～2日（年4日～11日）
7. 年に1～3日	

問 18 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。また、「4. やや不満」「5. 不満」に○をつけた方は、具体的な理由をお書きください。

(1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること (事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く)				
1. 満足	2. やや満足	3. どちらともいえない	4. やや不満	5. 不満
[具体的な理由: ←]	
(2) 安全で良質な水道水をお届けすること				
1. 満足	2. やや満足	3. どちらともいえない	4. やや不満	5. 不満
[具体的な理由: ←]	
(3) お客さまサービス (問い合わせ対応・広報)				
1. 満足	2. やや満足	3. どちらともいえない	4. やや不満	5. 不満
[具体的な理由: ←]	

問 19 あなたが、札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取り組みは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. お客さま対応の向上
2. 健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化
3. 将来の水道事業を支えていくための、人材育成や若い世代への技術の継承
4. これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化
5. 水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新
6. 災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備
7. 環境に優しい事業を進めるための、再生可能エネルギーの積極的な活用や、エネルギーの効率的な利用
8. 安全でおいしい水をお届けするために、施設・水道管の更新、耐震化や水道水の水質などについて、市民にお知らせすること
9. 特になし

「産業・活力」について

問 20 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う	2. まあそう思う	3. あまりそう思わない	4. 全くそう思わない	5. わからない
---------	-----------	--------------	-------------	----------

「低炭素社会・エネルギー転換」について

問21 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) 次の再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などのうち、あなたが導入しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 次世代自動車 ^{※1} | 2. 消費電力量見える化機器、HEMS ^{※2} |
| 3. 太陽光発電 | 4. 太陽熱利用 |
| 5. ペレットストーブ、薪ストーブ | 6. エネファーム・コレモ（コージェネレーション ^{※3} ） |
| 7. 地中熱ヒートポンプ | 8. エコフィール（灯油式高効率給湯・暖房機） |
| 9. エコジョーズ
（ガス式高効率給湯・暖房機） | 10. エコキュート・ヒートポンプ温水暖房
（電気式高効率給湯・暖房機） |
| 11. 導入しているものはない | |

※1 次世代自動車：具体的には、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車など。

※2 HEMS：Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※3 コージェネレーション：燃料電池やガスエンジンによって、電気と給湯・暖房用の熱を生み出すシステム。

(2) 次のエコライフの取り組みのうち、あなたが常々実践しているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、車を所有していないなど、車を運転する機会がない方は、「22」に○をつけてください。

1. 使用していない部屋の灯りをこまめに消す
2. テレビの明るさ設定を変えたり（明るくしすぎない）、見る時間を短くしたりする
3. 冷蔵庫の温度設定を変えたり（冷たくしすぎない）、ドアの開け閉めを短くしたりする
4. 家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ（または既に選んだ）
5. 衣服などにより温度調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない
6. 夏は外気を入れて室温を下げたり、冬はカーテンを閉めて熱が逃げないようにする
7. 温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する（または温水洗浄便座は使っていない）
8. 電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする
9. 積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする
10. 駐停車中はなるべくアイドリングストップをする（またはアイドリングストップ機能がある）
11. 車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する
12. 車の走行時は速度変化の少ない運転をする（無駄にアクセルやブレーキを踏まない）
13. 車の減速時はエンジンブレーキを使用する
14. カーエアコンの使用を控えめにする
15. 食器は余分な汚れをふき取ってから洗う
16. 洗濯は、まとめ洗いをする
17. 風呂の残り湯を洗濯などに利用する
18. 入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める
19. 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない
20. 食材は無駄なく買って使い切る
21. 実践しているエコライフの取り組みはない
22. 車を運転する機会がない

問22 生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 水を切ってから生ごみを捨てている |
| 2. 食材の使い忘れ、作り置きした料理の食べ忘れに気をつけている |
| 3. ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている |
| 4. 電動生ごみ処理機を使用している |
| 5. その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている
(具体的に：) |
| 6. 特に何もしていない |

「戦略を支える都市空間」

問23 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. 満足していない | |

問24 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり満足していない | 5. 満足していない | 6. 利用しない |

最後にあなたご自身のことについてお聞きします。あてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|-----------|--|-----------|-------|-----------|--|---------|--|
| F1 あなたの性別は | | | | | | | | | |
| 1. 男性 | | | | | 2. 女性 | | | | |
| F2 あなたの年齢は（平成30年2月1日現在） | | | | | | | | | |
| 1. 18～19歳 | | 2. 20～29歳 | | 3. 30～39歳 | | 4. 40～49歳 | | | |
| 5. 50～59歳 | | 6. 60～64歳 | | 7. 65～69歳 | | 8. 70歳以上 | | | |
| F3 あなたは現在何区にお住まいですか | | | | | | | | | |
| 1. 中央区 | | 2. 北区 | | 3. 東区 | | 4. 白石区 | | 5. 厚別区 | |
| 6. 豊平区 | | 7. 清田区 | | 8. 南区 | | 9. 西区 | | 10. 手稲区 | |

ご協力ありがとうございました。同封の封筒に入れて、2月23日（金）までに投函してください。